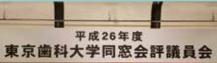
2014 No.398 12

# Tokyo Dental College Alumni Association







第42回 同窓会主催全国ゴルフ大会 程序条件大学兒舎全ブルフ大会







#### 東京歯科大学同窓会会報 第398号

#### 目 次

グラビア ふるさと自慢
巻 頭 言
お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
重点事業へのアプローチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
東京歯科大学同窓会創立120周年記念 ····································
会 務
理事会のうごき31~33
ゴルフ大会34~36
事業推進部37~45
母校だより
準会員のページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
支部のうごき
クラス会だより
OB 会・グループ・サークルだより69
すいどうばし70
庶務日誌71~72
逝去会員72~73
追 悼
投稿規定78
へんしゅうこうき79
平成26年度評議員会報告

#### 表紙写真の説明

場所:苗場 昭和55年卒 臼井文規先生 撮影

東京歯科大学同窓会創立120周年記念 チラシ 平成26年度評議員会 第42回同窓会主催ゴルフ大会 東歯祭

# ふるさと自慢 ~私のお気に入り~

## 「路地の匂い」

本 郷



現在の東京大学赤門

国立国会図書館蔵の浮世絵 歌川広重画【本郷】で昔の赤門(加賀藩前田家上屋敷)の様子をうか がい知ることができます。

HP: http://www.ndl.go.jp/landmarks/details/detail202. html

小, 中, 高, 大学, 地区歯科医 師会と, ずっと先輩の方から昨 日、同窓会会報に掲載する原稿依 頼の又依頼が飛び込んできて四苦 す。(パソコンが使えませんので, 笑)

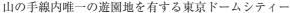
本郷支部のあるこの地域は東京 ドームシティー, 世界に冠たる東

京大学, 名勝六義園, 湯島聖堂, 根津神社, 学問の神様菅原道真を 祀る湯島天神など都会ならではの 施設もあり、また緑も比較的多く も良くて大変便利で過ごしやすい 土地柄です。(JR は通っていませ んが…, 笑)

なかでもこのところ TV. 雑誌

でもよく取りあげられるのが谷中 (台東区), 根津, 千駄木の通称 「谷根千」! 休日にもなると外国 の方も含め地方からも多くの方々 八苦。今原稿用紙に向かっていま いろいろな地域への交通アクセス が訪れています。バックパッカー で片手には地図と本, その雑誌 『地域雑誌(谷中・根津・千駄木)』 を展開していたのが、不肖わたく しの姉たちです。94号でその幕を







閉じましたが、現在でも検索がで きるようです。広報担当の方より 「ちょっと自慢を!」とのことで 書いてしまいました。スミマセ ン!

戦後空襲で焼け野原になった東 京の中でも多くの面積が難を逃 れ、今も昭和のたたずまいが残っ ています。そこがツーリストの郷 愁に触れるのかもしれません。車 も通れないような路地を、人や自 転車、猫だけが闊歩しています。

防災の面ではちょっと…。額を寄 戻ってきたくなる。そんな地域な せあう隣組。核家族やマンション 住まいとは異次元の空間を醸し出 します。いまだにお惣菜のやり取 りやオムツの貸し借りなどをして いると聞きます。『ALWAYS三丁 目の夕陽』という映画を地でいっ たような町です。お近くにおいで の折りには昭和ワールドにワープ してみませんか?

最後の自慢。結婚してもこの地 追記:散策の際はおしずかに… を離れない、地方に行っても又

のかもしれません。かくいう前述 の先輩も私もこの地を離れており ません。

商業主義優先の乱開発で価値の ある旧き素晴らしい建物が姿を消 す。ずっと暮らすひとびとの生活 が脅かされる。今後がとても心配 でなりません。

(昭和62年卒 森 俊一)







HP: イツカノドコカ-nowhere land 谷根千猫景より

## 巻 頭 言

# 共に同窓会会員として



副会長 玉 井 達 人

11月2日の評議員会では、事業改革を進めるための重要議案と平成25年度決算と平成27年度事業計画および予算についてご承認をいただきました。

その主題「TDC アカデミア構想」は、血脇イズム精神を基本に現代そして未来の歯科医療人はいかにあるべきかを示し、幅広い分野で活躍できる社会性を備えた歯科医師を育成することにより、同窓ひいては歯科界の発展を目指しています。

そして「若手ネットワーク」を基軸とする若手同窓との連携は、これからを担う若い世代に対して、地域・世代を超えた支援を行うことにより絆を深め、同窓会のみならず歯科医師会が最重要課題としている未入会対策を進める原動力になるはずです。

協議題では評議員選出の際の1県1評議員の経過 措置の取り扱いについて、そして都道府県代表者会 の提案があり、色々貴重な意見をいただき、大きな 前進が期待できます。

大学移転と時を同じくして構想が始まり、現実化し「若手ネットワーク」を初め「TDC アカデミア構想」の一部も実行に移されつつある改革は、120年間同窓の大黒柱であった血脇イズムを基本設計に、現代歯科界が抱える諸問題に対応できる耐震建築基準を盛り込んだ、同窓が医療人として生き甲斐のある人生を歩むための、揺るぎない支えとなる柱に架け替える大事業と言えます。

これら重点事業の詳細については、各部門担当委員がそのつど同窓会報やホームページに掲載し、経過説明や問題提起を行っております。また矢崎会長、執行部役員が各地域支部・地域支部連合会に出席して直接ご説明してまいりました。

会報12月号のお届けは寒さが一段と厳しくなる季節です。お炬燵で熱燗片手に同窓会報をめくり、長い夜にはワインを傾けながらホームページを開いてみて下さい。同窓会の現状、会務執行状況、同級生の様子、学生時代の思い出、診療に役立つ事など多くの情報が得られるはずです。そして担当委員が診療時間を削り、休日を返上で取材を行い、編集・作成にかける熱い思いを感じていただけたら幸いです。

若手同窓の皆様、日々大変お忙しいでしょうが、 行事に参加して多くの物を吸収し、新風を吹き込ん で下さい。先輩、諸兄会員の皆様「もう歳だから」 などと言わずに、後輩や執行部にあっぱれと喝を入 れに来てください。誰もが集える、実りある、楽し い同窓会にしたいと思っておりますので、ご協力よ ろしくお願い申し上げます。

同窓会は来年120周年を迎えます。その伝統と諸 先輩の偉業は、今も心の拠り所でありますが、120 年間揺らぐことがなかった同窓会の基盤を守り支え 続けて来たのは、東京歯科大学卒業生として誇りを 胸に、粛々とその義務を果たし続けた同窓会員一人 一人の力です。

同窓で支部に未入会の皆様,入会のメリット?ではなく,共に医療人として自己を創造し,後輩に生き方のノウハウを伝え,卒業生である遺伝子を守り,継承して行くためにぜひご入会お願い申し上げます。

## お知らせ

#### 理事会より -

●同窓会本部事務局の年末年始のお休みは、平成26年12月29日(月)~平成27年1月4日(日) となります。

#### 同窓会事業・行事 -

●平成27年度東京歯科大学同窓会評議員会

と き 平成27年11月28日 (土) ところ 如水会館 (千代田区一ツ橋2-1-1)

●東京歯科大学同窓会創立120周年記念式典・講演会・祝賀会

と き 平成27年11月29日(日)

ところ 式 典:東京歯科大学水道橋校舎新館

「血脇記念ホール」11:00~

講演会:東京歯科大学水道橋校舎新館

「血脇記念ホール」11:50~

祝賀会:東京ドームホテル 天空の間 14:00~

● TDC アカデミア2015

・卒後研修

・医療教養

・臨床セミナー

詳細は同封パンフレット参照

#### 地域支部連合会・支部関係・

●支部長交代

平成26年10月1日付

 室蘭支部
 合田
 功 氏 (昭42卒)

 前支部長
 山本 内匠 氏 (昭51卒)

#### 母校関係行事・案内 -

#### ●平成27年度 東京歯科大学 入学試験情報

#### 入試日程一覧 (全募集人員128名:編入学除く)

入試制度	募集人員	出願期間 (期間内必着)	試験日	合格発表日	試験会場
一般入試 (I期)	約50名	平成26年12月17日	平成27年	平成27年	東京会場: 東京歯科大学水道橋校舎本館 大阪会場:
大学入試センター利用 試験 ( I 期)	13名	平成27年1月28日	2月2日	2月4日	TKP新大阪ビジネスセンター <b>福岡会場</b> : TKP 博多駅前シティセンター
一般入試 (Ⅱ期)	約15名				
大学入試センター利用 試験 (II期)	5名	平成27年2月20日	平成27年 3月14日	平成27年 3月17日	東京歯科大学水道橋校舎本館
編入学試験 B	若干名	平成27年3月6日	3月14日	3 711 1	
学士等特別選抜 B	若干名				

## 東京歯科大学本館 西棟建設支援のお願い

東京歯科大学同窓会会長 矢 崎 秀 昭

日頃は同窓会の活動に多大なるご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

東京歯科大学が全面的に水道橋に移転し約一年が経過致しましたが、大学の教職員の皆さまの一致団結したご努力と、学生の皆さまの頑張りにより、現在、授業や実習共に大変順調に運営されております。

血脇記念ホールの建設をメインとしました大学創立120周年記念水道橋校舎整備事業への寄付につきましては、同窓の皆さまの絶大なるご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

平成26年10月号の会報に掲載致しましたように1,709名の同窓と各支部,各種 OB 会などから総額3億1千4百万余の誠に貴重なご寄付を賜わり、衷心より深く感謝申し上げます。

大学におきましては、水道橋校舎整備事業の当初の計画に沿って、現在、本館の西側に本館に接する西棟の建設が開始されました。この西棟には、学生の臨床実習教育のため診療室や研究室施設などが造られ、学生や研修医などの臨床研修がさらに充実されるものと思われます。

しかしながら、現在、東日本大震災の復興事業、東京オリンピック、急激な円安や消費税のことなどにより、異常な建築費の高騰が起き、この西棟の建設についての財政は大変厳しい状況となっております。

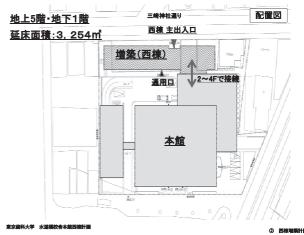
今後とも東京歯科大学が教育,研究,臨床にと日本一の歯科大学として存在し続けるよう,同窓の皆さまのご支援を宜しくお願い申し上げます。

まだ大学創立120周年記念水道橋校舎整備事業にご寄付をされていない同窓におかれましては、是非この西棟の建設への支援のご寄付をお願い申し上げます。

また、すでにご寄付を賜わった同窓におかれましても、現在の状況を十分にご理解賜り、新たなるご支援を宜しくお願い申し上げます。

(この西棟建設へのご寄付は、所得税の控除の適応を受けます。ご寄付の振り込みは、三井住友銀行日本橋支店普通 7968836 学校法人東京歯科大学寄付金口座 に卒業年度とお名前を記載してお願い申し上げます。)





## 重点事業へのアプローチ

## 大学の学生の夏期海外研修事業 (エレクティブスタディ) への同窓会の支援について

タフツ大学(米国)への Elective Study

引率:阿部伸一(解剖学講座・教授)

Boston の Tufts University において、第4~6 学年の Elective Study が、8月24~27日の日程で開催された。教務部主催で国際交流部がコーディネートをした第4~6 学年の Elective Study の目的は、アメリカの大学での施設見学、とくに日本の歯科医学教育、歯科医療などとの違いを学ぶために行うもので、東京歯科大学では4年目の試みであった。東京歯科大学同窓会からの援助も受けての企画である。参加メンバーに関しては、各学年前年度の成績が上位35名に参加応募資格が与えられ、応募者の中から6名が選抜された。出発前には、一般目標と行動目標を6名で話し合い決定しての渡航であった。

#### 一般目標

「日本とアメリカの歯科医療の違いを実際の体験を 通して学ぶ。」

#### 行動目標

- 1) 東京歯科大学とアメリカの歯科大学のそれぞれ の特色と教育の違いについて考える。
- 2) 日本とアメリカの歯科医療制度の違いについて



成田空港に元気に集合し、出発を待つ参加学生

考える。

- 3) 日本とアメリカの患者の歯科医療に対する意識 レベルの違いについて考える。
- 4) 海外で活躍する日本人歯科医師との交流を通して、将来の自分の歯科医師像を考える。

研修先の Tufts University は東京歯科大学の姉妹校で、研修内容に関し時間をかけ十分に打ち合わせを行うことができた。初日(8/24)は、Thomas学部長主催の歓迎式を開催していただき、研修に関係する先生方とコミュニケーションをとることができた。



Thomas 学部長と歓談する学生(歓迎式典において)

研修先としては Tufts University 附属の歯科病院を設定していただいた。まず始めに Mehta 副学部長から病院見学の注意点などの説明を受け、病院見学がスタートした。特に東京歯科大学の学生達は、自分と同じ学年の学生達が、指導医の指導を受けながら直接診療していることに驚いていた。その診療内容もレベルが高く、診療の空いた時間には、次の患者の診療へ向けたシュミレーショントレーニングを真剣に行っているという病院実習に対する意識の違いに衝撃を受けたようであった。

研修中見学の合間に、「Tufts University および アメリカの他大学における歯科医学教育、卒後教育



次の診療へ向け、学生はシュミレーショントレーニング を欠かさない(休日でもトレーニング可能)



山本先生ご夫妻のプライベートクリニックにて

制度、専門医獲得のためのコースとその条件」などについての講義をしていただいた。Tufts Universityでは、海外からのアメリカで専門医という資格を獲得したい歯科医師の受け入れ態勢も整っており、東京歯科大学の学生達は特に興味を示していた。

最後に、Tufts University より研修の修了証を Mehta 副学部長から受け取り研修が終了した。



Mehta 副学部長から修了証を授与された

Tufts University には、本学ご卒業の山本里見先生が歯周病科の教員として在籍されており、東京歯科大学の学生達へ様々な説明をしていただいた。また、プライベートクリニックも案内していただき、東京歯科の学生達、特に女子学生は海外で活躍する本学出身の女性歯科医の姿に憧れの気持ちを持って色々な話に聞き入っていた。

また Boston University 歯科補綴科には、やはり本学出身の山本英夫先生と宮本(尾上)眞弓先生が指導医として勤務されている。今回の滞在中、東京

歯科大学の学生達に会いに来ていただき、東京歯科 大学をご卒業後、アメリカに来た経緯など多くの事 を学生達に話していただいた。東京歯科大学の学生 達にとって、憧れの先輩方に接することができ、感 銘している様子であった。

研修最終日には、山本英夫先生(Boston University)のご紹介で、Harvard University の見学をさせていただいた。学生達は、その合理的な教育システム、そのシステムに取り組む学生の姿勢などの説明を受け、刺激を受けていた。



メインキャンパスでアイビー・リーグの風を満喫する学生達

連日レクチャー、見学などを通してアメリカにおける歯科医学教育、そして臨床の実際に接することが出来た。この場を借りて、援助をしていただいた東京歯科大学同窓会、今回の研修にご協力いただいた Tufts University および Harvard University の先生方、また本学出身の山本先生ご夫妻、宮本(尾上)眞弓先生に感謝の意を表したい。

## 青森県支部・社保勉強会&ビアパーティー

青森県支部 常任理事「若手ネットワーク担当」 古 川 由美子 (昭和63年卒)

平成24年9月6日(土),青森県 支部では「社保勉強会&ビアパー ティー」を開催いたしました。こ の会は会員の勉強会・親睦会とい う他に若手会員や未入会員との交 流という目的も持って昨年から始 められたものです。

社保勉強会は23名が出席。昭和60年卒の熊谷 恒先生と昭和61年 卒の久米田俊次先生が講師を務め てくださいました。周術期関連や 義歯関連の解説に活発な質問も出 ておりました。

勉強会終了後、ビアガーデンに 移動し懇親会となりました。22名 の参加があり、昭和34年卒の松山 陽一前支部長による乾杯のあと、 楽しい宴会となり二次会へと続 き、夜が更けるまで親睦を深めま した。

卒の久米田俊次先生が講師を務め 昨年・今年と参加された平成17 てくださいました。周術期関連や 年卒黒田(旧姓 山口)透子先生

は青森県支部へ入会することとなりました。また、弘前大学口腔外科に東京歯科大学より初めて研修医として入局された平成26年卒佐竹杏奈先生も参加してくださいました。

会の目的が少しずつ浸透していることを嬉しく思い、今後も同窓会としてこのような活動を継続していきたいと考えております。



勉強会風景



講師の熊谷先生・久米田先生



ビアパーティー



黒田先生・佐竹先生・筆者

## 第2回愛媛若手支援ネットワーク事業 「先輩、診療室を見学させてください」 「居酒屋談義」 開催

愛媛県支部 若手ネットワーク担当 兵 藤 正 昌 (平成11年卒)

の久保田 敦先生にご協力いただ 敦先輩にご紹介いただいた市内の き, 松山市道後の久保田齒科醫院 SANZE インプラントセンターの 見学会をさせていただきました。 高級旅館を思わせる受付や待合 室、最新の歯科設備の数々を見せ 参加協力のお願いと、若手支援と ていただいた上に実際に操作させ ていただいたり、どんな症例に用か、してほしいかなどいろいろと いるのかなどの詳しい説明など. 先輩の診療所での一般治療からイ とお酒を飲みながら先輩、後輩分 協力いただいて、日々の臨床に役 ンプラントなどの専門的な治療に け隔てなく楽しい時間を過ごすこ 立ち、若手支援となる事業を計画 ついて簡単にレクチャーしていたとができました。 だき、 若手の参加者にとっても本 当に有意義な見学会でした。

平成26年4月12日、平成3年卒 その後場所を移動し、これまた 居酒屋にて、松木建二支部会長を はじめベテランの先生方に加わっ ていただき、総勢16名で居酒屋談 義ということで、今後の事業への してどんなことをしていけばいい お話をうかがいながら、和気藹々

> 今回のような見学会以外にも実 際に診療の見学など諸先輩方にご



久保田 敦先生の久保田歯科醫院 SANZE インプラントセンターの受付

していきたいと思います。



病院見学後の居酒屋談義での集合写真

## 東京歯科大学同窓会創立120周年記念

## 済生, 窮理の治法と血脇イズム

一司馬遼太郎著「胡蝶の夢」を読んで一

三 友 和 夫 (昭和54年卒)



#### 1. 校歌は血脇イズムの歌

「医はこれ済生、ひとえに仁なり戸…」同窓会創立120周年のテーマは、この校歌の一節です。120年の歴史の中で同窓の胸を熱くし、感動を持って語られてきたものが血脇イズムです。なかでも昭和始めの校旗・校歌制定会、校舎建設の頃の学生には、この高揚感を強く感じます。

東京歯科大学百年史p.134には、学生が校歌の歌詞を北原白秋にお願いしましたが、なかなか歌詞ができてきません。そこで「全校の教職員、学生600人は、各自1枚ずつの作詞を促す葉書を白秋にしたため熱心に働きかけました。」北原白秋は「私は校歌をいくつも作ったが、こんなに感激して作ったことはいちどもない。この学校の人たちほど、こんな熱心な、猛烈な連中は見たことがない……」

白秋は東京歯科の校歌をつくる時、はたと困ってしまったそうです。なぜなら「水道橋には何も景色などありやしない。」からでした。苦慮した後に「この学校において歌うべきものはチワキズムである。」と。したがって、東京歯科大学の校歌は血脇イズムの歌です。そしてこの頃の学生の精神の

高揚感を表していると思います。

というわけで、血脇イズムの重要な言葉として「済生」や「窮理」を考えるべきだと思います。しかしながら字面通りの「生命をすくう」、「理を窮める」ことでは学生の心に宿った熱い心は表現でいません。少なくとも違和感があります。最近、司馬遼太郎の「胡蝶の夢」を読んだところ、「済生」「窮理の治法」の心を熱くする意味について一つの「手掛かり」を見つけましたのでご紹介いたします。

#### 2. 済 生

#### 2-1 蘭学と身分制度

司馬遼太郎の小説「胡蝶の夢」は、幕末奥医師の松本良順達が長崎でポンペというオランダ人軍医から初めて西洋医学を体系的に学んだ話です。それまでの蘭学にとって、これは画期的な出来事で、幕末多数の人材を排出した適塾の緒方洪庵に「日本流の手さぐりの蘭方医学の時代は終わった」と言わしめ、塾頭の長与専斎と息子をポンペの元に送ったのです。

この大阪の適塾に対して、千葉 県佐倉の順天堂が東の蘭学の雄で した。佐藤泰然が1838年薬研堀に つくった和田塾にその起源を発 し、当時の蘭学取締りにより佐倉 に移りました。この順天堂は外科 手術が有名で、泰然の養継嗣佐藤 尚中はこのポンペに学び、後に東 大(大学東校)の初代校長にもな ります。

適塾が様々な人材を育成したのに対して順天堂は明治時代の医学界に大きな影響力がありました。 胡蝶の夢の主人公の一人松本良順という奥医師は、この佐藤泰然の実の息子です。将軍の脈をとった松本良順を通して司馬遼太郎は幕府の身分制度の愚かしさと、この身分制度を打ち破る力になった蘭学の影響を書いています。

#### 2-2 ポンペと済生

長崎大学医学部の創立記念日は、ポンペが日本で最初に講義を した日とされています。ポンペの 学校の末裔である長崎大学のサイトには次の通り書かれています。

『ポンペは貧乏人を無料で診察し、侍町人、日本人西洋人の区別はいっさいしなかった。封建社会に育った門人達に医師にとってはなんら階級の差別などないこと、貧富・上下の差別はなく、ただ病人があるだけだということを養生所で身をもって実践し教えていた。…』このような実践が斉生と云われることのようです。

蘭学ではベルリン大学のフー

フェランドの Enchiridion Medicum「医学必携」を様々な人が、様々な部分を、異なる書名で訳していました。緒方洪庵もこの書を約20年かけて「扶氏経験遺訓」全三十巻を訳しました。この本の巻末の医者への戒めを洪庵は12カ条にまとめ「扶氏医戒之略」としました。これは医の倫理が論じられる時、現在も引用されています。

また,「済生学舎(野口英世も 学んだ医学校)は、フーフェラン ドの「医戒」にある言葉「済生救 民」(特に貧しい人々を病から救 済すること)を実践しようとした 師である順天堂の佐藤尚中の精 神)を長谷川 泰が受け継いで開 校したもの」です。従って、蘭学 の二大潮流である適塾. 順天堂共 にフーフェランドの影響を大きく 受けていました。済生救民の起源 は蘭学そしてフーフェランドに求 められます。蘭学を勉強していた 松本良順たちも済生救民の考えを 当然知っていたはずですが、その 実践をポンペに学んだことは大き な感動だったことでしょう。

#### 2-3 済生と血脇イズム

済生には平等の思想が隠れてい

ます。ポンペの医療は江戸時代の 根幹である身分制度に反するもの でもあったのです。後に適塾出身 の福沢諭吉が「天は人の上に人を 造らず人の下に人を造らず」と書 いたのも必然です。また血脇イズム・東歯家族主義とされている 「小使いの熊さん」の大正11年の 葬儀は、華族制度の存在する当時 の学生に感動を持って受け入れら れたことだと思います。(コラム 1参照)東歯家族主義も済生の流 れの中で生じたのではないかと思 います。

2-4 オランダ市民社会の伝播 ところで、話は脇道にそれます が、長崎海軍伝習所の第二次派遣 隊は幕府から頼まれた新しい船を 回航してオランダから日本まで やって来ました。その船の名前は 「ヤパン号」、日本名は咸臨丸で す。その第二次派遣隊一員として 咸臨丸に乗ってポンペは来たので す。勝 海舟や榎本武揚はこの海 軍伝習所で学びました。

士農工商の身分制度と幕藩体制の中で育った伝習生が、海軍の士官と4、5年間接触することにより、オランダの市民社会を理解し

ました。ポンペはその著書で松本 良順達を含む伝習生はここで「生 まれ変わった」と書いています。 オランダという近代市民国家の中 で形成された平等, 国民(日本 人)という考えが幕藩体制の中で 育った伝習生, そしてさらに日本 中に伝わったのです。海軍伝習所 で学んだ人達は, 明治維新とその 後の日本発展の礎となりました。

#### 3. 窮 理

# 3-1 ポンペは近代西洋医学教育の父

ポンペの学校(長崎の医学伝習 所)のカリキュラムには窮理学(物 理学) や舎密学(化学) も含まれ ていました。「医学の基礎に自然 科学がある自然科学と無縁に医学 が存在するなどと思うのは、迷蒙 もはなはだしい」(胡蝶の夢)と いうのがポンペの教育でした。生 徒たちの中には基礎学を飛び越し て臨床の授業だけを聞いた者もい ましたが、理解することはできま せん。ポンペから、基礎の学問か ら始めて系統的に学んでいくこ と、そして患者のベッドサイドで 医のアートを教えることを始めま した。その教え子達によって日本 に西洋医学が定着したので、ポン ペは近代西洋医学教育の父と称さ れています。

#### 3-2 窮理の治法

司馬遼太郎は、上記のとおり「自然科学にのっとった治療法」とポンペに言わせていましたが、「科学」という言葉は、哲学者の西周によって明治時代初期に始めて使われました。江戸時代にはありません。また窮理という言葉は元々易学そして朱子学の言葉です。その後蘭学の中で使われた窮理は、

#### コラム1 東歯家族主義と池田成彬

仕事に忠実な「小使いの熊さん」が大正11年に亡くなった際、東京歯科で初めての校葬を行ないました。東歯家族主義と称せられているものは、池田成彬に関係がありました。池田成彬をご存じない方に少し説明をいたしますと、血脇の「少年時代からの友人」で三井合名会社の責任者、戦前日本銀行総裁、蔵相、商工相、枢密顧問官を務め、東京歯科の財団法人化に際しても監事を引き受けています。血脇のごく親しい友人です。

成彬の次男池田 潔が「父の泪」という一文を書いています。この中で成彬が話した言葉を抜き書きすると、「…イギリスはその点が少し違うと思う。人間は各々自分の能力に応じた仕事の持場をもって、その与えられた職責にただ最善を尽す。人間の価値を地位の高下で判断せずいかに忠実にその職務を果たしたかによって評価する。でたらめな社長より忠実な小使いを尊敬する、そんな気風が強いと思う。……」この小使いの話は子供たちによくしていた話のようです。デモクラシーを自任する血脇守之助も恐らく池田成彬のこの話を大きくうなずきながら聞いたのではないでしょうか。血脇イズム・東歯家族主義の源流のひとつに池田成彬があります。

まったく別の思考原理です。

辻哲夫著「日本の科学思想 ―その自立への模索(こぶし文 庫―戦後日本思想の原点)」とい う本には『「陰陽五行の惑溺を払 はざれば窮理の道に入る可から ず」福沢諭吉が「文明論之概略」 の中でこう書いたとき、…「陰陽 五行」が、 ながく日本の知性を低 迷させてきた悪習として告発さ れ、他方「窮理の道」は、これか ら日本の将来をもゆだねるべき新 しい文明精神の指標なのであ る。』と書いてあります。さらに 「いま福沢があらためて「窮理」 をとなえたとき、…窮理は物理学 を想定した言葉なのであり、かれ としては、より広く近代科学、あ るいはそれを基盤として成立して いる西欧の文明精神を、ここに結 びつけて考えている。| このよう に福沢は窮理という言葉に、新し い西欧の文明精神を想定していま す。このように考えた時, 窮理の 治法は、西欧の文明精神の医学と いって良いのではないでしょう か。またポンペに習った生徒達の 感動をも「窮理の治法」は伝えて いると思います。

また同時に、「胡蝶の夢」の中で主人公の一人関寛斎に「私の医方は世界に通用するものだ」という誇りを語らせてます。ポンペから習った医学に自信と誇りを持っていました。

### 4. 石黒忠悳と血脇の結びつき 4-1 軍医総監 石黒忠悳と 松本良順

「胡蝶の夢」には石黒直悳(ただのり)も登場します。その自伝「懐旧九十年」巻頭の写真には91歳の本人とその前の机には本人が

若い日に書き写したポンペ「医学七科書」44巻がうず高く積まれています。長崎から江戸に戻り「医学所」(東大の前身)の頭取になった松本良順の下で石黒は医学を学びました。また、陸軍でもまた松本良順に従い、軍医制度の拡充に努めました。(松本は初代、第三代の陸軍軍医総監、石黒は第五代です)

#### 4-2 医学界での石黒忠悳(た だのり)

石黒の自伝「懐旧九十年」には 「医界の交友」という章がありま す。「明治の初めより三十年に至 るまでの間において、医事衛生に つき新たに制度を設けらるる時に は長与専斎(内務省衛生局長). 石黒忠悳. 高木兼寛(慈恵医大創 設者,海軍軍医総監),長谷川 泰 (佐藤尚中の弟子, 済生学舎創 立), 三宅 秀 (東京大学医学部 長. 妻は佐藤尚中の次女)らの輩 がいつも順番にその私宅に会し, 熟議相談の上、原案を作り、討議 を重ねて案を練り、 それより公の 議に付してこれを定めたもので, この輩が殆ど医制の根本の連中で あったのです。」石黒らは明治時 代の医学界の重鎮だったのです。

#### 4-3 石黒忠悳と歯科

1895年歯科医学叢談(歯科学報, 同窓会報の大元)の発刊にあたっ ても筆頭で男爵 石黒忠悳として 祝詞を寄せています。なおこの年 の8月,日清戦争における軍医総 監としての働きにより男爵に叙せ られたばかりです。石黒の祝詞の 後には池田成彬の祝詞も続き,祝 詞の人選には血脇が関わっていた と思います。また血脇守之助が 高山紀斎から学院の委譲を受けた



石黒直悳(91歳)と ポンペ医学七科書 「懐旧九十年」石黒直悳著 岩波文庫より

際に、三十余名の後援者をお願い しています。この中に賛助員とし て高木兼寛、また顧問に高山紀斎 と共に石黒忠悳、長与専斎の名前 があります。そして神田美土代町 の青年館で行われた東京歯科医学 院開校式の来賓には三宅 秀の名 前があります。

ちなみに小幡英之助の医術開業 試験では、東京医学校の外科担当 の赤星研造を試験主任とし、長与 専斎校長、石黒忠悳、三宅 秀ら が立ち合って、わが国で最初の歯 科専門の医術開業試験が明治8年 4月中旬に行われたそうです。(日 本歯科医師会のサイト「歯科医学 の進歩と歴史」より)日本最初の 歯科医の誕生からこの3人が関係 しています。

1906年4月水道橋の新校舎落成式に際しても男爵石黒忠悳,男爵後藤新平の来賓名がありました。また,同年3月歯科医師法が貴族院で審議された際,歯科医師の資格要件の一つである「文部大臣指定の歯科医学校」について審議されました。石黒忠悳(貴族院議員)は「文部大臣指定の歯科医学校は現存しないのではないか」と質問し、文部省専門学務局長は

「東京歯科医学院はそれに近い。」 と回答しています。東京歯科医学 院が「専門学務局長から指定を約 東されたも同然である。」(東京歯 科大学百年史P75)と東京歯科に 好都合な答弁を引き出しました。 血脇と石黒の関係は強い結びつき があったと考えます。

#### 4-4 茶人石黒況斎

石黒忠悳は茶人としても活躍していました。号は況斎, 況翁です。明治維新により将軍や大名に教えていた遠州流茶道も一時衰退状態になりましたが, 石黒況翁の勧めで, 小堀家に伝承した茶道を一般に公開相伝する決意をしたということです。この時忠悳は青山南町の土地も小堀家に提供し, 石黒忠悳は遠州流茶道でも恩人とされています。

また近代数寄者といわれる茶人の会「和敬会」の一員でした。茶人高橋帶庵もその会の一人で、石黒忠悳とは懇意な関係だったようです。高橋帶庵の日記万象録の記述によれば、「茶人流の親切を以って公私共に能く世話する為に人が集まってくる。石黒男爵の成功は、確かにこの茶人的心入れにあると言えるだろう」と石黒の世話好きを書いています。

高橋義雄 (箒庵) は血脇守之助

との直接の関係は無いと思いますが、先ほども出た友人池田正彬の三井での先輩、正彬の結婚式の仲人です。また東京歯科医学院の三崎町校地にあった旗本屋敷の持ち主平岡 凞の次女を後妻にしています。様々な糸が絡みあったような関係があったように思えます。

#### 5. ドイツ医学とイギリス医学

明治の医学の流れの中で、東大のドイツ医学に対してイギリス医学の流れをくむ成医会(慈恵医大の前身)がありました。成医会月報第1号(明治14年3月)の会員名簿には高木兼寛、松山棟庵(慶応医学所の流れをくむ医者)を筆頭に36名の会員が名を連ねていまる。その中に高山紀斎の名前もあります。また、高木の上司である海軍医総監松本順(胡蝶の夢は人公松本良順です)が名誉会員に推されています。この二人ともポンペの弟子です。

成医会の考え方は、「研究のための研究、名誉栄達のための研究から、病気を治すための研究へ」変革しようというものでした。また慈恵医大の建学の精神は「病者の側にたつ医療を」です。この考え方は当時の権威主義的な東大の医学に対する批判でした。(コラ

#### ム2参照)

明治14年に設立した成医会から 9年後の明治23年に高山歯科医学 院が開校します。血脇イズム,母 校の歴史もこの観点から今後検討 してみることも意義があるのでは と思います。特に,「歯科医師た る前に人間たれ」の建学の精神 は,この流れの中で理解するべき だと思います。

#### 6. 結 び

#### 6-1 窮理の治法の手掛かり

日本の西洋医学の歴史はポンペ 学校(長崎の医学伝習所)から始 まりました。体系的で基礎から順 を追って習得する医学に触れた人 達は、驚きと感動を持って習いま した。また衛生、義務、国民な ど、その頃の日本人にとって新し い概念、そして文明でもありまし た。新しい西欧文明精神に基づく 治療法を「窮理の治法」と誇りを 持って呼んだのではないでしょう か。この長崎の医学伝習所でのポ ンペの理想や考えが、松本良順、 長与専斎そして石黒忠悳を通じて 血脇守之助に伝わり母校の校歌に なって残った可能性があると考え ます。

6-2 新しい時代の血脇イズム 校歌は血脇イズムを伝える同窓 の宝です。『「医はこれ済生」は, 医学には階級の差別をすることな く,貧富・上下の差別もなく,た だ病人があるだけです。「窮理の 治法」は,西欧の文明精神に基づ く世界に通用する医療,言葉を変 えれば最新の世界に通じる普遍的 な医療です。』という解釈ができ ると思います。

ところで東京歯科大学の歴史を 見ると、実に様々な人達の尽力を

#### コラム2 東大病院の研究至上主義

明治30年ごろの「東京朝日新聞」に出ている東大病院の雰囲気は次のように掲載されている。(「脚気をなくした男高木兼寛伝」松田 誠著 講談社1990より)「大学医院といえば世人が想像するように、日本一の医博士が集まる所である。その先生に診てもらいたい患者は非常な数で、同院がかたくきめた一日20人の定員の許可札を得るため、毎日門前でひしめくありさまは驚くばかりである。…もし連日不連続きで許可札が得られなければ、今日は今日はと思っているうちに、病人が重体に陥ることも少なくない」、そもそも大学医院の初代教師でドイツ人医師のミュルレルは、患者の都合より自分の都合で患者を選択し、患者が懇願しても、「自分の研究対象ではない」とか「時聞が来たから」とかいう理由で、診ないこともあったといわれる。おそらく、大学医院では、このような研究至上主義が伝統になったのであろう。」

得たことを痛感致します。高山 紀斎, 片山敦彦, 一井正典がお世 話になったサンフランシスコの歯 科医バンデンボルグ。池田成彬を はじめとする血脇の友人達。東京 歯科医学院継承時に教室を借りた 東京顕微鏡院の遠山椿吉。東京歯 科大学の三崎町の校舎の持ち主 だった汽車会社の平岡 凞, その 他等々。石黒忠悳もその中の一人 に入れるべき人であると思いま す。様々な人達の思いの込められ た東京歯科大学の成り立ちを同窓 は忘れてはならないと思います。

時代と共に血脇イズムも時の影響を受けます。新しい時代の変化に対応出来る、権威主義的ではない「血脇イズム」になることを

願っています。

小説「胡蝶の夢」を読み、血脇 イズムについて想像の翼を広げた 長い文章になりました。最後まで 読んで頂きありがとうございまし た。また、このような拙文を120 周年の特集記事に掲載頂き、同窓 会ならびに広報部の皆様に感謝申 し上げます。

## 高山紀齋の生涯



#### 高山イズム血脇イズム

昨年同窓会創立120周年記念準備委員会ができそのテーマを決める際に「高山イズム,血脇イズム とは何か」ということから始まりました。

学生時代から今まで耳にしたことはありましたが真剣に考えたこともありませんでした。また、大学の起源や同窓会がどのように設立されたのか全く興味もありませんでした。おそらく多くの皆さんもそうでしょう。

歯科大学に入り歯科医師となり 普通に診療を行い歯科医師会等に も参加してきました。そこで他大 学の方から「東京歯科の卒業生は どこか違うね」とよく言われてき ました。そのことがずっと気になってはいました。ちょうど良い機会だからそのルーツについて少し考えてみようと思いました。

そもそも120年以上の歴史をも つ歯科大学なんか他にないのです から。

歯科医という言葉が使われたのが明治の初期で、それまでは口中医、入歯師、香具師と呼ばれる人たちが口腔内の治療を行っていました。その治療法と言えば歯を抜いて入歯を入れることや、ただし入れ歯を入れられるのはごく限られた高貴な方のみで、炎症により発熱等があれば漢方による治療でした。

そんな時代に近代的な歯科治療 や歯科医師という職業を世間に認 知させ、またその歯科医師を育て る教育機関を設立した人こそ高山 紀齋その人でした。

そこでまず高山紀齋がどのよう な生涯をおくったのか調べてみる ことにしました。

#### 備前岡山に生まれる

1850年 (嘉永3年) に現在の岡山城の南にある小橋町, 国清寺の

南『花畑』に生まれ高山家は家老 日置帯刀(ひきたてわき)の家臣 として槍術で仕えました。(岡山 県支部の「東歯同窓会岡山の歩 み」ではこのようですが東京歯科 大学創立120周年記念誌では作廻 方(さくまいがた)となっていま すが本当はどちらかわかりませ ん)

幼名を彌太郎と言い武術と学問 にも優れていて藩校を代表して主 君のまえで春秋左氏伝(孔子の歴 史書である春秋の注釈書)を講じ 賞を賜わったそうです。

あの福沢諭吉も何度も読み返し 暗記をしたそうです。

岡山藩は32万石の外様大名で親藩(徳川男子系子孫)の会津藩でさえ23万石で御三家の水戸藩でも35万石で徳川時代外様でも大きな藩の一つでした。

藩祖は池田光政で池田家は織田信長,豊臣秀吉,徳川家康と三代に仕える名家で光政は教育熱心な藩主でいち早く藩校を作り,藩士と当時としては珍しく藩民まで学習ができる体制を作りました。しかも徳川幕府が開いた昌平坂学問

所より21年も前のことでした。いかに岡山藩の教育程度が高いレベルであったかが伺えます。

藩祖池田光政は陽明学者でした が藩では幕府が推奨する朱子学 を教えていました。高山は藩主 の教育係主任の叔父である磯田 軍次兵衛(磯田由道)に儒教を学 び武術は、真陰流の剣を修め文武 両道の少年でした。磯田由道は東 京歯科大学創立120周年記念講演 の講師で、歴史学者でも有名な 磯田道史氏の五代前の先祖でし た。

徳川幕府は政権を維持するため 朱子学を奨励しました。なぜなら その教えは階級制度と忠義の精神 を重んじ理論一辺倒で官僚社会に 向いている学問で国を治めるには 都合が良いからでした。一方陽明 学はさらにそれを実践するという 学問でこれは一歩間違えると国を 滅ぼす懸念がありました。

明治維新のエネルギーはこのような学問から生み出されたのでは ないかと思います。

#### 神戸事件

さて高山はそんな少年期を過ご し青年期に入り明治維新へと向かい岡山藩も官軍として参戦するこ とになりました。高山も当然兵士 として戊辰戦争を戦いました。そ こでいわゆる神戸事件に遭遇しま した。

神戸のまちでフランス水兵が岡山藩の隊列を横切り交戦となり、 運悪く西洋列国の公使が近くに居合せ英国公使パークスが激怒し神戸一帯を占領しました。この事件で倒幕に向かう矢先の官軍にとって背後の外国軍を敵にしたら倒幕どころではなくなるため早急に解 決する必要がありました。そのため高山の上司である砲隊長の瀧善三郎正信が責任を取らされ割腹をさせられ、青年高山は外国の脅威と理不尽さを痛感しました。

上野での彰義隊との交戦,会津戦争にも加わり多くの武功をあげ,岡山に帰る途中外国人居留地もたちより外国の文化にもふれ,国際的な感覚を感じとり凱旋しました。

#### 英語の習得

1869年(明治2年)陸軍御用掛の岡田摂蔵が下津井海岸の測量のため岡山に2ヶ月間逗留しました。肥後藩士で1859年福沢諭吉も学んだ緒方洪庵の適塾に入り1863年には慶応義塾の塾頭になり1865年外国奉行が匿名理事官としてフランス、イギリスへ派遣された際に随行したことがあり英語および外国事情にも精通した人物でありました。優秀な藩士の子弟10名に選ばれた高山は岡山兵学館にて英語を学ぶまたとないチャンスに恵まれました。

その中でも特別優秀であった 高山は岡田が藩の上層部に掛け 合ったおかげで東京へ行くことと なりました。

はれて藩費にて慶応義塾に入塾 しました。

当時の慶応義塾の英語の授業は すでに基礎を学んでいた高山に とっては物足りない授業でした。 当初慶応義塾は築地にあり、そこ で米国人宣教師のカロザスと出会 い彼の開いた塾にも通い更なる実 践的な英語力とアメリカをはじめ とする外国の事情等を身につけま した。

カロザスは後に慶応義塾の英語



高山の恩師 バンデンボルグ

講師となりその妻は近代女子教育の先駆けともいえる学校を開きました。現在の名門女子校・女子学院のルーツです。

はじめ藩からの援助で留学する 予定であったが、当時の明治政府 は留学を禁止したためにやむをえ ず私費で留学を決意し1872年(明 治5年)サンフランシスコへ旅立 ちました。

#### サンフランシスコへの留学

サンフランシスコではプリンス 学舎に入り更なる英語力を身につ けそれを生かした職業を模索して いました。

そんなある日歯がいたくなり町の歯科医院にて治療を受けました。高山が知る日本の歯科治療とあまりにもかけ離れた高度な治療に驚いた高山はぜがひともこの技術と知識を日本に伝えようと確信しました。

当時のサンフランシスコは南北戦争(1861年~1865年)も終わり大陸横断鉄道(1869年)も開通し西部開拓の入り口であり、まさにゴールドラッシュに沸き返る活気のある町で、アメリカ各地からはもちろん世界から人が集まり色々な人種がいました。ちなみに1873年にあの有名なケーブルカーもできこのような状況は高山にとっても多くの刺激を受け意欲に燃えすべてを吸収して帰ろうと思ったに

違いありません。アメリカでは世界最初の歯科専門学校のボルチモア歯科医学校(1839年創立)が30年以上も前に作られ最先端の歯科医療が行われていました。偶然にも高山がかかった歯科医ヴァンデンボルグは技術、知識も最高で人柄もすばらしいひとでした。

弟子として教えを願う高山も武士の精神を持ち忠義心もありおそらく指先も器用でヴァンデンボルグの信頼をつかみ取ったと思われます。

#### 帰国と開業

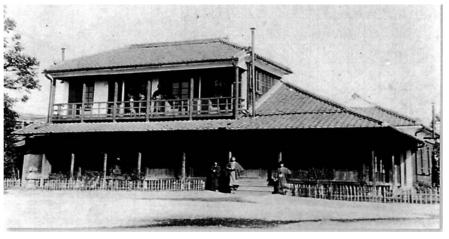
1878年アメリカ歯科医術開業試験に合格をして大きな目標とフロンティア精神をも学び帰国をしました。

「内外科」として医師免許をとり 1879年(明治12年)銀座(現在で は松屋の裏あたり)で高山診療所 を開設しました。そのとき医者と してふさわしい名前に改め彌太郎 から高山紀齋と名乗るようにしま した。

明治8年歯科医第一号は横浜で 開業していたアメリカ人のエリ オットに教えを受けた小幡英之助 でした。当時は歯科という分類は なく明治12年に初めて口中科から 歯科が使われました。明治14年外 国帰りの弁護士で作州勝山藩の 鳩山和夫と森山 茂 (元老院大書 記官太政官御用係)の娘 愛子と の結婚で競いみごとに勝利,言う までもなく鳩山家はその後一郎, 由起夫と二人の総理大臣を排出す る名家です。

そして弁護士よりも歯科医の方がよいと世間に認知された証でした。

愛子の弟 森山松之助は後に同



高山歯科医学院

い年の血脇守之助が高山歯科医学 院に入学するか小幡英之助の門弟 となるか選択するときに関わって きます。また旧水道橋病院の設計 に携わった人です。

1884年~1900年(明治17年~33年)には東京医術開業試験委員, 1885年(明治18年)歯科界代表として大日本私立衛生会医学科審事委員を務め歯科の社会的認知の向上に貢献しました。

1886年(明治19年)小松宮彰仁 親王を拝察, 1889年(明治20年) 侍医局勤務をまかされ皇族関係者 の拝察に携わりました。

それと同時に高山診療所も盛況 で各種委員を務めかなりの報酬を 得ていました。

また試験委員をやり当時の歯科 医を目指す者の知識と技術の低さ に痛感させられ、まだまだ日本の 歯科医療はレベルの低いことを思 い知った高山はますます高い技術 と知識を持った高貴な歯科医を育 成しなければと強く思いました。

#### 高山歯科医学院の設立

1890年(明治23年)芝区伊皿子 坂の住居に隣接する元スペイン公 使館の跡地1,015坪を8,500円で買 収し1,000円で設備等を揃えまし た。当時の警察官の初任給が8円 程度であるからとてつもない費用 をすべて私財でまかないました。 高山の理想は高く学則に「欧米歯 科諸大学の高尚で適切な科目を範 として我が国の歯科の程度を考慮 し最高の歯科医術を修練し高尚な る歯科医を養成する場所」と掲げ ています。創立当初はアメリカで も教育期間を2年から3年にとい うときにいきなり4年制を掲げて いました。

高山の目指す近代歯科教育のレベルの高さが伺えます。

ところが、そうはうまく行かず 生徒200名で採算が取れるはずが 9名しか集まらず、やむをえず2 年制とし講義録を作り販売, 院外 生を集めるようにしたところ250 名まで増加しました。今でいう通 信教育のようなものでした。それ でも学院の経営は苦しいものがあ りましたが引き続き私財をつかい 理想に向かい世の中の歯科医のレ ベルをあげるため「保歯新論」を 一般国民の公衆衛生の向上を目指 し「歯の養生」発刊しました。明 治24年には4名の歯科医術開業試 験の合格者をだしカリフォルニア 大学歯学部で学位を取った片山



高山歯科医学院講義録

敦彦に二度目の留学から帰国する と最新技術と知識を教えるために 教鞭をとらせました。そして明治 26年血脇守之助が入学をしてきま した。

片山敦彦は血脇の歯科医の道へ 進むきっかけを作ったドクターの 田原 利と留学先が一緒で顔見知 りでした。それゆえ田原は血脇の 歯科医への相談のため片山を紹介 しました。

#### 第1回院友会開催と歯科界への功 績

1895年(明治28年6月16日)血脇の提言で高山歯科医学院の同窓の交流と歯科医学の向上のため高輪万清楼で第一回院友会が開催されました。

同10月には同窓会報の起源である歯科医学叢談第一号が発刊されました。

1893年(明治26年)高山紀齋, 伊沢道盛,小幡英之助を発起人と して歯科医会が発足しました。ま た同年政府より臨時博覧会評議員 に任命され英文の「高山歯科医学 院の過去及現在の状況」という小 冊子を提出その功績により米国政 府と米国歯科医学会から賞牌が授 与されました。また同時に開催さ れた万国歯科医学会で名誉会頭と して演説をし、高い評価を受けま した。1896年(明治29年)勲六等 単光旭日章を賜り大日本教育会会 員,日本体育会名誉賛助員,日本 尚兵義社特別社員,日本赤十字社 特別社員などの会員に推挙されて いました。これらから高山の歯科 教育界においての評価は確実なも のとなり,1900年(明治33年)パ リで開催された万国歯科医学会名 誉会頭に選出され名実共にその名 は日本だけでなく世界にも届きま した。

明治29年に歯科医会は日本歯科 医会と改称され、その後教育から 歯科医の地位の向上と歯科医の団 結のため1902年(明治35年)日本 歯科医会の初代会長を引き受け同 時に付設機関として歯科医学会を 発会させました。1903年(明治36 年)日本歯科医会は発展的に解散 し新たに大日本歯科医会(日本歯 科医師会の前身)を創立し会長職 を1906年(明治39年)に辞任しま した。歯科医師会組織を全国組織 に規模を拡大した功績は大きく明 治43年に東京歯科医学専門学校の 庭に銅像が建立されました。

1900年(明治33年)50歳になった高山はすばらしい経営手腕をもつ血脇守之助に学院を譲渡したのち歯科教育現場から退き臨床医として診療活動を続け、ときには皇

族,政治家など有名人の診察に当たり1933年(昭和8年)82歳という長寿をもって他界しました。葬儀は学校葬として東京歯科医学専門学校の中央ホールにて盛大に営まれました。

幕末. 明治. 大正. 昭和と激動 の時代を生きた高山紀齋の最大の 転機はアメリカに渡り自身が受け た最高の治療に感動し恩師ヴァン デンボルグのような気品ある歯科 医師を目指すことに始まり、同時 にサンフランシスコで体験した西 部開拓者のフロンティア精神に よって日本で最初の近代歯科医療 教育機関を設立し歯科治療の発展 と歯科医の地位の向上を成し遂げ ました。今日の歯科医学界が存在 するのは高山紀齋の功績が多大で ある事は疑う余地がありません。 最後に高山と同じようにヴァンデ ンボルグに師事し. 高山歯科医学 院の講師でもあった一井正典の伝 記「青雲 遥かなり」を読んでこ んな言葉が心に残りました。

「It all started with a tooth-ache!(すべては歯痛に始まる)」

(広報委員会 委員長

臼田 準)



平成10年2月 本学によって設立された「歯科医学教育発祥之地」の碑 (東京都港区三田4丁目伊皿子交差点 角地)

会務

## 平成26年度評議員会報告

総会廃止後初めてとなる平成26 年度評議員会は、11月2日(日) 如水会館にて開催された。髙橋 義一専務理事の司会のもと、玉井 達人副会長の開会の辞で開幕し た。評議員数78名中、77名が出席 した。

まず, 矢﨑秀昭会長から, 会長 に就任3年間、恙なく会務を遂行 できたことへのお礼から始まり, 若手同窓との連携推進. 支部未加 入の課題, 東歯同窓国会議員の後 援会の設立, 来年に迫った同窓会 創立120周年記念事業そしてアカ デミア構想など、2期目初年とな る本年の重点項目を振り返り, 更 に今後の会務運営方針を表明した 挨拶があった (詳細は20~21ペー ジを参照)。続いて来賓を代表し て水野嘉夫理事長,井出吉信学長, 白須賀貴樹衆議院議員, 島村 大 参議院議員にご挨拶をいただい た。また、臼井文規常任理事よ り、時間の関係でご挨拶をいただ



矢﨑秀昭会長挨拶



白須賀貴樹衆議院議員(参与)来賓挨拶



島村 大参議院議員(参与)挨拶



ご来賓の先生方



評 議 員

てゆくとの方針が示された。山崎

評議員からはさらに新入会員の情

報開示に関して. 評議員会時に名

前と県ごとでよいので新入会員を

紹介してもらいたい旨の要望があ

り、執行部から方法など難しい面

があるが前向きに努力するとの回

答があった。佐藤秀夫評議員(関

東) は同窓会報への寄付者名簿の

掲載の目的を問い、 寄付者名に漏

れがある旨の指摘があり、これに

対し会長より感謝の気持ちをこめ て掲載した意であること, またご

寄附申し込みの際, 銘板に掲載を

希望しないと意思を示された場合

は名前がないとの説明があった。

での承認を求め、了承された。

議長は会長挨拶および各報告ま

けなかったご来賓・名誉会員のご 紹介があった。

#### 議長・副議長の選出

議場より執行部一任の声があり、議長に北浦利明評議員(関東)、副議長に市川敬一評議員(東京)が選出された。議長より5名の評議員の代理出席がある旨の報告があり、承認された。議事録署名人には大井誠一評議員(関東)、菊地善郎評議員(関東)が指名された。

#### 報告

報告に先立ち、この1年間の134 名の逝去会員に対して黙祷を捧げ た。次いで髙橋専務理事より平成 26年度会務報告が行われた。また 関連項目として, 浮地文夫副会長 から「同窓会創立120周年記念事 業について」、宮地建夫副会長か ら「アカデミアについて」、高野 博子常任理事から「若手ネット ワーク委員会からの活動報告およ びお願い」の報告があった。さら に福本恵吾常任理事より平成25年 度会計現況および共済金現況の報 告が行われた。井出学長からは「東 京歯科大学の現況」と題した報告 をいただいた(内容は22~24ペー ジに記載)。

#### 事前質問

会務報告に対して、田丸秀夫評議員(近畿)より「若手夫婦会員の会費減額について」の事前質問があり、これに対して寺田仁志常任理事が総務厚生委員会での検討内容を数字で示しながら、若手夫婦会員の会費減額へ向けた一つの考え方を示した。この提案に対し田丸評議員より賛成の意見があり、今後さらに執行部で検討を進めることとなった。

#### 会長挨拶および会務報告に対する 当日質問

木俣 茂評議員(関東)から千葉病院の今後の展望について,質問があった。また山崎安仁評議員(北陸)から血脇ホール建設および西棟建設に対する寄付に関して,特に西棟建設に対する執行部の考え方についての質問があり,矢崎会長より執行部として協力し



議 事(午前)

山崎安仁評議員(昭和50年卒・北陸) (質問)



田丸秀夫評議員(昭和50年卒・近畿) (事前質問)



北浦利明議長・市川敬一副議長



木俣 茂評議員 (昭和51年卒・関東) (質問)



佐藤秀夫評議員 (昭和48年卒・関東) (質問)

るもので、東京歯科大学名誉教授 川口 充先生、同 小田 豊先生、 同 松久保 隆先生、同 水口 清 先生が満場一致で名誉会員に承認 された。午前の審議はここで休憩 となった。

#### 叙勲・褒章受賞者顕彰式

昼食をはさみ、午後の議事に入 る前、叙勲・褒章受章者顕彰式が 行われた。

平成25年秋には4名,26年春には7名,さらに高齢者叙勲として3名の会員が叙勲を受章されたことが紹介された。ご来席の3名の先生に矢﨑会長より顕彰状と記念品が伝授され、顕彰された先生はそれぞれ喜びを語られた。

なお平成25年秋の叙勲受章者 は, 沼澤孝人先生(旭日双光章, 山形県), 岸田 允先生(同, 広 島県),新垣元洋先生(同,沖縄 県), 篠原壽宏先生(瑞宝双光 章, 鹿児島県), であった。また 平成26年春の受章者は、一色泰成 先生(瑞宝小綬章, 名誉会員), 髙橋潤一郎先生(旭日双光章, 広 島県), 岡田修二先生(瑞宝双光 章, 愛知県), 林 晉先生(同, 愛知県), 角倉 功先生(同, 愛 知県), 元文伊和男先生(同, 福 井県), 吉田 允先生(同, 岩手 県)であった。高齢者叙勲は. 田沼百合子先生(瑞宝双光章,推 薦), 真下俊一先生(同, 群馬 県),中村善左衛門先生(同,青 森県)であった。

#### 議 事(午後)

午後は2号議案から議事に入った。第2号議案から第6号議案は

平成25年度決算に関する議案であり、一括上程された。第2号議案から第5号議案について福本常任理事、また6号議案は臼井常任理事による説明があり、春山良夫監事の監査報告があった。審議・採決は逐条で行われ、第6号議案に関して財産を複数の金融機関に分散する要望(北村 一評議員(東京))があったが、いずれも原案通り可決・確定した。

第7号議案から第9号議案は平成27年度事業計画・入会金・会費,経常部収支予算に係るもので,事業計画については髙橋専務理事から,そのほかは福本常任理事から説明があり,3議案とも可決・確定した。

事業計画に関して髙野一夫評議 員(関東)から緊急時代診制度に ついて今後の取り扱いについて質 間があり、髙橋専務理事より「総 務厚生委員会において検討中で、 地域や支部が主導して対応してが ただくにあたり、法律的に、また 保険の面などから発生する諸問題 を洗い出し、どのように配慮して ゆけばよいか指針となる資料が度 については時間をかけて考えてで きればと思っており、また本制度 については時間をかけて考えての きたい」という回答があった。 松下 茂評議員(東海)は支部 のケースを紹介しながら、何らかの規定を作ってもらうとよいとの要望があり、これに対して寺田常任理事より、総務厚生委員会では地域でうまくやっていけるようにひな形のようなものができればと方策を考えているとの回答があった

本田富彦評議員(東北)からは, 80歳以下で病気罹災以外の理由で 閉院した会員は運営細則第5条三 のその他特別な理由に該当するか の質問に対し,いままで事例がな く,いろいろ影響もあることなの で慎重に考えてゆきたいとの回答 があり,さらに今後検討してほし いとの要望が付け加えられた。

木俣評議員からは、後継者がいない診療所に若い先生が継承するシステムの構築が提案され、執行部としてはアカデミア構想の若手ネットワークシステムをとおして先輩と後輩とのつながりを作り、一つ一つの事例を重ねて、急がず進めてゆきたいとの回答があった。

阿部伸一評議員(大学)から、 名簿積立金収支予算案について、 繰入金が400万円から100万円に なっていて名簿作成が可能かどう かの指摘があり、寺田常任理事よ り、従来の紙媒体から5年後は CDによる名簿発行も検討してお



北村 一評議員(昭和56年卒・東京) (協議題意見)



阿部伸一評議員 (平成元年卒・大学) (質問)

り、予算ではCDを考えた予算となっているが、紙媒体の希望があれば次年度から予算を増額することもありうるとの回答があった。さらに、CD、紙媒体による名簿の選択について、この場でも意見を聴きたいと付け加えられた。寺岡洋一評議員(東北)から名簿の廃棄について、紙媒体では処理がむずかしいのに対し、CDでは簡単にできる、このような観点からも検討をお願いしたいとの要望があった。

第10号議案は平成27年度共済負担金に係るもので、福本常任理事の説明の後、可決・確定した。

第11号議案から第13号議案は平成27年度特別会計収支予算,卒後研修セミナー収支予算,卒後研修セミナー積立金収支予算,時局対策費積立金会計収支予算に係るもので,福本常任理事の説明の後,全て原案通り可決・確定した。

第14号議案は選挙管理委員・予 備選挙管理委員の選出である。 北村評議員より、委員の資格審査 などもあることから議長団に一任 の提案があり、また永井 謙評議 員(信越)より執行部としての腹 案の有無について質問があり、予 想される選挙管理委員の役割に加 えて、特段の腹案を持ち合わせて いないことが髙橋専務理事から説 明された。永井評議員からさら に、ある程度のラインを作ってお いた方がやりやすく、また支部に 帰っても説明しやすいという意見 が述べられた

採決に入り,選挙管理委員および予備選挙管理委員の選出は議長団一任として承認された。今後人選を急ぎ,評議員会開催日に遡り任命するものとすることとし,後日何らかの方法で報告することとなった。

#### 協議

執行部から「評議員選出の経過 措置および評議員会の在り方につ いて」の協議題が提出された。 髙橋専務理事より同窓会改革の一 つとして評議員数削減が提案され たこと、48名の評議員が削減され 経過措置として1県1評議員が採 用された経緯、経過措置としての 要件の一つとして評議員会のあり 方も検討すること. 検討の結果評 議員会には本部執行を審議する代 議員会的要素と全国組織会議的要 素とがあること等を説明し、その ためそれぞれ評議員会と都道府県 代表者会として別々のものとして 開催することを提案し、さらにそ の場合の会則の変更案も提案し

寺岡洋一評議員(昭和49年卒・東北) (協議題意見)



永井 謙評議員 (昭和53年卒・信越) (協議題意見)

た。

寺岡評議員から会則変更案に関 して. 評議員の過半数で評議員会 を開けるとした案を評価. そして 評議員が参与になった場合地域支 部連合会から評議員を選ぶとした 理由の質問、さらに代理出席の場 合支部で選ぶのか連合会で選ぶの かの質問があった。髙橋専務理事 から,「評議員は地域支部連合会 から選ぶことになり、選ばれる支 部と選ばれない支部がでてくる が、参与になり出られなくなった 場合、支部で固定することなしに 地域支部連合会でもう一度考えて くださいというニュアンスです。」 との回答があった。寺岡評議員か ら、代理出席なども連合会からと するなど整合性をとってもらいた いとの要望がなされ、さらに地域 支部連合会では支部長会開催に限 りがあり、代わりを選ぶとしては 私としては当該地域(支部)から えらんだ方がよいと思うと意見が 述べられた。それに対し、連合会 として出すことにして, 内部規定 を作り当該支部からの選出も可能 かもしれないので、連合会内の意 見を尊重して考えていきたいとの 回答があった。さらに代理出席に ついて、実際の運営と会則との整 合性を検討する要望も出された。

北村評議員からは、賛意を示したうえで、可決した場合の28年度の評議員数の根拠となる会員数についての質問があり、髙橋専務理事より前年の8月の会員調査の数が妥当ではないかとの考え方が示された。

藤居正博評議員(近畿)から は、「評議員数が支部数に満たな



藤居正博評議員(昭和50年卒・近畿)

い場合,支部長会での選出で地域に任せるということなのか,人数割りが微妙なときに,同窓会ということでうまくやっていけるだろうとの思いか」の質問に対し,うまくやっていただきたいと髙橋専務理事の回答があった。執行部はこれら意見や質問を参考に,次年

度に向けて最終案を検討すること となる。

「その他」に移り、議場からは、山崎評議員より「同窓国会議員からご挨拶を頂いたが、せっかくの機会なので国会の報告など時間をとって話す機会を作ってもらいたいし、地域支部連合会でもお話をする機会を作ってほしい」との要望がった。会長より、日程などが許されれば評議員会でお願いするのもよく、地域支部連合でとの回答があった。

藤原元幸副会長の閉会の辞で、

平成26年度評議員会は滞りなく閉 幕した。

閉会後、会場を移して懇親会が 行われた。総会が廃止され、日程 的にも余裕があり、また連休初日 でもあったことから、例年にも増 して多数の参加者があった。来年 は120周年をみんなでお祝いしま しょうとの財部正治副会長の閉会 の辞で、すべての日程を終了し た。

註:評議員は各地域支部連合会単位で選出されるため、所属は地域 支部連合会名としてあります。

評議員会の写真が同窓会 HP に掲載されております。

## 評議員会挨拶

#### 矢﨑秀昭会長



皆さま、おはようございます。 ご来賓の先生方、そして全国から の評議員の皆さま、本日は早朝か ら誠にありがとうございます。

会長となりまして3年が経過致 しました。評議員の方々、全国の 同窓の皆さま方、役員、事務局の 皆さまの絶大なるご協力により、 現在、会務は順調に運営されてお ります。これも同窓の皆さまのご 支援のおかげと心から厚く御礼申 し上げます。

大学は水道橋に移転して約1年が経過し、学生さんも大都市の生活にだいぶ慣れてきております。ただし、大学の教職員の先生方は、水道橋の3校舎、そして千葉の病院、あるいは市川病院と、誠に忙しく働いておられ、本当に大変だと思っております。

このような中、皆さま既にご存 じのように、本年春の国家試験に おきましては、東京歯科大学は3 年連続で、全国すべての大学を含 めて1位を獲得しております。こ れは大学の長年にわたる緻密な教 育方針、それにこたえてくれてい る学生さん、そして教職員の皆さま方の一致協力した結果だと思い、心からの敬意を表しております。今後とも、ぜひともこのような体制を続けていって戴きたく願っております。

しかしながら、全国の歯科大学は、東京歯科大学を目指して、一 斉に国試の対策に力を入れだしております。さらに、私立の歯科大 学は、大幅な学費の減額、あるいは 特待生の枠の拡大等をして、学生 の獲得に躍起となっております。

東京歯科大学が、今後とも日本 一の歯科大学として存在し続ける ためには、全国の同窓の皆さまの ご支援が不可欠です。

大学の120周年事業に基づく,

血脇記念ホールをメインとしましたご寄付に関しましては、同窓の皆さま方から多大なるご厚情を賜り、誠にありがとうございました。同窓会会報の26年10月号に、大学へのご寄付を賜わった方のおもし上げました。1,700余名の同窓の方からご寄付を賜わっております。さらに大学では、ご寄付をいただいた方のお名前を銘板に記して、永く感謝の意を表すことになります。

一応、血脇ホールをメインとし ました大学への寄付の受付は終了 致しました。後ほど井出学長先生 から詳細なるご説明がございます が、現在の水道橋病院では、医局 員の診療, 研修医, 学生の臨床実 習にはどうしても手狭です。当初 の移転計画に基づきまして、大学 では現在, 西棟の建設に着手して おります。この西棟には診療室、 技工室、研究室などとともに、1 階に同窓が自由に集える同窓サロ ンの設置も計画されております。 しかしながら、東日本大震災の復 興事業や. 東京オリンピックや円 安などにより、現在、建築費は異 常に高騰しております。

まだ大学の水道橋への移転事業に、ご寄付をされていない同窓の方はもとより、より多くの同窓の皆さま方の西棟建設へのご寄付などのご厚情により、西棟の建設もつつがなく進み、引き続き東京歯科大学がすべての面で日本一を継続できるように、同窓の皆さま方の絶大なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

現在,東京歯科大学同窓会は,本館に隣接している旧鶴屋ビル(南棟)の6階に,委員会が同時に二つできるほどのスペースを使用させていただいております。そこで毎週のように若手の会員のための,症例検討会,あるいはセミナー等が開催され,若手会員と同窓会との連携を図るように頑張っております。

しかしながら現在、同窓会として最大の課題は、やはり若手の会員との連携がなか取りにくくなっている事です。議案書を見ていただきますと、同窓の会費の会選を担合が、一時年あたり1億円を超えておりましたが、一時年あたりに下回るようにでも1億円を大幅に下回るようになってきております。を登ります。

同窓会としては、メーリングリスト等を使って委員会の開催を少なくし、経費の削減に努めておりますが、しかしながら、根本的には、若手の会員との連携を図り、何とか各支部に入会してもらうなど、同窓会と若手との連携を強めていくということが大事です。それにつきましては後程、若手ネットワーク担当の理事から詳細なる説明がございます。

現在,同窓には2人の国会議員がおられます。平成12年卒の千葉県の衆議院議員白須賀貴樹先生,神奈川県の参議院議員の島村大先生です。同窓が衆参両院に出ているということは,同窓にとって

も大変素晴らしいことで、本日、皆さまのお手元にお二人の同窓後 援会発足の主旨と入会申し込み書 がございます。ぜひともこの同窓 後援会に入っていただきまして、同窓の国会議員を支えていただきまして、司窓の国会議員をする上げます。 というだけではなく、日頃から歯科 界のために本当に活躍していただいで、がこのに本当に活躍していただくの同窓がこの後援会に入っていたけるように、よろしくお願い申し上げます。

平成27年11月29日に、同窓会の 創立120周年記念会を予定してお ります。日本最古の歴史を誇る東 京歯科大学の伝統とその精神を、 次世代に継承するための素晴らし い会になるよう、現在、委員を中 心としまして種々企画をしており ます。是非とも一人でも多くの方 がこの同窓会創立120周年記念会 にご参加賜わり、今後の大学と同 窓会の発展に寄与して戴くようお 願い申し上げます。

現在,同窓会はアカデミア構想 等を立ち上げ,次世代の歯科界, そして同窓会を担う人材を育てる ことに取り組んでおります。同窓 会としましては,これら学術事 だ対しまして,大学とともに長く 輝いていくことが必要です。今後 とも同窓会の発展のために,皆さ ま方のお力添えを賜りますようお 願い申し上げます。

本日はご参加賜り誠にありがと うございます。

#### 水野嘉夫理事長



皆さま、おはようございます。 私は今年の6月から、金子前理事 長のご勇退に伴いまして、理事長 に就任いたしました。

ご存じない先生方も多くいらっしゃると思いますが、私は昭和56年から市川総合病院におりまして、平成4年から病院長を6年間務めさせていただきました。その後12年間、川崎の日本鋼管病院で病院長を務めておりました。その間に元理事長の井上 裕先生並びに当時の金子学長、井出副学長のお誘いを受けまして、平成18年から再び東京歯科大学の理事として帰ってまいりました。

したがいまして,私は慶應大学を卒業しましたが,今までの人生の中で一番長く東京歯科大学と関係してきましたので,何よりも東京歯科大学のことを考えていると

自負しております。

実は、昭和56年に慶應の私の恩 師であります消化器内科の土屋 (雅春)教授が、私に東京歯科大学 への赴任を指示されました。当時 は教授の命令が一番でございまし たので、それに逆らうわけにいき ませんでした。また、土屋教授は 非常に厳しい人でございまして. 2回まではお断りしても許してく れるのですが、3回拒否しますと もう日本では生活できないと言わ れていました。私も九州と神戸と 2回赴任の話があったのですがお 断りしました。3回目が東京歯科 大学への赴任で、これは断る訳に いかないということと、東京歯科 大学は日本で一番古い歯科大学で ありますので、意を決してまいり ましたが. 今では東京歯科大学に 来て本当に良かったと思っており ます。

今までの歯科というイメージが、ここ十数年でまったく変わってまいりました。私は歯科あっての医科だと思っております。これから歯科医療が日本国民全体、あるいは医科界に与える影響は非常に大きなものになると思っています。

今,歯科医師過剰問題という風 評が流れておりますが、私は決し てそうではないと思っておりま す。これからは歯科医師の先生方 が、日本の医療を支えていくと 思っております。

私も今年の6月まで、慶應大学 医学部の同窓会である「三四会」 の副会長を3年間務めておりまし た。本部としましては、評議員会 は非常に大きな重みを持つもので ございます。私は3年間十分経験 してまいりましたし、今まではこ ちらのほうに座っておりましたの で、評議員の先生からの厳しいご 指摘に対して、 それなりの準備を 行ってきました。これからは同窓 会本部, 評議員の先生方, 支部の 先生方、そして大学が一体となっ て、東京歯科大学の120余年の伝 統の理念を継承して、歯科界を発 展させるために努力していきたい と思います。

本日1日,大変長い時間ですが、東京歯科大学のために、ぜひ 先生方の英知をご拝借させていた だければと思っております。

簡単ではございますが、ご挨拶 とさせていただきます。どうもあ りがとうございました。

#### 井出吉信学長



皆さま、おはようございます。 日頃より同窓の先生方には、大変 大学をご支援いただきまして、改 めて感謝申し上げます。

大学の現況につきましては、後程詳しくお話をさせていただきます。水道橋に大学が千葉より移転してまいりまして1年ちょっと過ぎ、大学運営も落ち着いてきたと

ころでございます。私が一番うれ しく思っておりますのは、千葉校 舎のときよりも同窓の先生方がた くさん学長室に訪ねて来て下さ り、いろいろなお話を聞かせてい ただける事です。同窓の先生との つながりがより深かまったと思っ ております。

今日は宜しくお願いいたしま

す。

#### 東京歯科大学の現況

〈スライドを使用しての説明〉

大学の現況についてお話をさせ て頂きます。

現在同窓会の本部が置かれているのは、南棟(旧鶴屋ビル)の6階です。建物も古く、空調の音もうるさく、あまり立派な部屋ではないので申し訳ないと思っております

私は本館の14階におりますので、同窓の先生方の御来室お待ち しております。

先ほど水野理事長に,ご挨拶いただきましたが,6月1日からの法人の役員体制でございます。水野先生が総括で理事長にご就任いただきました。矢﨑同窓会長には常務理事として総務を御担当して頂いております。今後は法人業務内容等のご質問していただければと思います。先生は法人業務内容に大変良く精通なさっております。

新任の教授でございますが、本年4月より薬理学には笠原教授、衛生学には杉原教授、社会保障学には上條教授が就任いたしました。また法歯学には法人類学教授であった橋本教授が、歯科理工学は河田教授が主任教授に就任いたしました。市川病院の泌尿器科では中川教授が就任いたしました。中川教授は多くの腎移植を手がけており、臨床的にも研究的にも非常に高名な先生です。また前立腺のご専門ですので、何かご心配なときにはご来院して頂ければと思

います。リプロダクションセン ター (不妊外来) では、今まで産 婦人科の先生でした吉田先生が教 授として就任いたしました。

水道橋へ移転して初めての入学 式が血脇記念ホールで行われまし た。女子学生の入学が一番多い年 でも男子学生と女子学生が同数で したが、今年は、128名中、女子 学生が72名となり男子学生を大幅 に上回る人数になりました。この 様に女子学生の割合が年々増加し ておりますが, 本学の教授で女性 の先生は、眼科のビッセン先生だ けで、残念なことに歯科では一人 もいません。女性の先生方にもぜ ひ頑張っていただきたいし. 今後 大学としても、教職員女性が働き やすい職場環境を整えるべく努め て行く積りです。

今年の新入生128名うち、歯科 医師の師弟は56%ですが、同窓の 割合は15.6%になっております。 大学と致しましても、同窓の多く のご子弟に受験、入学して戴きた いと願っております。

今週の土曜日に,推薦入試と学 士選抜の試験があります。今日現 在の募集状況は,去年の3割増し になっています。東京歯科の同窓 のご子弟は大変優秀なので,国立 や医学部を受験される方も多いと 思いますが,同窓のご子弟が受験 される際には,矢﨑同窓会長に是 非お申し出いただければと思いま す。

ここ数年,東京歯科大学は国家 試験の結果が大変良かったので, 他の大学をだいぶ刺激いたしまし て,各校かなり国家試験対策に本 腰を入れてきております。本学は 今まで通りの教育方針を貫いておりますが、来年の国家試験の結果 は非常に厳しいと予想しております。

文科省のホームページに最低修業年限での国家試験の合格率が出ています。国立でも、60%~70%位で、中には45%の大学も有ります。私立歯科大学では、東京歯科が一番ですが、それでも、最低修業年限の国家試験の合格率は73%です。1年生から一度も留年しないで国家試験までたどり着くのが73%です。一番悪い大学では、20%です。

この最低就業年限数の数字で, 現実には多くの受験生が志望校を 選択しています。逆にこの数字が 少しでも悪くなったときには,非 常に志願状況が厳しくなります。 東京歯科は授業料が高くても良い 教育環境を提供しているので,多 くの受験生が本学を志望している と思います。今後も更に,教育, 研究,診療に,より一層向上を図 るべく努力を続ける所存です。

現在,矢島水道橋病院長が,移 転後初めての登院生を迎え,新規 の体制で臨床教育を行っておりま す。

また先日、歯科医師会の大久保 会長、矢崎監事がお見えになり、 研修医を集めて歯科医師会の6種 会員入会に対する説明会がありま した。その際会費を同窓会と大学 で大部分負担し、東京歯科の研修 医全員が歯科医師会の6種会員に 入会しました。

このスライドは、コミュニケーション学の一コマで、1年生が患者さんに前掛けをかける実習で

す。一言言葉をかけながら前掛け をかけなさいと指導しております が、一年生にはなかなか難しい様 です。

水道橋病院入り口の横にはモリ タの歯ブラシコーナーと売店があ ります。その反対側には、先日、 森永製菓の子会社であるクリニコ の商品の展示コーナーを設けまし た。常時、管理栄養士がおりまし て, 例えば摂食や嚥下障害者の方 でなくても、矯正治療でバンドを 入れて痛いときには、これを食べ たほうが良いですよとか、あるい は義歯を入れたときにも適合する まで、この様な食材が適していま す等の指導をしております。ここ には食材見本が置いてあり、販売 はネット通販となっております。 先生方も是非お立ち寄りくださ い。あるいは患者さんにここを紹 介していただければ、色々お話を 伺いアドバイスをさせて頂きま す。

移転の当初より予定しておりました二期計画でございますが、現在既存の建物を壊して、更地になっております。再来週には、地鎮祭を行いまして、建設が始まります。

建築面積としては、総床面積 3,250平米、地上5階建てです。 西棟建築により、三崎神社通り が、非常にきれいになると思いま す。西棟向かいの日大の経済学部 も同時期に建て直しの予定と聞い ております。 本館と西棟はどうしても運用上 連結せざるを得ません。連結する 事による大きな問題点が起こって います。本館は、今の耐震基準に は合っていますが、西棟の建築確 認を取るために、本館も今年の4 月から施工された新しい建築設備 基準を満たす必要があることで す。新しく設置したエレベーター もつくり直し、一部天井も張り直 す必要があるのです。この費用も 2億円ぐらい余分にかかります。

先程,同窓会長にお話をしていただきましたが,西棟1階に同窓の先生方との交流を計るラウンジを造る予定で,同窓の先生の待ち合わせ場所,また本学教職員との交流等の場になればと考えております。矢崎同窓会長に,今後の大学に対する寄付のご相談を申し上げております。建築費も高騰していますので,何卒ご協力の程宜しくお願いいたします。

今後の大学の課題としては、よ り質の高い学生の確保と共に、超 高齢化社会に対応した診療体系の 確立、他大学、他学部との連携し た高度の研究体制を整えて行く事 です。

金子前理事長のときに学校法人 東京歯科大学将来検討委員会を立 ち上げました。

一つは今後の千葉病院の有り 方,他は衛生士専門学校の在り方 です。

千葉校舎は3万坪あります。千 葉病院も現在、1日、多いときに は800人以上の患者さんが来院しており、地域にとっても無くてはならない歯科の基幹病院となっております。然しながらこれから多くの赤字を抱える事になります。これをどうするかを同窓会長であり法人の常務理事である矢﨑先生はじめ他の理事の先生方と早急に計画を立て始めるところです。

市川総合病院は、新棟開院から間もなく30年近くなりますので、大幅な改修が必要となってきています。我々は、どうしても千葉校舎や水道橋校舎にいると、市川病院の巨大さが良く理解出来ているとでしたが、看護師さんが約600人勤めています。この組織を管理運営して行く事は並大抵のことではありません。そういう意味でも水野新理事長に是非宜しく法人役員一同思っております。

先程院友会という話が出ましたが、私の同級生から、おじい様の卒業アルバムを寄贈して頂きました。100年前の卒業アルバムの中に院友会、同窓会が主催している勉強会を写した写真が載っていました。この写真を見て、今後も更に同窓会と大学との絆を一層強化し生涯教育に於いても、より連携を深めて行く必要性を感じました。

本日はどうもありがとうございました。

## 全国歯科大学同窓会・校友会懇話会・懇親会 報告

銀杏の黄葉も鮮やかに、リーガ ロイヤルホテル大阪にて11月8日 (土)第61回全国歯科大学同窓会・ 校友会懇話会・懇親会が開催され ました。今年度は,大阪大学歯学 部同窓会が「女性会員が より輝 くために」というテーマで懇話会 を企画し、事前に27大学同窓会に 調査または取り組みに関するアン ケート依頼があったこともあり、 16校の同窓会から女性担当理事・ 委員の出席が見られました。始め に大阪大学歯学部同窓会から、女 性会員へおこなった私生活と仕事 に関するアンケート調査の結果報 告がありました。報告の中で、98 %の女性会員が結婚後も仕事を続 けたいと答えていますが、 仕事を しながらの出産育児に様々な不安 を感じており、国や行政の支援よ り夫や家族の協力を望んでいるこ とがわかりました。しかし、子育 て期にある男性の家事・育児時間 は,国際的に日本は少なく,共働き 家族においても著しく少ないこと が報告されました (図1・2)。ま

た、同窓会に望むことの第1位は 休職女性会員の復職支援であり、 講演会や実習、託児室設置や女性 バンクも重点課題でした。続いて 石井みどり先生と、西村まさみの 生から、女性を取り巻く社会の現 状について講演が各30分ありまし た。アベノミクスの中核にあり ウーマノミクスの申核にある ウーマノミクスの語題から、内閣 府、厚生労働省からの資料を基に 「女性の年齢階級別労働力率の抵 り、いわゆる先進国に似合わる 学科入学者数の女性の激増」「国 家試験合格率の女性優位な現状」

「年齢階級別歯科医師数・女性比率」長生きする女性歯科医師の実態(図3)などの内容が話されました。その後、各同窓会から女性担当理事・委員からの活気ある報告がされました。国立系の大学は男女共同参画事業から女性に特化した会が多く発足され、同窓会もここ2~3年の間に女性会員の会や女性会員に対する活動が高まってきていました。本同窓会のよう

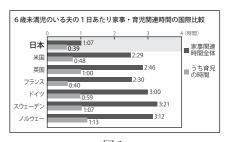


図1

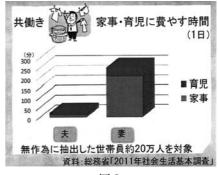


図 2

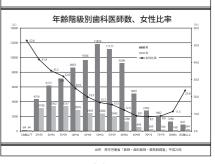


図3

に若手会員全体に対する働きかけを行っている同窓会もあり、学術講演会や活躍している女性会員の講演会開催などが行われていましたが、全国支部にネットワークを構築しているところはなく、懇親会で数校より質問を頂きました。

懇親会は、大阪大学同窓会 谷口学会長より「女性会員がより輝けば、夫である私たちもより輝く!」との挨拶から始まり、25名を超える女性会員の参加を得てにぎやかな中にも和やかに懇親が深められました。



## 会務アラカルト

評議員会では平成27年度の事業 計画が承認されました。その中で 一番の事業は同窓会創立120周年 記念事業です。会務アラカルトで は120周年記念事業を中心に話題 を紹介いたします。なお、掲載す る写真は東京歯科大学図書館の協 力で明治41年と45年の卒業アルバ ムからのショットを紹介します。

べられました。「千万回」のお言葉は重く、大震災、太平洋戦争、移転、社会情勢の変化といった時代の荒波を超えながら、120年後の今日まで力強くそして太く同窓会として活動が続けられたことは、高山歯科医学院以来の卒業生14,742人にとりましては誇りに感じるところであります。

#### 院友会起源

#### 院友会発足風景

明治28年6月16日,血脇守之助 先生らが中心になり高山歯科医学 院の第一回目の卒業式の後、院友 会すなわち同窓会をつくる計画が 立てられました。伊皿子の高山歯 科医学院から約1キロぐらいで しょうか、歩いて15分くらいの当 時の品川の海沿いにあった萬清楼 に同窓が50人ほど集まっていまし た。会が始まり、世話役総代であ る笠原恭三郎先生より院友会立ち 上げの経緯について話されまし た。この挨拶が終わると西の隅か ら「満座の諸君」と声高らかにあ げる人がありました。血脇守之助 先生です。言葉を当世風になおせ ば、「本日は世話人の皆様の尽 力、そして来会された諸君のご賛 同とにより、同窓の多年に望む院 友会の第一回を見るに至りまし た。これは諸君とともに欣喜にた えざるところであります。願わく は、本日の会をして竜頭蛇尾に終 わらすことなく、第2回、第3回 より千万回にいたらしめんこと, これこそ我々の強い望みでありま す」と先生の院友会への思いを述





単なるクラス会でなかった院友会

さて同窓会起源でありますが、 萬清楼の場面での高山歯科医学院 院長の高山紀斎先生のお言葉から も垣間見ることが出来ます。やは り今風にしますと「高山歯科医学 院の諸君にとって、長年の希望と 聞こえております院友会も、諸君 の尽力と賛同とにより首尾よく創 立の運びにいたりましたことは、 小生の祝杯を挙げて諸君とともに 慶賀の意を表するところでありま す。なぜ院友会が必要なのかの 云々についてはここで詳しく話を する必要はないと思いますが、ア メリカの歯科学校などでも同じ様 な会を設け、卒業後研究を重ね友 誼を温める機関としております。 諸君も願わくは、 当初の目的を失 わず永く本会の存続させる意思を もち、兎に角世間の人情として祭 礼的の騒ぎに狂奔する者もあるか もしれませんが、十分注意して有 終の美を全うしてこそ小生の切望 するところであります」と述べら れているように、本同窓会は単に クラスメートの集まりではなく. 卒業後勉学を重ね友誼を温めるこ とを目的とした機関としてスター トしたものです。更に当時の会則 第一条を見てみましても.「本会 は歯科医学上の知識を交換し相互 の友誼親睦を篤くし兼て歯科の品 位を高むるにあり」とあるよう に、 当時社会から認められなかっ た歯科医の立場を、知識、技術そ して品格をそなえた歯科医師を育 て高めてゆこうという強い意志が あったのでした。その決意の強さ は、「目的を失わないこと」、そし て「人情に流され祭礼的な集団と なさないこと」、そして先ほどの 血脇先生の「千万回にいたらしめ んこと」との言葉から感じられま す。このように我々東京歯科大学 同窓としては、これからも目的を 持った組織として自覚し、120年 をむかえたのち100年,200年さら には千万年と創立当初の目的を継 いでいかなければならないことを

- 会

再認識するところです。





#### 学術色がつよい同窓会の歴史

このように同窓会は研究、学術 を中心とした組織としてスタート しましたが. これは当時の院友会 の機関誌をみてもわかります。院 友会の機関誌である「歯科医学叢 談」のページをめくりますとほと んどが学術的な論文や論説で. 同 窓会組織としての記事はわずかで あります。まさに大学人と同窓と が研究を重ね、この雑誌をもって 社会に発信してきたことがわかり ます。明治31年の血脇先生の言葉 に「歯科医学叢談の発行目的は内 学芸の発達を計り、外社会の着眼 を期するにある」とあります。そ の頃になってもまだ香具師まがい で知識もなく売薬する歯科医が横 行し社会から歯科医は蔑視されて いたようで、高山歯科医学院の設 立そして学問・学術としての歯科 医学叢談の発刊により、この機を 待つように高山歯科医学院に優秀 な若者があつまり次々と教えを受 けた歯科医が全国に広がったと思 われます。

その後の東京歯科大学同窓会の

歴史をみてみますと学術事業が中 心に進められ、戦後に至るまで11 月の総会終了後宿題報告があった り、また総会とは別に2月と6月 に例会と称した学術企画では業績 発表, 血脇賞の授与, テーブルク リニックや展覧会がさかんに行わ れたりしていました。そして昭和 40年代の末から50年にかけて、い わゆる歯科110番で代表されるよ うに歯科界は社会から嵐のように 批判を浴びている時代. 臨床家に とっても悩める時代でした。当時 補綴なら補綴, 外科なら外科と いったアラカルト的な縦割りのハ ウツウ的な学術研修がほとんどで あった時代,「総合的視点に立っ た歯科診療」を主題に大学の協力 のもと、細分化された歯科医学を 横糸でつなぐ「タテ糸ヨコ糸」の コンセプトにより、 臨床家のため に臨床家が企画するセミナーとし て TDC 卒後研修セミナーが誕生 しました。同じ時期にいくつかの 同窓会もセミナーを開始してお り、これらの動きに呼応するよう に各歯科大学同窓会でも学術事業 を前進させるようになりました。 TDC卒後研修セミナーも「加齢 への対応」、「調和のとれた歯科医 療」、「信頼の歯科医療」、「心、科 学,技術」というようにいわゆる 血脇イズムをにじませるセミナー を展開してきています。このよう に活発になった各校の同窓会学術 事業がその後の臨床家レベルの向 上に影響があったことは間違いあ りません。さて、本同窓会におい てもこのような学術活動が同窓会 事業の中で重要な位置にあり,外 からも「東京歯科は学術」との評 を頂いているのは単なる偶然では

なく高山先生や血脇先生が院友会 を創設の時からの基本的な姿勢が 伝わってきている結果と説明がで きます。



#### 創立120周年事業で伝えたいこと 高山・血脇スピリッツ

同窓会創立120周年記念事業で は高山先生や血脇先生の精神を是 非次の世代に伝えたいと思ってい ます。明治,大正,昭和,平成と 時代は変わり、社会も変わり、文 化も変わり、人も変わっているの になぜ明治時代の精神を大切にす るのかと疑問を持つ方もおられる かもしれません。高山先生血脇先 生は東京歯科大学の創始者という だけではありません。現在我々は 社会の中で歯科医師として信頼を うけて地域医療を提供しておりま すが、お二人なくしては国民に とっても, 又我々にとっても今日 の歯科医療の発展はなかったと言 えます。

東京歯科大学の新館竣工式では 磯田道史先生が記念講演をされま した。そこで高山紀斎先生と血脇 守之助先生について詳しく話され ました。「江戸時代では砂糖を食 べるようになり、歯痛には塩なす び、おまじないくらいで江戸人の 歯の悲しさがあった。アメリカに いって歯科の技術も持ってきて、 高山歯科医学院をつくりその後 血脇先生にひきつぎ、同窓の協力

を得て昭和4年水道橋に新校舎を 作った。認識してほしいこと,それは歯を診る,政府の力ではとは く,民間の力で歯科医業が到達目標に達したことは,人類史上誇れるものである。それを高山,血加 の東京歯科が行った。政府の力に頼らず志を果たした。それでこそ学問の自立ができる。志が高く,自分がやるんだと信じることにそずる」。そうです。これよります。

さて明治31,2年頃, 医師法の案 が帝国議会に提出されましたが否 決され, 再度医師法の制定を期し て草案の起草にとりかかっていま した。その草案では「歯科医には 法の規定を適用せず |とあり.血脇 先生はこの事態を見過ごすことは 歯科医の社会的地位、法律上の根 拠、歯科医療の発展と向上が一挙 に覆されると懸念し歯科医師法制 定に動きました。しかしながら当 時歯科界は医師会に比較して組織 としてはバラバラな状態でしたの で、まず4人の歯科界の重鎮をま とめ四角連盟として. さらに東西 の歯科医会を固め大日本歯科医会 の創立を計画しました。そして明 治36年高山紀斎先生を会長に大日 本歯科医会が設立されました。こ れこそ今の日本歯科医師会につな がってゆきます。大日本歯科医会 での目標は歯科医師の身分や業務 を確立する歯科医師法の制定でし た。1904年(明治37年)10月、歯 科医師法草案がまとめられ、1906 年 (明治39年) 3月に医師法と同 時に貴族院で可決成立しました。 大日本歯科医会は、日本聨合歯科 医会へ、そして日本聨合歯科医師

会、日本歯科医師会とかわりました。血脇守之助先生は榎本積一会 長の後をつぎ大正8年から昭和21 年まで30年近くの長きにわたり会 長を務め日本の歯科医療の基礎を 固めたのでした。

以上のべましたような高山, 血脇両先生のスピリッツを次の時 代の人にも伝えたいということは 理解して頂けると思います。お二 人にかかわる言葉を見ますと. 東 京歯科大学を卒業した我々には知 らずしてしみついていることに気 が付きます。「歯科医師たる前に 人間たれ」,「志」,「家族主義」,「品 格」、「死ぬ気でやれば」、「歯科医 学の必要性」、「五分の真味に二分 の侠気、あとの三分は茶目でくら せよ | 「やるからには一生懸命や る」、「リーダーシップ」、「実 学」,「フロンティアスピリット」 「医はこれ済生、ひとえに仁な り | 「高尚の歯科医学 | 「私学の 力」、「平等」、「志をやりぬく」と ありますが、いかがでしょうか。 創立120周年記念事業では、明治 大正の歴史と伝統を紹介するだけ ではありません。高山血脇スピ リッツを感じながら、120年を機 に新しい時代の同窓会の役割を見 つめ、素晴らしい医療人としてそ して歯科界でのリーダーシップが とれる人材を育成しようとする 『アカデミア構想』につなげたい と思っています。



#### 同窓会創立120周年事業

さて、同窓会創立120周年式典、 記念講演、祝賀会は平成27年11月 29日(日)に血脇記念ホールと東 京ドームホテルにて執り行う予定 です。同窓が一人でも多く集ま り、一緒に同窓会創立120周年を 同じ場所で祝うことを第一義としており、厳粛な記念式典、伝統そ しており、厳粛な記念式典、伝統そ して未来を考えてゆきたい記念講 演会、心と記憶に残る楽しくとが も東京歯科が好きになる祝賀会をめざしております。メインテーマは、

#### 伝統そして未来への飛躍

です。内容は現在詰めております が. 決まっているところを紹介し ましょう。記念講演は吉澤信夫先 生(昭和39年卒・山形大学名誉教 授) にお願いしております。歯科 学報での連載でおなじみかと思い ますが、東京歯科大学の歴史につ いてはかなり詳しい先生です。記 念講演会の座長は宮地副会長と 財部副会長が務め、伝統からいか に未来につなげていくか. 今から 楽しみです。現在, 吉澤先生と同 窓会創立120周年記念事業実行委 員と広報委員とを交えて1.2か 月に一回のペースで歴史の研究会 を行い、講演内容を詰めておりま す。さらにこの会をとおして、同 窓会起源や同窓会立ち上げの背景 を幕末から歴史的、社会的、精神 的背景を探ったり、血脇イズムや 校歌などもいろいろな角度で調べ てゆき. 同窓会報を通して皆様に ご紹介できればと考えております。

さて記念祝賀会では東京歯科大 学 Big Band Jazz 部がパーティを 彩ります。そして創立120周年特 別企画を用意しております。一つ は『7分間で綴る同窓会120年の 歴史』です。同窓会の歴史と言わ れますとすぐには思いつかないか もしれませんが、これが東京歯科 大学同窓会の歴史だといったもの をピックアップして分かりやすく 楽しくご紹介できるよう広報委員 会中心に計画中です。是非お楽し みに。もう一つの特別企画は『オ パフォーマンスは楽しみです。さ したらご案内できると思います。

コンサート』です。レジェンドはが、大学の協力で卒業アルバムの 国立音楽大学出身の5人の男性オ ペラ歌手のユニットで、メンバー はそれぞれオペラの本場イタリア 片手にスクリーンに移った懐かし への留学経験を持ち、国内外のコ ンクール受賞歴のほか、数々のオ 事をしながら懐かしの恩師や先 ペラやコンサートに出演する実力 派揃いです。ダイナミックな歌唱 スタイルと娯楽性の高いステージ

ペラユニット レジェンド ミニ らに会場には冒頭に触れました 写真を場内のスクリーンに映し出 す計画をしております。グラスを い画面を眺めながら美味しいお食 輩. そしてクラスメートと語らう のもまた格別かもしれません。申 し込みの方法などは来年になりま

#### 同窓会会員名簿発行のお知らせ

会員の皆様のご協力により、このたび同窓会会員名簿発行の運びとなりました。 名簿は名簿作成業者㈱サラトから12月25日頃発送を予定しております。

名簿は原則として、現住所宛てに送付させていただきます。同窓会事務局からの 書類送付先を勤務先としている会員の方におかれましても、今回の名簿発送に関 しては現住所宛となりますことをご了承下さい。

平成26年度の名簿は、今までどおり会員1人につき1冊のみとし、名簿紛失等で 名簿が必要になった場合も再送付することはできませんので、各自責任を持って 取扱には十分ご注意下さい。

住所変更はお早めに知らせくださいますようお願いいたします。

その他、ご不明の点は同窓会事務局までお知らせください。 今後とも皆様のご理解ご協力ほどお願い申し上げます。

> 東京歯科大学同窓会事務局 電話 03-5275-1761 FAX 03-3264-4859

#### 東京歯科大学同窓会各種委員会委員

同窓会創立120周年記念事業実行委員会の追加(平成26年10月14日~平成27年12月31日)

諏 訪 幸 子(H10卒)

事業推進部社会保障制度研究委員会の追加(平成26年7月23日~平成27年12月31日)

協力委員 村 岡 輝 雄(S54卒) 稲 葉 孝 夫(S57卒) 大 木 志 朗(S58卒) 荻 原 俊 美(S58卒) 関 川 嘉 昭(S58卒) 髙 橋 潤 一(H4卒) 高津絵里(H5卒) 田邊 陽(H6卒) 近藤紀之(H8卒) 林 準 治(H11卒) 安藤武史(H12卒) 中 川 尚 彦(H8卒) 塚 本 裕 介(H12卒) 岡 本 泰 輔(H13卒) 関 威 夫(H14卒)

**総務・厚生部総務厚生委員会の記載もれ**(6月号に誤りがあり、追加させて頂きます。)

協力委員 海 野 智(S56卒)

◎同窓会選挙規則第4条により、平成26年度評議員会(11月2日)において、選出された「選挙管理委員・予備選挙管理委員」(敬称略)

#### ・選挙管理委員

澁 谷 國 男(板 橋 支 部・S43年卒) 田 原 邦 昭 (埼玉県支部・S45年卒) 大 森 淨 二(山梨県支部・S47年卒) 佐 藤 正 矢 (福島県支部・S53年卒) 中 村 忠(滋賀県支部・S56年卒)

#### · 予備選挙管理委員

正 信(和歌山県支部・S51年卒) 渡 邉 順(山梨県支部・S58年卒)
 佐 藤 滋(福島県支部・S59年卒) 金 子 久 章(埼玉県支部・H2年卒)
 時 岡 孝 寛(小石川支部・H7年卒)

同窓会選挙規則第4条第2項および会則第24条第2項により任期は、 平成27年12月31日までとなります。

## 理事会のうごき

#### 第5回理事会

平成26年9月20日(土)午後2時30分

於 特別会議室

出席 31名

議長 矢﨑会長

#### 会長挨拶

今年は荒れた夏であったが、理事・役員各位がみなお元気そうで何よりである。また、先般の豪雨では、水道橋病院前の道路が冠水したが、被害がなかったことは幸いであった。

評議員会が間近に迫っており、それをにらんだ協 議題が本日協議される。

同窓会創立120周年に向けて委員会および常任理 事の間で、すでに記念事業に関する協議が進められ ている。今回参加の皆様にもその中に加わっていた だき、すばらしい記念事業にしていただきたい。ま た、高山・血脇両先生の足跡・精神を是非次の世代 に引き継いでいけるような事業となるよう期待して いる。

来週、日大と合同で「二校会講演会」を開催する。「新進会員のつどい」とともに若手支援に向けた同窓会事業が始まる。新進会員など若手会員が同窓会に目が向くよう期待するものである。

各地域支部連合会や支部総会に出席してみると, どこでも中堅どころの先生の活躍が目立つ。若手支 援ばかりでなく,これらの先生のご活躍も忘れては ならないところである。地域理事の先生方のご意見 があれば伺いたい。

寄付に対しては、会報10月号上でご協力いただいた皆様に心より御礼を申し上げる予定である。また、西棟建設が始まったことから新たな支援策を検討していくので、さらなるご協力をお願いする。

#### 黙 祷

長崎県支部・糸山 修氏はじめ9名のご逝去を悼み, 謹んで哀悼の意を表した。「黙祷」

#### 会務報告ならびに承認

- 1) 平成26年8月31日から平成26年12月17日までの 日程を報告。
- 2) 各部報告
  - (1) 総務・厚生部:①逝去会員について規定により弔慰共済金を支給した旨の報告。②高齢者叙勲受章者について4名報告。③総務・厚生委員会報告。④ゴルフ大会委員会報告。⑤情報ネットワーク推進会議報告。⑥会務運営協議会報告。⑦事業連携協議会(アカデミア構想連絡会)報告。⑧東日本大震災対策部会報告。⑨同窓会創立120周年記念事業実行委員会報告。⑩会員名簿作成の進捗状況について報告。
  - (2) 会計部:①支部・地域支部連合会学術講演会 講師派遣交通費の支出について2件報告。②平 成26年8月末現在現況報告。
  - (3) 渉外部:①渉外部委員会報告。②島村 大議員「未来の社会保障を考える会」開催の報告。
  - (4) 広報部: ①広報委員会報告。②同窓会 HP ア クセスレポート報告。
  - (5) 事業推進部:①社会保障制度研究委員会報告。②若手ネットワーク委員会報告。③卒後研修委員会報告。④医療教養委員会報告。⑤臨床セミナー委員会報告。⑥アカデミア生涯研修企画会費報告。⑦学術事業交流についての協議会報告。⑧新進会員のつどい準備会報告。

以上の会務報告について、全て承認。

#### 各地域選出理事報告

東海・山田理事より報告。

#### 協議事項

- (1) 推薦会員入会願いについて2件承認。
- (2) 他大学出身で本学に勤務する医局員の同窓会への入会について協議、承認。
- (3) 同窓会施行細則の見直しについて協議、承認。
- (4) 評議員会の次第について協議, 承認。
- (5) ホームページへの投稿等について協議,対応策は総務一任。

- (6) 学術講演会講師交通費の支出要請の対応について覚書案を提案協議. 承認。
- (7) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会「提案書」について協議、承認。
- (8) アカデミアプログラムについて協議、承認。
- (9) 評議員会協議題について協議、承認。
- (10) 27年度ゴルフ大会について協議、承認。

#### 第6回理事会

平成26年11月1日(土)午後2時30分 於 特別会議室 出席 32名 議長 矢﨑会長

#### 会長挨拶

3カ月連続の理事会となり、関係各位に感謝申し上げる。先週日本歯科医師会の行事で高知に行ってきたが、その席で久保田理事はじめ同窓が3名表彰された。常々、歯科医師会に尽力されたことが評価されたものであり、このように各地域で同窓が活躍されていることは心強いかぎりである。

明日の評議員会では、協議題で評議員の事柄が協議される。いろいろな意見が出ることが予想されるので、内容をよく理解したうえでしっかり対応を図っていただきたい。

会費収入が減少しているが、これは若手の同窓会離れと高齢会員の増加が原因である。若手支援など、その対応策を講じてはいるが、目に見える効果が現れるにはもう少し時間がかかるものと思われる。それでも執行部としては、最大の課題ととらえて事業を推進していきたい。事前質問にある会員種別に関しては、その時代にふさわしい対応を考えていきたい。

西棟建設に関して、大学は金銭的に厳しい状況にある。今後も同窓会として支援していくつもりでおり、前回ご寄付の協力を得られなかった同窓についても、再度お願いしていく予定である。

来年の同窓会創立120周年記念事業は、周知を徹底し、多くの会員が集うことを期待する。

#### 黙 祷

千代田支部・田村博長氏はじめ15名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙祷」

#### 会務報告ならびに承認

- 1) 平成26年9月21日から平成26年12月17日までの 日程を報告。
- 2) 各部報告
  - (1) 総務・厚生部:①支部長交代について1件報告。②支部長退任時の感謝状ならびに記念品の贈呈について1件報告。③逝去会員について,規定により弔慰共済金を支給した旨の報告。④会費,共済負担金納入免除願いが2件提出され,受理した旨の報告。⑤総務・厚生委員会報告。⑥ゴルフ大会委員会報告。⑦母校創立120周年記念事業募金状況報告。⑧情報ネットワーク推進会議報告。⑨会務運営協議会報告。⑩事業連絡協議会(アカデミア構想連絡会)報告。⑪東日本対策部会報告。⑫同窓会創立120周年記念事業実行委員会報告。
  - (2) 会計部:①地域支部連合会学術講演会助成金の支出について報告。②支部・地域支部連合会学術講演会講師派遣交通費の支出について報告。③支部加入促進費の支出について報告。④平成26年度9月末現在現況報告。⑤事務職員冬季期末手当について報告。
  - (3) 涉外部:①涉外委員会報告。
  - (4) 広報部: ①広報委員会報告。②同窓会 HP ア クセスレポート報告。
  - (5) 事業推進部:①社会保障制度研究委員会報告。②若手ネットワーク委員会報告。③卒後研修委員会報告。④医療教養委員会報告。⑤臨床セミナー委員会報告。⑥アカデミア生涯研修企画会議報告。⑦TDC卒後研修セミナー2014報告。⑧学術事業交流についての協議会報告。⑨新進会員のつどい準備会報告。
  - (6) 各地域選出理事報告 北陸地域・伊藤理事(書面にて) 九州地域・田部理事(書面にて) 以上の会務報告について,全て承認。

#### 各地域選出理事報告

北陸・伊藤理事、九州・田部理事より報告。

#### 協議事項

- (1) ホームページへの投稿・問い合わせについて協 議. 承認。
- (2) 東日本大震災被災者に対する平成27年度会費・共済負担金免除の延長について協議,承認。
- (3) 学術講演会講師交通費の支出要請について, 覚書の内容提案があり協議, 承認。

- (4) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会委員補 充について協議. 承認。
- (5) 平成27年度東京歯科大学同窓会評議員会・理事会・常任理事会開催日程(案)について協議,承認。
- (6) 平成27年移動理事会について協議, 承認。詳細 は会長一任。
- (7) 母校水道橋校舎西棟建設への寄付について協議, 承認。詳細は会長一任。

# 東京歯科大学同窓会 120周年記念事業

# 平成27年11月29日(日)

### ◆ 記念式典·記念講演会 ◆

《場所》

東京歯科大学水道橋校舎新館「血脇記念ホール」

《記念式典》

11:00~11:40

《記念講演会》

11:50~13:15

# ◆ 記念祝賀会 ◆

《場所》

東京ドームホテル 天空の間 午後14:00~16:30 120年の伝統を誇る東京歯科大学同窓会は、 血脇守之助先生が明治28年に歯科医師は、 生涯にわたる知識の向上と、共に助け合い、人 間として高め合ってゆくことが必要であるとして 創設されました。

多くの同窓が集い、創立120周年を祝い、懇親 を深めて戴けるよう全力で準備を進めています。 より多くの同窓がご参加賜わりますようお願い申 し上げます。

当日お会い出来るのを楽しみにしております。

東京歯科大学同窓会会長 矢﨑 秀昭 創立120周年記念事業実行委員会委員長 髙橋 利武



オペラユニット レジェンド (LEGEND) ダイナミックな五重唱と極上のアンサンブル。 日本初、男性だけの5人組オペラユニット。



東京歯科大学同窓会

# ゴルフ大会

# 第42回同窓会主催全国ゴルフ大会を終えて

本年のゴルフ大会は9月15日月曜日,敬老の日となる祝日に埼玉県おおむらさきゴルフ倶楽部にて開催されました。おおむらさきゴルフ倶楽部は、奥武蔵の豊かな自然に恵まれたフラットな地形に広がる27ホールズを持つゴルフ場で、参加者の皆様は同窓同士ということで和気藹藹とした雰囲気の中楽しくプレーをされておられました。

競技はアンダーハンディの18 ホールスストロークプレーで行われ、西コース・中コース・東コースの3コースからそれぞれスタートし、ハンディキャップはダブルペリア方式で算定しました。当日の参加者は148名で、その内シニア(65歳以上)は29名。女性は19名でした。今年は例年通りの木曜日でなく祝日にあてた休日開催といたしましたが、大学の在籍者や若い先生の近年にない多数の参加を得て、盛況な競技となりました。

懇親会は堀 正樹競技委員長の 司会のもと、矢﨑秀昭大会会長・ 同窓会会長の挨拶で始まり、来賓 からは東京歯科大学櫻井 薫教授 と佐藤 亨教授にご挨拶をいただ きました。さらに福本恵吾同窓会 常任理事より会計報告が行われた 後、本大会開催にあたりご協力い ただいた埼玉県支部を代表し春山 良夫支部長のご発声で乾杯となり ました。

表彰式は中野正博実行委員長の



大会概要報告の後. 大谷義之総務 副委員長より成績発表と賞品授与 が行われました。優勝は高橋治好 先生(丸の内 S63率)で同窓会 長杯が矢﨑秀昭会長から、準優勝 は山本雅通先生(千代田 H6 卒)で理事長杯を、3位は山﨑 眞司先生(埼玉県 H1卒)で学 長杯をそれぞれ佐藤 亨教授から 授与されました。ベストグロス賞 は3コーススタートでの競技にな りましたので、西~中コースの 喜田賢司先生(静岡県 H2卒), 中~東コースの海野 智先生(埼 玉県 S56卒), 東~西コースの 町田貴敏先生(板橋 H4卒)の 3名に水道橋病院長杯として櫻井 薫教授より授与されました。また 1コーススタートにまとまりまし たシニアのベストグロス賞を佐藤 秀夫先生(新潟県 S47卒), 坂井 清先生 (三重県 S47率) の同グ ロス2名に、同じくまとまりまし たグランドシニアのベストグロス 賞を成田賢二先生(埼玉県 S43 卒) に千葉病院長杯として櫻井教 授より授与されました。女子ベス トグロス賞を西~中コースの 小池美子先生(渋谷 S57率), 中



~東コースの佐々木紀子先生(千葉県 S47卒),東~西コースの安藤公美先生(目黒 H15卒)の3名に櫻井教授より授与されました。

その他順位賞30位までと飛び 賞, ブービー賞などがそれぞれの 受賞者に授与されました。

本大会の開催にあたり大学当局 ならびに同窓会本部、埼玉県支部 から多大な協力を承りました事に 深く御礼申し上げます。さらに大 会運営にお手伝い頂いたおおむら さきゴルフ倶楽部ならびに同窓会 事務局の皆様に感謝申し上げま す。

来年の大会は埼玉県の霞ヶ関カンツリー倶楽部で9月3日(木)に同窓会120周年記念大会として開催の予定です。より盛大で意義ある楽しい大会にする所存でおりますので宜しくお願いいたします。

最後になりましたが同窓会会員 の皆様の益々のご活躍をお祈りい たしましてご報告とさせていただ きます。

(大会総務委員長 中川路健司)

#### 優 幐

高橋治好先生(昭和63年卒)



#### 優勝者は?

ゴルフを始めて25年、ゴルフ人 生初めての3日連続プレーに強攻 当日の受付やアテストやパー 挑戦。1日目は霞が関CCで1.5 R。2日目は今大会同伴競技者の 先生方と熊谷 GC で1R。その夜 は熊谷にて前夜祭と楽しく2日目 が終わりました。3日目、おおむ らさき GC に到着。肩が痛い、腰 が痛い. あちこち筋肉痛の中. 東 コースよりスタート。1番ダブル ボギー、2番ボギー、3番トリプ ルボギー, その後, スコアーは気 にせず和気藹々とゴルフを楽しみ ました。

ゴルフ実行委員として、3年目 員の先生方は、コースや商品の選 に心より感謝申し上げます。

定. 視察など大会開催に向けての 準備をして頂き, 実行委員は主に ティー等々円滑に進むよう役割分 担します。そのためパーティーも 中盤には委員、実行委員は表彰の 準備に入り、 そこに順位表が到着 するので, 一足早く順位確認がで きるのです。

さて、今年の優勝者は…ええっ! そこには見慣れた名前がありま した。

最後になりましたが、ご同伴頂 きましたS62卒大谷義之先生、S 63卒角田裕史先生, H8卒近藤 紀之先生、そして、大会開催に当 の大会参加になります。ゴルフ委 たりご尽力頂きました全ての皆様

# 東~西コース 女子の部 ベスグロ

安藤公美先生(平成15年卒)



#### 「同級生との楽しい時間」

で、楽しい大会を開催して下さっ た大会実行委員の先生方、関係者 の皆様に深く感謝いたします。

会に参加し、多くの大先輩方の優 しさ温かさに触れ、とても楽し かったので、今年は同級生と一緒 に参加させて頂きました。

普段から練習やラウンドを共に し切磋琢磨している奥澤先生. 齋藤先生, 私に唆されてゴルフデ ビューした奥田先生とのラウンド は、学生時代と変わらずくだらな い話で盛り上がり、笑いっぱなし。 後ろの組の先生方に迷惑をかけな い様に、打ってしゃべって、笑っ て走って無我夢中の18Hでした。

当日の私のプレーはゴルフの神 まず初めに、素晴らしいコース 様に神頼み。初めて使うパターに 四苦八苦し, 何回も神様にお願 い。神頼みが功を奏したのか、気 が付いたら奥澤先生と一緒にベス 私は昨年初めて同窓会ゴルフ大トスコアを更新していました。言 霊の力ってすごい!ゴルフの神様 ありがとう。

> ゴルフは向き合えば向き合う 程、苦しいことの方が多いと思う のですが、同級生ととても楽しい 18日を過ごして、ラウンドの充実 感=スコアではないということに 改めて気付かされました。

個人競技でありながら、人との 輪が広がり、人との繋がりが深 まっていくゴルフが大好きです。 来年の大会も楽しみにしていま す。

成 績 表 (新ペリアの部)

/X /X /X (/// / / · > HP)															
順位	プレイ	ヤー名	コース1	コース2	GROSS	HDCP	NET	順位	プレイ	ヤー名	コース1	コース2	GROSS	HDCP	NET
優 勝	高橋	治好	42	43	85	15. 6	69. 4	16位.	牧野	信之	45	45	90	18. 0	72. 0
準優勝	山本	雅通	39	39	78	8. 4	69. 6	17位	大井	誠一	44	46	90	18. 0	72.0
3位	山﨑	眞司	39	37	76	6.0	70.0	18位	渡辺	順	49	47	96	24. 0	72.0
4位	宇内	充	45	41	86	15. 6	70.4	19位	原	一雄	40	37	77	4.8	72. 2
5位	大橋	渡	44	41	85	14. 4	70.6	20位	宮田	太郎	48	47	95	22. 8	72. 2
6位	松村	栄治	39	39	78	7. 2	70.8	21位	田邉	陽	44	39	83	10.8	72. 2
7位	小野哥	身保好	37	39	76	4.8	71. 2	22位	鈴木	常夫	45	43	88	15. 6	72.4
8位	山本	勇一	40	36	76	4.8	71. 2	23位	山﨑	康博	47	47	94	21.6	72. 4
9位	浅川	仁	38	37	75	3. 6	71.4	24位	黒須	誠	40	41	81	8. 4	72.6
10位	喜田	賢司	36	39	75	3. 6	71.4	25位	掘	正樹	44	37	81	8. 4	72.6
11位	磯野	珠貴	37	42	79	7. 2	71.8	26位	根本	敬規	43	43	86	13. 2	72.8
12位	石山智	習香子	45	46	91	19. 2	71.8	27位	村井	憲一	39	40	79	6.0	73. 0
13位	安藤	公美	34	33	67	+4.8	71.8	28位	沼田	裕之	40	39	79	6. 0	73. 0
14位	成田	賢二	41	37	78	6.0	72.0	29位	副島	寛貴	44	47	91	18. 0	73. 0
15位	鵜澤	文彦	44	46	90	18. 0	72. 0	30位	角田	裕史	45	45	90	16.8	73. 2

























写真が同窓会ホームページ≪http://www.tdc-alumni.jp≫に掲載されています。

# 事業推進部

### ●社会保障制度研究委員会●

# 「2025年問題・2025年の医療提供体制と歯科について」 一第1回社会保障制度研究会 —

# 基調講演 武見 敬三 参議院議員 厚生労働委員会・国の統治機構に関する調査会(会長) 国際保健医療戦略特命委員会(委員長)

平成26年10月29日水曜日午後7時より,水道橋本校舎14階にて、第1回目の「社会保障制度研究会」が開催された。

大学からは、井出吉信学長にも出席いただき、広報があまり 出来なかったにもかかわらず、40名の同窓に出席いただいた。 参議院議員の武見敬三先生に基調講演をいただき、相庭本委員 会委員長が問題提起をし、その後上條教授、島村参議院議員に も加わっていただき、基調講演・問題提起に対して活発な質問 やディスカッションが行われ有意義な研究会となった。



昨年まで同窓会で活動していた保険委員会が発展的解散をし、同窓会の活力を増加させるべく「社会保障制度研究委員会」が本年1月より発足した。アカデミア構想とも合いまって人材育成を柱に知識ある同窓を数多く育て、学術とは違った方向から将来日本歯科医師会、厚労省に物を言える人間が多数いる同窓会にしていこうという、大それた考え方の研究委員会です。

委員会では、参議院議員の島村 大先生、社会保障学教授の上條教授などをお招きして勉強会・委員会を開催してきた。委員会より、これからの歯科の課題の一つとして「2025年問題」を検討課題として提案いたします。

2025年問題とは、団塊の世代と言われる人たちがこぞって75歳後期高齢者に突入する。2025年(平成37年)には、3人の成人が1人の高齢者(65歳以上)を支える状態になり、医療費・社会保障費がパンク状態になり、社会保険医療体制自体が大きく変革せざるをえない。2005年より厚労省は医科の保険診療の方向を急性期医療から、老人を見据えた慢性期医療・在宅医療に大きく舵を切ってきている。在宅に特化した専門医制の導入・人頭払い制の導入なども検討されている。しかし、歯科はほとんど検討もされてきていないのが現状である。





#### [基調講演]

講演者 武見 敬三 参議院議員

- 2025年に5人に一人が75歳以上という超高齢化社会を迎えるにあたって、医学的見地からの推計だけではなく社会科学という観点からを合わせて分析し、政策全体を考えるという手法をとっている。
- 戦後日本は「健康で教育レベルの高い中産階級の確立」を国家目標としてかかげ、社会保障制度はその 一環として優先的に予算配分された。このおかげで日本では所得の再分配が効率的に行われ、急激な経 済成長にも関わらず、他国のような貧富の格差の拡大は起こらなかったといえる。しかし21世紀におい てその制度も持続可能性を失ってきつつある。
- •地域医療・介護保険総合確保推進法の策定により、都道府県の役割の強化、地域完結型の包括ケアーシステムの充実や、新たな基金の創設など、2025年に向けた医療制度改革の取り組みがスタートしている。
- 高齢化社会の問題点として、平均寿命の延伸に対し健康寿命との格差が拡大していくことにある。これにより現役世代の負担増加や医療費コストの増加は社会のダイナミズムを失わせていく原因になる。今後の保険医療政策の目標は、健康寿命を延伸しつつ、平均寿命と健康寿命の格差を地締めていくということにより、「経済的に活力のある長寿健康社会の確立」を目指さなければならない。
- 健康寿命の延伸には口腔の健康が大きくかかわってくる。残存歯数と寿命とのかかわりや、齲蝕・歯周 病の全身への影響、認知症発症のリスクもエビデンスが存在する。

#### [問題提起]

社会保障制度研究委員会 委員長 相庭 常人

- 現時点と2025年での問題点での比較。確実に高齢化社会に向かってゆく。それとともに、歯科の疾病構造が変化していく。
- •減少する生産年齢人口の歯科疾患に関しては検診(健康であるかどうかの診断ではなく、疾患が生じているか検査のための診査の意味)で重症化の予防、増加する老齢人口の疾患に対しては、在宅歯科診療の促進をしていく必要性がある。
- これからの歯科医療は病院で患者を待つ診療所完結型から、こちらから訪ねていく地域完結型へ変化していくべきである。

#### 「ディスカッション]

- 本当に医療費抑制は必要か(相庭委員長)
  - ◇医療費を抑制することは不可能。自然増分もなかなか補えない。その中で、健康投資という考え方で 予防に関する歯科診療を充実させていくことで、歯科医院経営の安定化と国民の健康寿命の延伸を両 立させることができるのではないか。この点を踏まえて制度設計をすべきである。(武見議員)
  - ◇労働安全衛生法の中に歯科健診を組入れ、さらに企業健診、特定健診への歯科の組入れへの準備を進めている。(島村議員)
  - ◇現在成人歯科保健指導や75歳以上の歯科健診が保険局から予算要求がされている。医療費適正化という名目化かもしれないが、重要なことだと認識している。(上條教授)
- 生産年齢人口の減少、人口の減少に対する対策をどう考えるか(相庭委員長)
  - ◇明確に少子化対策しかないであろう。さらなる支援事業を考えねばならない。外国人労働者の導入も本格的に検討すべき。(武見議員)
  - ◇人口減もある見解では一定期間を過ぎると社会的に悪くない状況に落ち着く可能性もある。(島村議員)

第2回の研究会は、平成27年2月頃を予定している。次回は、「医療経済」のほうに重点をおいて進めていきたい。

(事業推進部 担当常任理事 蛯谷剛文)

### ●二校会●

### 二校会講演会

平成26年9月23日,秋の気配も少しずつ感じられる中,第1回二校会講演会が開催されました。場所は、東京歯科大学水道橋校舎新館2階の血脇記念ホールです。

ここで、二校会の成り立ちと経過を簡単にご紹介いたします。日本大学歯学部同窓会と東京歯科大学同窓会は、平成23年4月より両校同窓会の学術関連事業の紹介と懇親を主体に連絡会を重ね、両校の学術セミナーや講演会等に、相互に無料招待を実施して参りました。また、両校同窓会学術委員会の交流を図り、学術講演会・シンポジウム等の共催を検討してきました。昨年、本校同窓会主催の若手支援セミナーを共催したことで、二校会講演会の開催に道筋が開け、昨年末に二校会講演会準備会が発足し、委員会を重ね、今回の記念すべき第1回二校会講演会の開催に至っています。

当日は10時開会。日本大学歯学部同窓会小幡会長から二校会の目的と経緯が話され、続いて東京歯科大学同窓会矢崎会長から両校同窓会会員に今後のご協力をお願いするご挨拶とで開会しました。

午前の講演は日本大学歯学部口腔診断学講座の今村佳樹教授に「顎顔面領域の疼痛とその対応」の演題でご講演頂きました。日頃の臨床で悩むことの多い顔面の疼痛に対して、詳しい診断や専門的な治療など、up to date な内容でたいへん勉強になったと思います。

昼食後は、東京歯科大学副学長の一戸達也教授から始まりました。「歯科領域における医療事故の現状」という演題でのご講演です。起きてはならない医療事故ですが、万が一起きてしまった時の対応など、いくつかの実例を踏まえながら、その原因と対処について、お話しされました。歯科医師は、緊急の場合は応急措置をきちんとこなさなければならず、それは法的にも認められているとのことが印象的でした。

最後は東京歯科大学昭和42年卒業の黒田昌彦先生です。「患者さんの願いは"歯を救って長持ちさせること"」との演題でご講演頂きました。40年以上にわたる臨床例をいくつも供覧していただき,若手歯科医師のみならず、中堅以上の出席者にとっても目から鱗が落ちるような、たいへん為になるご講演でした。

講演終了後、日本大学歯学部同窓会赤司副会長から各演者に感謝状が贈呈されました。最後に東京歯科 大学同窓会宮地副会長の閉会のご挨拶にて講演会が滞りなく終了いたしました。

その後、場所を新館13階に移し、懇親会となりました。日本大学歯学部同窓会立花専務理事のご挨拶、引き続き東京歯科大学同窓会高橋専務理事の乾杯で懇親会が始まりました。大学のご厚意で実習室を懇親会会場に設営させていただき、手作り感あふれるアットホームな雰囲気の懇親会で、さらに両校同窓会の距離が縮まったようでした。今後の二校会の運営がさらにスムーズになることでしょう。最後は日本大学歯学部同窓会藤本学術担当理事の閉会で、第1回二校会講演会がすべて終了いたしました。

尚,講演会の参加者は,両校の同窓合わせて193名でした。ご参加,ご協力頂きました会員の先生方には厚く御礼申し上げます。今後は,さらに若手歯科医師の興味を引くような内容,ベテランが若手に伝えたいテーマなど,趣向を凝らして来年度の第2回を考えて参ります。

(事業推進部卒後研修委員会 委員長 加藤賢祐)



感謝状授与



会場の模様

### ●卒後研修委員会●

# 卒後研修委員会

卒後研修委員会は, "歯科医師にとって必要な生涯研修"の方法を, 修得していただける場と考えております。

歯科医療の特徴は、そのほとんどが慢性疾患で、その要因は様々であり、「これさえあれば」・「これさえできれば」などという方程式(クリニカルパス)は存在しません。すなわち我々は、日々の臨床において、このような"個の多様性"に対応していかなければなりません。そのためには、それぞれの症例をひもとき、自己解決できる歯科医師になることが必要であり、その修得こそが生涯研修の第一歩だと考えます。それには①症例を見学することから、症例報告が出来るようになること。②情報の収集。情報からの診断が出来るようになること。③実際の処置、そして症例経過から問題点の抽出・問題発見・問題解決が出来るようになる事が必要だと考えております。これらをふまえ、それぞれを特徴とした3つの研修会をご案内いたします。

**歯科臨床を語る会**(毎月第4木曜日)では卒後後1~5年目を対象に、歯科疾患に対して包括的な診断・治療・手順が出来るようになるために、学生の時に習得した知識、態度、技能を再認識し、歯科診療に応用できるように。すなわち、症例を見学することから、疑似体験し、自身の下す診断や処置方針に役立て、それを日常臨床に応用しながら、再確認できる。また症例発表しながら、大丈夫だったことや足りなかったところを確認することができます。時には診療歴の長い会員の方からのアドバイスもあり、正しい方向を早くに見つけ出すこともできるかもしれません。資料採取に必要な、ちょっとした実習もあり、また年長会員からのワンポイントアドバイスもあり、特に卒直後の"知りたい"会員の方にはおすすめです。

DSM (デンタル スタッフ ミーティング) (毎月第3水曜日) では卒業後1~10年目を対象に、視点を変え、症例報告から患者の情報を探り、それをディスカッションしながら問題点を発見して頂きます。これを明確にすることで、患者の立場を考えた幅広い歯科医療についての知識、態度および技能を習得する事ができるようになります。ここでは、特に若い会員の意見でディスカッションしていますので、同年代の方々の活発な意見がオンタイムで聞くことができ、意見交換しながら自分で見つける事ができなかったことを確認できます。具体的には2ヶ月にわたり同一症例を。1回目は、特に診査に重点を置き、症例の現症、現病歴や生活環境を探り適切な診断につなげる診査ができるためのディスカッションを、2回目は集積した診査を診断や処置につなげるためのディスカッションをして頂きます。

TDC 研修倶楽部 (毎月第2水曜日) では基本的に、卒業後5年目以上を対象として、歯科疾患に対して各分野の専門の意見を聞きながら、患者の望む最も良い医療を実践するために、経過症例のディスカッションから治療計画の立案を習得頂きます。DSM と同様な開催方式で2ヶ月同一症例のディスカッションになりますが、ここでは、処置の幅を広げるように、テーマに即してその分野のエキスパートにもご意見をいただきながらディスカッションして頂きます。ちょっとスキルアップ…、少し臨床から離れていたので…など、いろいろな会員に参加して頂ける会です。聴講でも大丈夫です。卒直後の方にも。

これまでに開催してきた一回のセミナーでは、卒後10年程度までの若い会員の方には伝えきれなかったのが現状でした。アカデミア構想ではその役割を卒後研修委員会で主に提供できるように考えております。是非是非一度ご参加を。

(事業推進部卒後研修委員会 委員長 加藤賢祐)

### ●医療教養委員会●

私たち歯科医師は、医療人としての幅広い知識と教養が求められております。そこで、医療教養委員会では、若手からベテラン歯科医師までを対象に、教養学習を通じて社会性と歯科医療倫理観を高めることを目的としてイベントを企画しました。

地域保健活動を展開してゆくために必要な情報,教養人として身につけておきたいリベラル・アーツに 関する内容を提供してまいります。講演会,研究発表,グループ活動報告などの形で情報発信し,歯科医療的課題についてさらなる研鑽をつんでいただきたいと思います。特に,東京歯科大学同窓会の最大の強みである,幅広い世代間で情報交流の活性化を図ることで,その目的を果たせると考えております。

それでは、今期提案する「リベラルアーツ・リレー講座」「フロントランナー・セミナー」「口腔保健オープン・フォーラム」、3つのコースをご紹介します。

#### 「リベラルアーツ・リレー講座

歯科医療の専門化、高度化が進む中で、専門職者におけるリベラル・アーツの重要性が再認識されております。リベラルアーツ・リレー講座では歯科医のための教養講座として、多彩な分野から講師をお招きし、講演会を企画してゆきます。2015年は、特に「食」にまつわるテーマで講演会を企画いたします。第1回は、お茶の水女子大学講師でフードコーディネーターの福留奈美先生をお招きして、「和食って素敵~世界に誇る和食のすばらしさ」と題した講演会を行います。

#### 「フロントランナー・セミナー」

フロントランナー・セミナーは、東京歯科大学同窓会会員の中から、各医療分野で長年にわたり活躍されている著名な先輩を講師としてお招きして講演会を開催します。日々の臨床でどんな事を感じ、どう考え、どのように患者と向き合い取り組んでこられたのか。また、その臨床経験の中から、次世代へ伝えたい事をお話しいただき、世代間での交流を目的としたセミナーです。今期は、加藤武彦先生(昭和36年卒)と井澤常泰先生(昭和57年卒)の2名の先生方による講演会を行います。

#### 「口腔保健オープン・フォーラム」

口腔保健オープン・フォーラムは口腔保健活動に関する実践報告とディスカッションを通じ、地域保健活動における情報の共有化を目的としたフォーラムです。予めテーマを決めて開催する会員参加型のオープン・フォーラムです。診療室内での予防管理システム、学校歯科保健活動での展開事例、地域での口腔保健への取り組みかたなど、実際の活動を通じて考えるべき課題を、テーマとして取り上げてまいります。2015年は2回の開催を企画しました。第1回は、「学校保健でのフッ化物の活用」そして、第2回は、「地域での成人歯科保健の展開」をテーマに実践報告とディスカッションを行います。今回は、各テーマについて話題提供も募集しております。ご提供していただける方は、下記メールアドレスまで是非ご連絡ください。(tdc.open.forum@gmail.com)

これらすべての企画は、多くの会員の方々の積極的な参加によって支えられます。若手である新進会員の方々を含めて、できるだけ多くの会員の方々に参加していただけるよう参加費も低く抑え、無料~数千円程度に設定しております。

以上のように、ご紹介したイベントを通して、同窓間での世代を超えた交流がより一層活発化し、情報 交流だけでなく、幅広い人的交流に繋がる有意義な企画になるように努めてまいります。

同窓会会員の皆様におかれましては、話題の提供も含めて多数のご参加を委員一同心よりお待ちしております。どうかよろしくお願いいたします。

(医療教養委員会 委員長 高柳篤史)

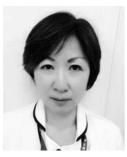
### ●臨床セミナー委員会●

### TDC アカデミア 臨床セミナー2015のご案内

#### 臨床セミナー2015 講師陣







中濱典子 先生



矢島安朝 先生



福田謙一 先生



二階堂雅彦 先生



宮地建夫 先生



藤関雅嗣 先生



野嶋昌彦 先生



鷹岡竜一 先生



渡辺和也 先生

本年度より、新しくTDCアカデミア臨床セミナーがスタートします。従来行っていた卒後研修セミナーから生涯研修セミナーに繋がる内容をめざして構成していきます。すなわち、すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるようなセミナー内容を各分野の専門的立場の先生方から提供していきます。コンセプトは、「スタンダード・スキルアップ・アドバンス」にあります。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、同窓の先生方がこのセミナーを利用されることを希望いたします。

臨床セミナー2015では、エンド治療のスタンダードベーシック、ペリオ治療における審美的対応、義歯治療のアドバンス、GPのための矯正治療、さらにはインプラント治療におけるスタッフ研修に焦点をあて企画しております。日常臨床からさらなる一歩へ、患者さんからの要望に答えるべく、治療のバリエーションが広がる内容です。

セミナー開催にあたり、各講師の先生方から下記のような趣旨をいただいております。

### エンドセミナー「今こそ見直そう!あなたの根管治療」

根管治療を基本から見直し、日頃の診療のレベルアップにつながる実践的な2日間コースを企画しました。根管解剖を理解した上での髄腔開拡、根管拡大・形成、洗浄、充填などの歯内療法の基本的な内容について、講義と実習を織り交ぜながら理解を深めていただきたいと考えています。根管という直接は見ることができない部位を対象とする歯内療法ですが、術者が治療対象のイメージを明確に持ち、行う処置の内容を的確に理解していれば、良好な結果が期待できるものです。したがって、歯内療法のコンセプトも重要です。今回は効率的な感染根管の攻略法などについても提示する予定です。

#### スタッフセミナー「歯科衛生士に必要な口腔インプラント治療の知識」

口腔インプラント治療を開始するには、それに関与する様々な知識の修得と十分な準備が必要であり、

歯科医師だけでなく歯科衛生士がチームの一員として担う役割も大変重要なのです。インプラント治療は 予知性の高い、優れた治療法の一つであり、これに携わる歯科医師・歯科衛生士も増加の一途にあると言 われています。インプラント治療の導入には器材の購入や診療環境の整備等の経済的な負担だけではな く、インプラント治療に対する充分な知識や技術の修得、あるいはコミュニケーションスキルの向上と いった様々な問題をクリアすることが必要となります。今回の講演では、それらを踏まえたうえで、イン プラント治療の導入に際してのインプラントの基礎的な知識、消毒・滅菌方法、外科処置の準備・介補、 インプラント治療に携わる心得等をベーシックな面に重点を置いて解りやすく解説したいと思います。

#### ペリオセミナー「ティッシュ・マネージメントのファーストステップ」

審美ゾーンの欠損歯列治療では、機能と審美を高い次元で両立させることがわれわれ歯科医には常に課せられています。反面、臨床医としては患者さんへいかに侵襲の少ない治療をするかという課題もまた同時に求められています。なかでもソケット・プリザベーションは比較的低侵襲な治療でありながら高い効果をあげることができ、抜歯が必要な歯があったら抜いてしまう前に考慮すべき重要な治療オプションです。また結合組織移植も審美ゾーンの歯肉増大の補正的手段として、ぜひとも手のうちに入れておきたい方法です。本セミナーは、ティッシュ・マネージメントの系統的考え方、さらにその中からソケット・プリザベーションと結合組織移植を、ハンズオンを中心に、その適応症、術式、合併症などについて学んでいきます。

#### 補綴セミナー「明日から取り組めるコーヌスクローネ」

コーヌスクローネ義歯を臨床に取り入れたいという思いはあるものの、複雑な治療ステップの上に体系的に学ぶ機会がなかったため、なかなか着手できない方は多いかも知れません。また、長期的に安定した良好な経過が見て取れる反面、日常臨床では他院で装着された、コーヌス義歯内冠脱離、支台歯破折といったトラブルに遭遇してその対応に苦慮された方も多いと思います。多様な病態像を示す欠損歯列において、どんな症例がコーヌスの適応症となるのか、欠損歯列の読み方を通して解説いたします。そして、実際の製作方法とラボとの連携において、義歯の作製方法手順、欠損補綴としてのステップについて詳説いたします。情報を整理して、参加された先生方がコーヌスデンチャーを正しく理解して頂き、明日の臨床において応用出来るようになることを目指します。

#### 矯正セミナー「アライナーによる矯正治療の基礎と応用」

アライナーもしくはマウスピース矯正とも呼ばれる透明な可撤式矯正装置,いわゆる「クリア・プラスチック・アプライアンス」について、その現状を紹介いたします。現在、国内外でさまざまな装置が独自に開発され発表されていますが、多種多様でその正確な数を把握することは困難を極めます。これらの新しい治療システムは、従来のブラケットやワイヤーを使わないことを特長とし、患者にも抵抗感が少なく受け入れられやすいものです。新しい材料や装置作成システムの改良などにより、アライナーによる矯正治療の適応症例の幅も広がってきたが、残念ながらすべての不正咬合をこの装置だけで治療できるわけではありません。今回のセミナーでは、各歯牙移動に応じたアライナーの種類、アライナーが生み出す矯正力、そして矯正装置としての仕組みや適応症・非適応症などについて説明し、実際の症例を示しながら、その限界と可能性について解説してみたい。

生涯研修として歯科医師が知っておきたい知識、身につけておきたい技術を伝えるべく臨床セミナーの 提案、提供を行っていきます。同窓会における学術事業が先生方にとってより身近なものになれるよう、 新たなセミナー内容を企画して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

(臨床セミナー委員会 委員長 木暮降司)

### ●卒研リポート●

### No. 5 臨床セミナー

# 「困った…! 義歯の悩み解消します」

### ~あんなこと、こんなこと…実際の症例を通して考えていきましょう~

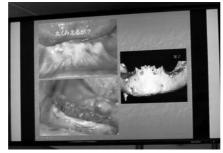


今回は、有床補綴学講座の櫻井 薫先生、上田貴之先生、石崎 憲 先生を講師に迎えて義歯に関する 日頃臨床での悩みを受講生や委員 の症例を通して講演がありまし た。



上田先生の講演の中で「水平位と座位には1mmの差がある」 「義歯の動きによるあたりをみるのはペースト状の適合材(PIPなど)がむいている。」





石崎先生には、診査診断に関し てどのように咬合を診ていくかの 解説がありました。

顎骨の形態は触診視診パントモ だけではわからない。

難症例は診査診断時にどれだけ 問題点を発見し対処出来たかで大 きく変わる。



床辺縁の形態(厚み)は筋圧形成し歯科医が決める。「保険の義歯は重合後歯科医の指示がなければ、咬合調整していない。」



粘膜にはクリープがあり圧を受けると変形している、粘膜負担の 義歯の印象の前には必ずティッシュコンディショニングを行う。 義歯性口内炎、舌圧の測定など スライドを使い前処理の重要性を 説明されました。

後半は、受講生や委員の先生の 症例を通して講師の先生がQ&A に答える形式です。



義歯の調整破折を繰り返す症例の中では、修理の時即時重合レジンの材質に触れ、ユニファストI、Ⅱは旧製品よりも接着強度が低くレジンプライマーの使用が、不可欠であるとのことでした。



今回は、講演前の予演会にも参加させていただきました。このセミナーを成功させるため、学術委員講師の先生方が気さくにディスカッションする貴重な時間でした。

講演を通して義歯に対する臨床 での悩みにどう対応するか学びま した。専門の先生ほどシンプルで 基本に忠実であることを痛感しま した。

(取材・広報部 島田 篤)

### ●卒研リポート●

# No. 6 臨床実技セミナー 「MTM 新時代 |

### ~歯科矯正用アンカースクリューの有効性を検証する~

**爽やかな秋晴れの10月12日(日)** に上記矯正セミナーが大勢の参加 者のもとに開催されました。

最近の矯正治療には「アンカー スクリュー」という新技術が登場 し有効活用され、従来の概念が大 きく変わってきたと聞きます。

しかしながら基本的な診査.診 断等を疎かにしては決して出来な いもので、基礎知識、外科手術、 矯正装置の装着から術後管理まで トータルで学べるようになってい ます。



まずは末石研二講師より「M-TM を行うための基本的な診査. 診断、治療技術」を学びました。 診察と検査により問題リストを挙 げ、適応症か否か?固定源の選択 と評価を検討しアンカースク リューの応用で歯の移動様式と固 定源の概念が従来と変わったこと を理解しました。

続いては高木多加志講師より 「歯科矯正用アンカースクリュー の安全で確実な植立」を聞きまし た。矯正用インプラント体の種類 と特徴,解剖学,植立の安全領 域,代表的な植立部位,画像診 断、偶発症やメインテナンス、撤 去の仕方など、臨床直結の話は参 加者全員が真剣に聞き入っていま した。



講義の最後は西井 康講師によ る「さまざまな MTM と歯科矯 正用アンカースクリューの臨床応 用」の話でした。

- ○アンカースクリューは絶対的固 定源としてメカニクスの単純化 を図れる。
- ○固定源の確保が困難である 後のさらなる応用が期待される。できる有意義なものでした。
- ○埋入部位に制約があるため、装 置のデザインが重要。

とのことでした。



午後の実習はマネキンに装着し た顎模型を使い、従来難しかった 上顎大臼歯1歯や2歯の圧下, 臨 床でよく見られる近心傾斜した下 顎大臼歯のオープンコイルやL ループによる2パターンのアップ ライト, 上顎正中口蓋の埋入を体 験しました。

このセミナーでは、正しい植 立. 管理. 固定源の理解など安 全,確実にできるよう実習も体験 MTM に対して有効な方略、今でき、明日からの臨床に即応用が

(取材・広報部 福井雅之)



# 母校だより

# 「水野嘉夫先生 理事長就任祝賀会|開催

去る平成26年10月28日(火)のタ 刻,本学新理事長に就任された 水野嘉夫先生の学校法人東京歯科

大学理事長就任祝賀会がパレスホ 学の中原 泉理事長をはじめ数多 テルにて開催された。当日は慶應 くの来賓の先生方を迎え、盛大に 義塾の清家 篤塾長、日本歯科大 執り行われた。











# 「第46回東歯祭および後夜祭・歯学体成績報告会」併催

去る平成26年10月25日(土), 26 日(日)の両日,本学水道橋校舎新 館において、第46回東歯祭一フェ スティバル2014―が開催された。 なり、昨年同様血脇ホールにおけ がごとく大いに盛り上がってい

るコンサートを中心としたプログ ラムで構成されたが、今年の目玉 は何と言っても「部活対抗女装コ ンテスト」で、日頃寡黙な(?) 新館での東歯祭は今年で2回目と 男子学生達が日常の憂さを晴らす

た。

また26日(日)には新館において 平成26年度歯学体報告会, ならび に東歯祭後夜祭が開催された。









# 「千歯祭」開催

去る平成26年10月25日(土)に千 葉校舎において, 本学歯科衛生士 専門学校主催による千歯祭が開か れ, 同時に第9回東京歯科大学公 開講演会が開催された。まず「口 腔の健康から健康寿命を考える」 というメインテーマで、本学千葉 病院長, 臨床検査学講座主任教授 の井上 孝先生が講演を行った。 また, 共催講演としてプロフェッ ショナル・チアダンスチーム「東 京ガールス」のメンバーによる「健

鹿沼敦子氏による「500Kcal 満腹 定食のコツ」という異色の華やか

康体操と笑顔の作り方講座」、(株) なプログラムで、近隣住民を中心 タニタヘルスリンク栄養管理士の に数多くの一般の方々が集まって いた。













# 準会員のページ

# 第46回 東歯祭フェスティバル2014開催!

### 実行委員長よりごあいさつ

10月25日(土),26日(日)に開催されました第46回東歯祭は、滞りなくかつ成功裏に終了することができました。実行委員一同大きな安堵と喜びを感じています。これもひとえに井出学長先生はじめ多くの先生方、学生課の方々並びに参加部活動、研究会など関係者の皆様の御協力の賜物であり、実行委員長として関係者の皆様の気持ちが一つになれたことに大きな感動を覚えています。心より深く感謝申し上げます。

本年度,東歯祭は水道橋移転後初の本格的な開催となりました。それに伴い,実行委員会は企画・運営のすべてを一からつくり直し,新しい東歯祭の開催をめざしました。都市型の学園祭の開催にあたっては多くの困難がありましたが,佐藤学生部長をはじめとする先生方の甚大な御協力のもと,ひとつひとつ解決していくことができました。

一方で、現在、実行委員会は来場者数を増やすことを大きな課題に掲げています。一人でも多くの在校生が学園祭に参加したくなるような企画を打ち出すとともに、OB、OGの皆様方にも楽しんでいただけるような学園祭にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、私たち実行委員会は東歯祭を通じて一人でも多くの在校生が将来、胸を張って母校愛を語れるような学園祭にしていきたいと考えております。同窓生及び関係者の皆様には今後ともお力添えを賜りますようお願いするとともに、私たち実行委員会もより魅力的な学園祭創りに励んで参りたいと思います。

第46回東歯祭実行委員長 3年 齋藤周崇





東歯祭フェスティバル2014の取材を終えて…

2日目に、血脇記念ホールに於いて今年度東歯祭のメインイベント「クラブ対抗女装コンテスト」が行なわれました。

1次審査では、17クラブ32名の美少女がそれぞれ嗜好を凝らした装いで登場しました。白いドレスを纏った 美女、原宿をイメージしたという女子大生、京都から来た浴衣姿の美女、お母さんをイメージし買い物カゴを 持った割烹着姿や女医さん等々、そのまま街に出たら声をかけられるのではと思うほど可愛い美少女や、ちょっ と違うかな?と思う美少女が勢揃いしました。

12時から5時までの5時間に渡る審査会とは、どんなものかと思っていましたが、2次審査では、3つのミッションがあり、①女装して履き慣れないヒールを履いたままでの、「椅子とりゲーム」②其々が自分でグロス (口紅)をつけ、客席に見えるように透明なボードにキスをして、その仕草やキスマークの審査 ③せっかくの女装なので、少し女性の気持ちを味わってもらおうと言う設定か、自分の彼氏が浮気をした場面を見て悲しむ女心を表現するという寸劇と、長時間にわたる審査会でしたが、来場者を飽きさせない企画力に関心しました。

クラブ対抗ということで、クラブの仲間達からの応援を受けて参加した学生達は会場いっぱいに愛嬌を振りまき一生に一度の経験であろう演技をしてくれました。また、会場から飛び入り応援の一発芸も飛び出したりと、実行委員の絶妙な MC も素晴らしく、写真を撮ることも忘れ、一瞬学生時代に戻ったかの様なとても楽しい時間でした。



#### 東歯祭フェスティバル2014後夜祭・歯学体報告会

34クラブ230名もの部員達が本館14階の会場に一堂に集まり、歯学体の成績発表と後夜祭が行なわれ、矢崎同窓会会長より東歯祭フェスティバル2014で発表したクラブに同窓会賞が贈られました。「近頃の若者たちは…」と、何方かというと厳しい批評を耳にしますが、文武両道を掲げた本学の学生たちは、皆、礼儀正しく、場をわきまえ、さすが伝統ある東京歯科大学の学生だと感じさせる学生ばかりでした。皆で力を合わせて東歯祭を創り上げる作業は彼らにとってかけがえのない想い出になるとともに、将来歯科医師となった際にも、きっと役立つことと思います。同時に、5年後、10年後この学生達が卒業する頃にむけ、歯科界の状況を少しでも良い方向へ導いて行かなくては…と気を引き締める時間でもありました。

最後に、同窓の先生方には、是非、来年以降の東歯祭に足を御運びいただきたいと思います。きっと心が洗われる様な暖かい気持ちになれる事と思います。今回、取材ということで、東歯祭に参加させてもらいましたが、本当に良かったと心から思える2日間でした。

#### 学生諸君!

この会報が出るころは、また勉学に勤しんで頑張ってくれている事と思いますが、2日間本当にお疲れさまでした。

楽しい時間をありがとう!!

(広報部 佐々木葉子)

# 卓球部創立100周年 ~祝賀会を終えて~

2年 代表 杉浦 慧



今年の8月30日(土)ホテルメト ロポリタンエドモントにて卓球部 創立100周年記念祝賀会が開催さ れ、多くの OB の先生方やご来賓 の方々とともに現役部員20名も出 席させていただきました。

東京歯科大学卓球部はまだ「卓

球」が「ピンポン」と呼ばれてい た大正2年に松井禮七先生を中心 に「ピンポン部」として創立され ました。当時ピンポン部が設置さ れていた大学は多くはなかったも のの全国各地で開催された学生大です。祝賀会では、OBの方々の 会の全てで好成績を残し、大正14



年には我が校で行われる関東代表 選抜大会に澄宮殿下(大正天皇の 第四皇子. 現三笠宮崇仁親王) の 御台臨も予定されていました。そ の後も極東オリンピック日本代表 の輩出, 医歯薬リーグでの連続優 勝など隆盛を極め、昭和初期には 学内で年2回の卓球大会が行われ るほどでした。

このような素晴らしい歴史を引 き継ぎ, 作り上げてきた諸先輩方 への尊敬は筆舌に尽くし難いもの 他にも全日本歯科医師卓球連盟会



長でいらっしゃる安藤武雄様や 井出吉信学長のお話を聞き,私自 身も東歯卓球部の歴史と伝統の一 部であるということを再認識しま した。

今年の8月4日から8月6日にかけて開催されたオールデンタルでは男子団体準優勝,3年藤山,2年杉浦,1年中島の3人が個人ベスト16に入り,いずれも昨年を上回る成績を残すことができました。卓球は個人競技であるものの,部員一人一人の応援,歓声が

試合,日々の練習において選手たちにとって大きな力となり団結力を高める一助となります。このことを見つめ直し昨年から一人一人の鍛錬はもちろんのこと,チーム全体としての底上げを意識した練習を続けることで今回のような結果を出すことが出来たと思います。

今年度, 秋以降に例年参加している関東歯科学生大会, オールデンタルに加え, 東日本歯科医師会主催の大会や他大学との練習試合

にも積極的に参加し交流を図ることを含め、さらなる精進に努めかつて歯科大学卓球界の中心を担っていた頃の姿に少しずつ近づけていく所存です。また、その第一歩として来年のデンタルでは団体戦において優勝、個人戦では全員が順位を上げたいと思います。

最後に、この度貴重な経験を積む機会を与えて下さった先生方に深く御礼申し上げるとともに、これからの変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

# 国際医療研究会

### Student Society of Tokyo Dental College for International Oral Health

4年 代表 倉澤 馨

国際医療研究会は平成7年に創部された新しい部活で、国内外を問わず広いフィールドで活動しています。学生自身が活動の企画・運営をすることで、地域歯科保健や国際口腔保健について積極的に学んでいます。

国際医療研究会の活動は、国内では千葉市歯科医師会主催のヘルシーカムカムへの参加、鴨川での夏合宿、老人介護保健施設などでの口腔ケア体験、在日外国人のための無料健康相談会のお手伝いなどがあります。国外では、アジアの歯科学生との交流団体である、Asia Pacific Dental Students' Associationへの参加や、アジア諸国を訪問し、現地の大学や保健省、歯科診療所、保育園を見学する海外スタディツアーがあります。国内外でさまざまな活動をし

ていますが、今回は特に国内の3 つの活動について紹介させていた だきます。

千葉市歯科医師会主催のヘルシーカムカムでは、毎年、本学口腔外科の先生方の口腔がん検診のお手伝いをさせていただいています。まだまだ口腔がんの存在につ

いての認知度が低いと講義で教わりましたが、本当にそのとおりで、口腔がん検診を受けられた方の中には、口腔がんの存在をヘルシーカムカムでの検診で初めて知ったという方もいらっしゃいました。

また. 毎年. 国際医療研究会で



ヘルシーカムカムにて



鴨川市立東条保育園にて

は千葉県鴨川市にて夏合宿を行っています。今年は母子保健をテーマに,鴨川市の1歳6ヵ月児健診の見学や鴨川市内の保育園にて歯科保健指導やフッ化物洗口の見学,鴨川市立国保病院と亀田総合病院を見学しました。今年から新たに始まった保育園での歯科保健指導では,大きな歯の模型を使って園児たちに歯みがきの仕方を教

えました。5歳前後の子どもたち に歯みがきの仕方を教えることは 難しいですが、子どものころに歯 みがきの習慣を付けることは一生 の財産になるのではないかと考え るようになりました。

そして,これからの歯科医療の キーワードとなる老年歯科医療に ついて知るために,介護老人保健 施設などで施設職員の指導の下,

利用者さんの身の回りのお手伝い や食事の介助、食後の口腔ケアを させていただいています。施設で の活動を通して, 口腔の健康の大 切さを知ることができました。現 在. 日本は世界に類を見ない少子 高齢社会になりつつあり, 少子高 齢社会に対応した医療制度や歯科 保健制度の在り方を模索しなくて はいけない状況にあります。その ような状況に合わせた歯科医療に ついて体験し、考えることで、今 後の日本の歯科医療に貢献できる 歯科医師となれるように、また、 広く世界にも目を向け, 国際口腔 保健にも貢献できるような歯科医 師になれるように頑張っていま す。

最後に我々、国際医療研究会の活動の意義を理解してくださり、 支援して下さる大学および同窓 会、父兄会の方々にこの場をお借 りして御礼申し上げます。



新人歓迎会にて

# 支部のうごき

# 北海道地域支部連合会

#### 総会報告

北海道歯科学術大会(第1日の 基調講演は宮地建夫東歯同窓会副 会長でした。翌日は鹿児島入りと のことで、同窓会にはご出席がか ないませんでした)の日程に合わ せて、平成26年8月23日(土)、札 幌第一ホテルにて北海道地域支部 連合会支部長会並びに総会が開催 されました。当日はおなじみ IR 北海道がまたまた止まり、ご来賓 や各地会員の札幌入りに大変ご迷 惑がかかるというハプニングがあ りました。

午後5時より支部長会。ご来賓 は本部より矢崎秀昭会長と髙橋 義一専務。開会, 佐藤英俊北海道 地域支部連合会長の挨拶に続き, 矢崎本部同窓会長よりご挨拶をい ただきました。水道橋校舎の様 子, 寄付金の結果, 東歯研修医が

ていること、白須賀・島村両議員 た。開会、校歌斉唱に続き、この の後援会へのお誘い、120周年の ご案内などお話をいただきまし た。続いて支部報告。道内各支部 の会員減少と高齢化の現状と、そ れに対する工夫が報告されまし た。協議事項の中では、来年北海 道連合会が100周年を迎えるに当 たっての準備状況や、その事業日 程に合わせて札幌で連合会総会が 行われることを確認しました。報 告事項の中では,本部髙橋専務よ り. アカデミア構想と評議員会再 編についてご説明をいただきまし た。鮫島道幸日歯代議員(苫小牧 支部)からは、平成27年3月の日 歯会長選挙を前に. 代議員や選挙 人を交え, 同窓会や歯科医師会な どで候補者について議論して欲し いとのことでした。

引き続き総会。参加45名。ご来 ほとんど皆日歯第6種会員となっ 賓に井出吉信学長が加わりまし

1年間に亡くなられた12名の会員 に対して黙祷。佐藤連合会長挨拶 に続き、矢崎会長、井出学長から ご挨拶をいただきました。続い て、米寿1名喜寿7名のお祝い贈 呈。十勝支部前支部長栂安秀樹先 生. 室蘭支部前支部長古谷忠雄先 生に感謝状の贈呈が行われまし た。その後議事に入り、上程議案 はいずれも無事承認されました。

井出学長より大学の現状が詳し く報告されました。写真撮影後. 学長は日帰り帰京のため退席。 髙橋専務より改めて、議員支援、 アカデミア構想. 評議員会につい て詳しい報告がありました。

懇親会では、持ち込みの銘酒も 振る舞われ、話にゲームに大いに 盛り上がりました。

(島田清純 記)



# 関東地域支部連合会

#### 平成26年度

#### 関東地域支部連合会総会の報告

日時;平成26年9月7日(日)

会場;①東京歯科大学水道橋校舎 本館14F

- ②東京歯科大学水道橋校舎 南棟6F会議室
- ③ホテルメトロポリタンエ ドモント

平成26年9月7日(日)午後1時より,東京歯科大学水道橋校舎本館14Fに於いて,平成26年度東京歯科大学同窓会関東地域支部連合会総会が80名の参加をいただき,盛大に開催されました(先立って本連合会各支部長懇談会が,同窓会事務所・水道橋校舎南棟6F会議室に於いて,関東各7県代表者および同窓会本部役員をお招きして開催されております)。

総会では高野一夫茨城県支部幹事長の司会のもと、大峰秀樹同県 支部副支部長の開会の辞にはじまり、小鹿典雄本連合会会長の挨拶 がありました。

物故会員への弔意として全員で 黙祷を捧げた後,ご来賓を代表し て矢﨑秀昭同窓会会長,水野嘉夫 東京歯科大学理事長,井出吉信東 京歯科大学学長よりそれぞれご祝 辞を賜りました。

続いて来賓紹介,議長・副議長 選出の後,大学報告(井出学長), 同窓会本部報告(髙橋義一専務理 事),連合会会務報告(田澤),支 部長懇談会報告(小鹿)の各報告 事項を行って議事に移り,前年度 事業決算,今年度事業計画案およ び予算案の審議が全会一致で可決 承認されました。

総会終了後休憩をはさんで記念 講演会となり、松本歯科大学歯学 部卒で現在本学口腔外科非常勤講 師をされ茨城県笠間市で開業され ている塙 章一先生が、「食」を Kev Word としたヘルスプロモー ションの展開一茨城県歯科医学会 公開講座を通じたヘルスプロモー ション活動の地域への提案と実践 一と題し. 同地区で食文化研究会 を設立して、食の UD (ユニバー サルデザイン)を提案するなど 「食」を出発点として、生活の中 にバリアのない環境づくりをめざ し. それが健康づくりや介護予防 につながる町づくりとなっている という具体例を交えて講演されま した。

その後, 懇親会会場となる飯田 橋のホテルメトロポリタンエドモントまで各自ご移動いただき, 小野寺宣夫茨城県支部副幹事長の司会のもと懇親の宴となり, 本学卒で自由民主党所属の白須賀貴樹衆議院議員, 島村 大参議院議員からもそれぞれご挨拶を賜り, 飯田 昭同支部顧問の乾杯で,終始和やかな懇談の華が続きました。

最後に、本連合会総会開催に際 して、同窓会本部ならびに大学本 部関係各位には、多大なご支援、 ご協力を賜り、厚く御礼申し上げ ます。

また総会当日においては、茨城 県支部会員31名の参加・協力をい



総 会



懇親会

ただき. 何とか無事に終了するこ とができました。参加・協力いた だいた先生方、朝早くから大変お 疲れ様でした。今回、主管県とし て関ブロ総会準備. 運営を遂行し てみて率直に感じたことは,「同 窓」という親睦組織そのものの存 在意義の重要性を痛切に考えさせ られた次第です。時代の流れとは いえ. 道徳観的な考え方が組織か ら個人へと社会的変遷を遂げる現 在,個人意識も多様化となり、今 後その組織的な局面への対応が 年々難しくなってきたと存じます が、個個の考えへも注視しつつ、 歯科業界関係での「同窓」という 組織力の重要性を今一度、各先生 自らご再考いただきたいと存じま

(茨城県支部庶務・専務幹事 田澤重伸 記)

写真が同窓会ホームページ≪http://www. tdc-alumni.jp≫に掲載されています。

# 東京地域支部連合会

#### 平成26年度

#### 江東六地区役員連絡協議会

平成26年10月18日(土), 今年度 の江東六地区役員連絡協議会が新 小岩の「割烹すぎ」にて開催され た。当日は各地区から多数の出席 を賜り, 総勢28名と盛会であっ た。

葛飾支部 木暮隆司先生の司会 進行により、まず前年度当番地区 城東支部の久保秀二支部長に開会 の辞を頂いた。続いて今年度当番 地区 葛飾支部の佐藤浩一支部長 の挨拶、各地区出席者の紹介が行 われた。報告事項として、城東支 部より前年度の会計報告が行われ た。

今年度は東京都歯科医師会国保担当理事の稲葉孝夫先生を講師にお招きし、『社保と国保の相違点』と題したご講演をいただいた。今後我が国に起こる急速な人口減少の話題、社保と国保の構成の違い、東京における社保・国保の同窓の活躍、社国間の審査基準の統一を図る動き、指導・監査の話な



ど、多岐にわたる貴重なお話を聞 くことができた。

以降の協議は懇親会の席上で活発な意見交換を行おうという計らいにより、葛飾支部 金子 節相談役の乾杯のご発声により懇親会開始の後、協議事項として支部未入会者対策について、本部同窓支部未入会者対策 若手ネットワーク』事業の概要、来年度の同窓会創立120周年記念事業について説明を頂いた。また、葛飾支部が行った支部地域内の未入会同窓へのアンケートの結果が報告され、金銭

的,時間的余裕に不安があり同窓 会加入を躊躇させている現状が示 唆された。各支部より未入会者へ の取り組みについて報告を頂い た。その後も若手,ベテランの隔 てなく膝を交えて懇親を深めつ つ,其処此処で活発な議論が行わ れる有意義な懇親会となった。

会も終盤に差し掛かり、次年度 の当番地区について、江戸川支部 が担当することを承認いただき、 江戸川支部 川野浩一支部長の閉 会の辞をもって閉会となった。

(葛飾支部 塚本裕介 記)





# 東海地域支部連合会

#### 役員連絡協議会・総会

平成26年9月7日(日),名古屋の名鉄グランドホテルにおいて午前中に東海4県の役員連絡協議会,午後には平成26年度総会(66名出席)を岐阜県支部が担当し開催されました。

来賓として一戸達也副学長, 白須賀貴樹衆議院議員,浮地文夫 同窓会副会長,臼井文規同窓会常 任理事,山田 有同窓会地域支部 選出理事にご出席いただきまし た。

役員協議会に続いての総会では 西尾有生東海地域支部連合会会長 の挨拶,この1年間の物故会員20 名と三重県出身の同窓会名誉会 員,石川達也元学長への弔慰黙祷 の後,白須賀貴樹衆議院議員並び に浮地文夫副会長のご挨拶,臼井 文規常任理事の同窓会本部報告が ありました。同窓会会員の全国的 減少傾向に伴い同窓会もスリム化 を図っている旨,説明をいただき ました。

また,一戸達也副学長から水道 橋における環境整備,学生への教 育プログラム等大学の現況を紹介 していただきました。

次いで平成26年度会務報告,25年度の会計決算,次期開催県三重県について満場一致で承認されました。

協議では総会出席者の減少について東海地域支部連合会の今後の課題として検討することを確認しました。

記念講演では名古屋市在住の天 文研究家、浅田英夫氏を講師とし



西尾連合会会長挨拶

てお招きし「月と遊ぶ」と題し、 我々日本人と月との関わりの深さ についてお話をいただきました。

十五夜前後の月齢による独特の呼び方「名残りの月」,「十六夜」,「立待月」,「居待月」,「寝待月」,「更待ち月」など,日毎に表情をかえる月の風情を解説していただきました。

また、満月や新月の日には手術をすると出血が多い。殺人事件や放火事件も多い。半月にはうっかり事故が多い。中秋の名月に当たる日は必ず仏滅。その他、月に関わる興味深いお話を伺うことができました。

折しも,総会の翌日が中秋の名 月,翌月には皆既月食を控え,暫 し古人に思いをはせ,日頃狭い口 の中が中心の我々にとっては良い 気分転換になりました。

記念講演も終了 し、一同喉も乾きお 腹も空いてきたとこ ろで、懇親会の席へ と移動しました。

司会者の開会宣言 ののち, 東海地域支 部連合会会長 西尾 有生先生の挨拶があ り, 続いて懇親会よ



総 会

りご臨席いただいた阿部義和岐阜 県歯科医師会会長のご挨拶をいた だき、地区理事 山田 有先生の 挨拶と乾杯のご発声で懇親会が始 まりました。

フレンチのコース料理と飲み物などで席も盛り上がってきたところで、アトラクションが始まりました。今回は Torio アルデンテの演奏です。アルトサックスの石川貴憲さん、ユーフォニアムのモンテロヒロシさん、ピアノの井上陽葉さんによる7曲を楽しみ、全員で「ふるさと」を合唱したのち、再度歓談に移りました。

話はつきないところではありましたが、最後に国島真希子岐阜県支部前支部長の指揮のもとで校歌の斉唱を行い、来年の再会を期して無事にすべての日程を終了いたしました。 (正村一人 記)



懇親会

# 長野県支部連合

#### 総 会

平成26年度東京歯科大学同窓会 長野県連合総会が9月27日(土)グ ランドエクシブ軽井沢に於いて開 催されました。

同窓会本部より髙橋義一専務理 事. 母校より井出吉信学長をお招 きし、県下4支部から39名が参加 されました。

総会では昨年度会務報告・会計 報告が承認可決され、髙橋専務か らは評議員会の改革案・来年開催 の同窓会創立120周年式典につい 来賓の開催地である佐久歯科医師

葬儀報告・大学の現況報告・将来 バンドのライブでは布施修一郎先 の大学構想について説明がありま した。

総会後、学術講演会として当県 出身で同窓の小宮山彌太郎先生を 講師にお招きし「インプラントか ら歯科治療を再考する」と題し て、安易なインプラント療法への 警鐘と真摯な取組み方について手 法を交えご講演頂きました。

記念撮影の後、懇親会へと続き

て、井出学長からは石川元学長の 会副会長の乾杯を皮切に、ジャズ 生がフルートで飛入り参加される ハプニングを交え. 和気藹々の内 に旧交を温めました。

> 翌日はグランディ軽井沢 GC に て親睦ゴルフ大会が開催されまし

> 来年度は10月に上山田温泉清風 園にて信越地域支部総会と併合開 催の予定です。 (鮎澤 潤 記)



# 福島県支部

#### 福島県支部総会

平成26年5月31日(土)郡山ビュー ホテルにおいて、東京歯科大学同 窓会福島県支部総会が、53名の出 席により開催されました。来賓と して同窓会会長矢﨑秀昭先生、同 窓会理事椎木一雄先生, 大学より 井出吉信学長をお招きいたしまし た。総会は、午後1時30分から 佐藤 滋専務理事の司会で始ま り、宍戸計一副支部長の開会の言 葉,物故会員への弔慰・黙祷,佐藤 正矢支部長の挨拶, 小汲三代太顧 問の挨拶,来賓挨拶と続いた後, 顕彰会員に対する記念品の贈呈, 新入会員紹介が行われました。そ の後、佐藤正行先生を議長に選出 し、議事および協議が行われまし

た。今回、福島県支部は、支部長 織炎の原因と対処法」という演題 が交代となり、佐藤正矢先生(昭 和53年卒) に代わり、宍戸計一先 生 (昭和49年卒) が就任されまし た。渡邉重視副支部長の閉会の言 葉により、総会は終了しました。 その後, 同窓会, 大学近況報告と なり、井出吉信学長より、水道橋 校舎西側及び南側への拡張計画と 工事状況. 在校生の環境等につい てのお話をいただきました。矢崎 秀昭同窓会会長より、本部役員紹 介. 同窓会未加入者の加入促進. 血脇記念ホールでの会議模様等の お話をいただきました。学術講演 会は東京歯科大学歯科保存学講座 主任教授、古澤成博先生を講師に お迎えし、「難治性根尖性歯周組

で開催されました。歯根彎曲、歯 根破折, 穿孔, 異物除去等, 難症 例に対しての術式, 使用薬剤, 器 具の説明等のお話を頂き、大変有 意義な講演会となりました。学術 講演会終了後、記念撮影を行い、 その後、懇親会が行われました。 渡辺洋二郎先生の司会進行で. 中村秀勝県南方部長の歓迎の言葉 に続き、今村 武先生の乾杯で祝 宴が始まりました。世代を超えた 終始なごやかな雰囲気で、楽しい ひとときを過ごし, 会員相互の親 睦を高めました。最後に全員で校 歌を斉唱し、終了となりました。

(渡部光弘 記)



# 千葉県支部

#### 千葉市同窓会水葉会定期例会報告

さる2014年9月27日千葉市内の ホテルにて、日本歯科大学千葉市 同窓会と合同の講演会を開催致し ました。法花堂会長による現執行 部からスタートしたこの合同講演 会は今回で3回目となり益々の盛 り上がりを見せ、会員からは今後 も継続を希望する声が多数寄せら れております。

今回の講師は片倉 朗教授(オーラルメディシン・口腔外科学講座),演題は「超高齢社会の今こそ,内科的基礎知識を見直そう」です。まず,初診患者の全身的評価ということで,リスク管理のための術前評価・全身状態と予備力の評価・臨床検査データの評価についてお話頂きました。予備力のよる判断が必要とのことでした。次に,歯科治療における注意が必要な疾患についてお話頂きました。

虚血性心疾患には狭心症・心筋 梗塞・冠動脈の動脈硬化があり. ストレス・過呼吸による冠状動脈 痙攣,血圧上昇・頻脈による労作 性狭心症, 抗血栓薬への配慮が必 要。抗血栓薬投与患者の場合. 止 血操作に十分な配慮をせよとのこ とでした。呼吸器疾患には気管支 喘息・閉塞性換気障害・間質性肺 炎・肺血栓塞栓症があるが. 処置 に際し、コントロール状態を把握 し、SpO<sub>2</sub>モニター下で、ストレ スを軽減し、体調の良い時に短時 間・間欠的に治療をすべきとのこ とでした。気管支喘息患者治療の 際は、気道や咽頭部の刺激を避 け、鎮痛薬処方時は、酸性 NSAIDs は避けよ、とのことでした。在宅 酸素療法中の患者は、CO2ナル コーシス防止の為. 必要以上に酸 素濃度を上げてはならないとのこ とでした。肝疾患の項目では、肝 炎・肝硬変・肝臓ガンの症状や注

意点, 肝疾患の検査値の読み方に ついてご教授頂きました。

最後にこれからの「かかりつけ 医の機能」として1. 患者に対す る健康教育・相談, 2. 必要とさ れる歯科医療への対応, 3. チーム医療のための連携・紹介・指 示, 4. 要介護高齢・障害者への 歯科サービス, 5. 福祉施設や在 宅患者への歯科医療・訪問指導, 6. 定期的プロフェッショナルケ アに基づく予防管理, の六項目を 挙げられました。

以上、多岐にわたる内容を駆け 足で明快に教えて頂き大変有意義 な講演会でした。

講演が終わり、懇親会に移りました。老若男女合わせて40名程の 出席者で会場が熱気に満たされる 中、乾杯の後は両校会員が入り混 ざった和気あいあいの雰囲気に包 まれ、中秋の宵が更けていきまし た。 (坂登伸也 記)



# 横浜鶴見支部

#### 鶴見東歯会会員旅行

10月12日(日)から1泊で6名参 加のもと、網代へ出掛けた。

本年めでたく卒寿を迎えられた 香山和美先生のお祝い会を兼ねた 会員旅行である。今回の旅行の目 玉は、釣りが趣味の香山先生に喜 んで頂こうと筏釣りを企画した。

川崎から特急踊り子号に乗車し 「船酔いする前にお酒で酔ってお こう といつもの車中宴会。1時 間足らずで網代に到着。心配され た台風18号の影響もなさそうで一 安心。歩いて海上釣堀「太公望」 で受付後,渡し船3分。もちろん 船酔いする者もなく筏に乗り込 む。釣り糸を垂らすと程なくして 次々とグググッと小気味よい当た りと強烈な引きを堪能しつつ見事 に30センチを越える見事な真鯛を 釣り上げた。

お昼は「大次郎丸」で釣りたて の真鯛を「お刺身」と「塩焼き」 に調理してもらい、これ以上ない 鮮度抜群の味わいを楽しんだ。

お腹も一杯になり、宿泊先の温 泉「松風苑」へ。早速、源泉のお 湯につかり疲れを癒した。

お祝い会は午後6時30分より旅 館内宴会場で行われた。

はじめに佐藤秀夫会長が挨拶の 後, 卒寿を迎えられた香山先生に 益々のご健勝を祈りお祝い品が贈 呈された。次いで香山先生からの 謝辞が述べられ「90歳をこうやっ て皆さんに祝ってもらって感謝し ています。わたしの父も100歳ま で元気でしたから、これからも健 康で長生きしたいです。ありがと



う と謝辞が述べられ祝福の拍手 どれもとても美味しく1時間足ら が送られた。

大庭靖士先生の声高らかなる乾 杯の発声で祝宴開始。2次会のカ ラオケでは、主役の香山先生はマ イクを握り締めて「軍歌」を熱 唱。夜遅くまで皆で歌い込んだ。

翌朝は生憎の雨模様。チェック アウトまで朝寝、朝酒、朝湯をの んびり楽しむ心づもりでいるも, 急なリクエストで熱海の「起雲 閣 | へ日本を代表する文豪たちに も愛されたという優美な気品を醸 し出した敷地内をゆっくりと拝観 した。

昼食は、網代に戻って「天煌」 で中華料理を楽しんだ。メニュー を上から順に片っ端に10品ほど注 文し6名でシェア。ここの中華は



ずですべて完食。

特急到着まで時間があるので, 駅前の老舗和菓子店「間瀬」で 各々土産を購入。ついでにと奥の 喫茶で「あんみつ」に「クリーム ソーダ」を満面の笑みで食してか ら特急に乗り込んだ。車内では今 回の旅を振り返るとともに、昔の 会員旅行の思い出を語りつつ帰路 に着いた。

追記;今回の会員旅行への参加を 大変楽しみにされておられた. 鈴木 裕先生 (昭和25年卒) には 去る11月7日ご逝去されました。

謹んで心からご冥福をお祈り申 し上げます。 合掌

(字佐美貴弘 記)



# 川崎支部













#### 26年度川崎水橋会会員家族レク

平成26年10月26日恒例の川崎水 橋会会員家族レクリエーションが 南房総観光,東京湾一周の1日と いう事で開催された。

天候は曇りながら、過ごしやすい気温で、川崎各地(溝口、武蔵小杉、川崎)より、バスで出発、首都高、アクアラインを通り、最初の目的地である木更津のアウトレットパークに到着した。開店直後のため、混雑はまだ、見られず、広いフロアーにさまざまな店舗があり、90分という自由時間の中で各自お目当てのものを探し、ショッピングを楽しまれている様子であった。

空腹感がそろそろでてきたところで、お待ちかねの浜焼き食べ放題「きよっぱち」へと移動した。 団体客のみ受け入れるお店という事で、人の熱気と鍋の火力でお店の中は暑かったが、さまざまな新鮮な魚介類、汁物、焼き鳥、おまけにデザートも食べ放題とあって、お酒を飲みながら、もしく は、食事を満足いくまで、楽しい 会話もはずんで過ごすことができ た。

お腹も落ち着いたところで、次は、館山道を通り、鋸山に到着した。ロープウェイからおりて、有名な大仏まで、往復、2時間弱の道のりは希望者のみ行くこととなったが、健脚に自信がある方々は、疲れを感じさせない元気さで、大仏の観覧、周囲の散策を楽しまれている様子であった。

その後、金谷港より、東京湾フェリーで久里浜までの40分ほどのクルージングを楽しんだ。周囲は真っ暗になっていたが、客室より外に出ると、ライトアップと適度な海の風で心地よく過ごすことができた。

日帰りの旅行ではあったが、お 買い物、海の幸を堪能し、山登り という内容に、各自有意義な1日 であったと感じた。

(中田伸一 記)



# 福岡県支部

### 県歯学会

9月7日(日)県歯会館にて「しっ かり理解しよう~全身疾患と歯科 を考える~ | のテーマで、26年度 福岡県歯科医学会が開催されまし た。講師には、慶應義塾大学医学 部 歯科・口腔外科学教室教授の 中川種昭先生と母校オーラルメ ディシン・口腔外科学講座教授の 片倉 朗先生のお二人が招かれま した。

お二人の先生は共に母校を昭和 60年に卒業された同級生で、母校 出身の先生お二人が講演されるの は、学会が始まって以来初めてで

はないかと思われます。

中川先生はご専門の歯周病領域 の立場から、「医科歯科連携をふ まえた歯科治療」との演題で、又 片倉先生には「健康長寿に貢献す る歯科医療~かかりつけ歯科医が 担う口腔機能管理~」の演題でご 講演をいただきましたが、各々の 立場で超高齢社会になり今後は医 科と患者の情報を密に共有しなが ら歯科医療に携わっていく必要性 を述べられました。

今回の講師招聘については、県 歯学術部員の田代芳之先生(昭和 62年卒)が尽力され、それに対し



てバレーボール部の先輩である 中川先生に快諾していただき、先 輩後輩の絆の強さで実現したもの<br /> です。今回の学会は盛会で、担当 した田代先生の安堵した笑顔が印 象的でした。 (永江健一 記)

#### 学術講演会

本年度の学術講演会を9月27日 (土)県歯会館にて開催しました。 講師には今年の春から福岡歯科大 学 口腔・顎顔面外科学講座に赴 任された米津博文先生(昭和58年 卒)にお願いしました。

初めに6ヵ月余りの福歯大での 生活を紹介されたあと, 「開業歯 科医師は顎関節症にどのように取 り組めばよいのか」との演題で.



日常我々が遭遇する顎関節症患者 の街へ。米津先生には福陵会に入 いただきました。

講演会後は「稚加榮」での懇親 会. その後は二次会三次会と福博

への対応をわかりやすく話しして 会していただくとのことで. 今後 福歯大はもちろん福岡でのご活躍 を期待しています。

(永江健一 記)



# クラス会だより

#### クラス会開催日程 =====

12 期 会(昭和39年卒) と き 平成27年11月27日(金)~29日(日) ところ お台場

ホテルグランパシフィック LE DAIBA

# いづみ会

### 昭和23年卒

よりの誌面から暫くご無沙汰いた しましたが、その後いかがお過ご しでしょうか。

さて、恒例の年次総会に出席の 常連の顔ぶれも一人減り, 二人減 りして寂しくなりました。ところ で平成23年度は熱海温泉での総会 を予定してましたが参加希望者が 激減し僅か数名ということで催行 人数を満たしませんでしたので残 念ながら流会としました。この状 況は翌年も変らず休会させていた だいた次第です。

母校は創立120周年を期して水 道橋へのメインキャンパス回帰を 進め昨25年9月1日をもって大学 機能を移転いたしました。そこで その機会に竣工になった水道橋校 舎新館ならびに全面改装された水 道橋病院の新施設の見学を兼ねて 第64回総会を平成25年11月21日 (木)に開催しました。

当日は午後1時に新館エントラ ンスホール集合。大講義室, 臨床 基礎実習室, 図書館, 血脇記念 ホールを見学,本館・病院に移 動。総合歯科, 高度歯科医療セン ター, 専門各科, 眼科, 内科を一

いづみ会の皆さん、クラス会だ 巡。次いで金子 譲理事長(当時) の講話を拝聴いたしました。引続 き総会を開き今後の会の運営を 諮ったところ出来得れば総会の続 行をとのこととなりました。閉会 後タクシーに分乗浅草ビューホテ ルへ、途中さいかち坂校舎を車窓 から見学。5時30分から日本料理 「歌留多」で金子名誉教授を囲み 懇親の宴が盛り上りました。

> 翌22日午前10時東京スカイツ リーを見物. 天望デッキ (フロア 350, 345, 340), 天望回廊 (フロ ア450, 445) から360°の眺望を体 験しました。タワーの高さは634

mで地域の昔の名称が「武蔵」の 国ですのでムサシと語呂をあわせ ています。なお2011年にはギネス 世界記録に世界一高いタワーとし て認定されています。昼食はホテ ルに戻り26階スカイグリルブッ フェ&バー「武蔵」でスカイツ リーを目の前にして愉しんだ後3 時名残り惜しみつつ解散いたしま した。

出席者 坂井栄隆夫妻, 杉山 浩一. 野本種邦. 林 和男. 平野 博, 三宅直晴, 山岸章二, 横田 昭三夫妻の諸兄姉と中久喜夫妻。

(中久喜 喬 記)



# 二期会

#### 昭和29年卒

歳を重ねる中に月日の過ぎ去り 行くのは早く, 昨秋クラス会開催 をと級友に伝えながら、アッとい う間に年を超し、春の昼下がりの 一時を旧交を温めようと会を企画 し、10名が参加して飲む程に昔話 に花が咲きました。その折、群馬 の佐藤 (旧姓染野) 君から今年は 卒後60年を迎えるので秋にクラス 会を是非という提案があり、それ では、最後のご奉公と処暑も過 ぎ、吹く風も秋めいた10月18日に 飯田橋のホテルエドモンド東京の 「平川」という割烹でクラス会を

開催しました。多くの諸兄・姉の 行を披歴したりと大いに盛り上が 出席を望んだが、卒業時99名でり、閉会時には皆足元が覚束なく あったが、55名の諸兄が黄泉へ旅 なり心配しましたが、皆さん齢を 立たれ、さらに、体調不良や歩行 困難で出席不能や全く応答がな かったりで、出席者は滋賀の髙田 君, 愛知の河合君, 群馬の佐藤 君, 在京の石井, 梅宮, 酒井, 高添. 本間(菖) 君夫妻に鳴神の 10名でしたが、店の照明が間接照をと思っています。 明の程よい明るさ、正に夜のムー ドで飲む程に若かりし頃と変わら ぬ怪気炎の続発で昔を懐かしんだ り、若き日の学び舎での善行、悪

感じさせない元気さで楽しいひと 時を過ごしました。

今回で私の役目も終わりかと思 いきや、来秋同窓会創立120年を 迎える記念行事に合わせてクラス 会をとの要望があり、来秋に再会

諸兄・姉のご健康を祈るや切で (鳴神保雄 記) す。



# シチヤ会

### 昭和48年卒

記念して平成25年9月8日に神田 川川下り、水道橋新校舎見学会そ して母校口腔外科学講座内山健志 君と千葉県立保健医療大学松井

した。この祝賀会では71名を超え る参加者があり、学生時代の副担 任の先生であった野間弘康名誉教

昨年(平成23年)卒業40周年を 恭平君の大学退職のお祝いを兼ね 授および元千葉県歯科医師会長で た祝賀会を帝国ホテルで開催しま 大学法人評議員の浅野薫之先生の ご出席もいただき、大変楽しく過 ごしました。

今年度は母校衛生学講座の

松久保 隆君, 奥羽大学歯学部小 児歯科学講座の鈴木康生君(故 人), 東京慈恵会医科大学歯科学 教室の杉崎正志君, 長崎大学歯学 部小児歯科学講座の細矢由美子さん,和歌山医科大学歯科口腔外科 学教室の和田 健君は永年にわた り学生教育, 研究ならびに臨床で 尽力され, 無事平成26年3月に定 年退職, 退官されました。そこで 7月12日に東京ドームホテル42 F

で退職祝賀会を開催いたしました。当日は、松久保君ご夫妻と細矢さんを含め、45名出席しました。なお、残念ながら出席できなかった杉崎、和田両君には松本 純君の弟さんのお店の輪島塗の忘れな盆をプレゼントいたしました。祝宴では2名の先生のご挨拶を含め、和気あいあい大変楽しい夕食を共に過ごしました。最後に校歌斉唱と2名の先生を含め同級生全

員の今後のますますの活躍を祈り、荻原英生君による声高らかな応援と一本締めでお開きとなりました。来年平成27年は5月末に「シチヤ会」富山県開催幹事の宮本宣良君、米沢 徹君、早津良和君が世話人で宇奈月温泉での開催を計画しております。

(山内幸司 記)



# 七十九期会

平成26年10月12-13日の連休で第79期会が南の地、鹿児島県は砂蒸しで有名な指宿にて開催された。あの1964年東京オリンピックの開会日が10月10日に決まったのはこの時期天気が安定するということがあったようである。そして参加者誰もが好天を期待していた。

前回平成24年1月東京で開催された時,次回開催は九州でと,そして幹事は鹿児島の内田君と熊本の津田さんと決定,以来両君の企

### 昭和49年卒



台風19号軌跡 (出典:気象庁ホームページ)

画のもと鋭意準備が進められてきた。会場は指宿白水館,あの小泉前首相も絶賛したという,また,おもてなし度全国1.2位を争う





すばらしい宿での開催と聞き,皆 心待ちにしていた。ところが前週 の台風18号に引き続き19号がなに やら日本列島をうかがう様子。人 工衛星が捕らえたくっきりとした 台風の目として話題に上り,今年 最強の台風と予想されたその19号 が当初の予想より西寄りのコース をゆっくり進み,九州南部を直撃 する模様。

さあどうするかと皆が考えたの は当然のことであった。早々キャ ンセルと決断した者もいたが. 我々は兎に角出発することにし た。羽田で搭乗したが、着陸でき なければ引き返しの条件付きで あった。飛行の間さほど大きな揺 れはなかったものの、 鹿児島空港 着陸時, 体が一瞬ふわっと浮き上 がるほどの落下が有り一瞬ひやっ とした。レンタカーを借り宿へ着 き, そんな話をしたら, 着陸に一 度失敗し、やり直しの間気流の安 定するまで30分上空で待機という 飛行機で来たものもいた。2度目 に失敗したら羽田に引き返しとい うアナウンスが流れたとのこと。 当初の予想より台風の進路がゆっ くりだったため、前日現地に何と か到着したが帰ることが出来なく なることを心配し, 折角来たもの の仕方なく宴会当日午前中で帰っ た者、当日途中まで来たものの行 き着ける手立てがなく仕方なく引 き返した者。一方天候にもめげず



ゴルフをした者。色々でした。しかし、30名はしっかり宴会に参加し、2年半ぶりの旧交を温めた(集合写真)。

宴会の席順は当時の出席番号順 ということになった。四十数年前 のことではあるが、さすがに自分 の番号は覚えて?おり、すんなり と着席順は決まった。会は津田さ んの司会のもと、会長大塚君の開 会宣言に始まり、乾杯の後、同期 の中で大学をこの春退任になった 水口 清, 有末 眞, 間 滋夫3 君それぞれが長年の研究. 臨床. 大学運営などについて短い時間で はあったが興味深い話を語ってく れた。美味しい料理と鹿児島なら ではの芋焼酎に舌鼓をうち、和や かな中にも熱く会は進んだ。やは りこの年になると話題は昔のこと に向かいがち、誰が言い出した か、ある逝去会員のことが話題と なった。これをきっかけに各逝去 会員と親しかった会員から順次彼 らとの色々な思い出やエピソー ド, 家族の近況等が報告された 後. 全員による黙祷が捧げられ た。宴会場では当地の踊りが披露 されたり, 内田君が役員を務める 若潮酒造の芋焼酎破格即売会が あったり, 焼酎や知覧茶等の景品 目当てのくじ引きに興じている間 に予定の時間はあっという間に過 ぎていった。そして最後に記念撮 影を行い、お開きとなった。

今回は内田君の地元鹿児島での 開催ということで、彼の幅広い ネットワークにより、ひとかたな らぬご尽力を頂いた。参加者一同 感謝の念でいっぱいだ。

今回は台風のため、指宿、知覧、鹿児島、志布志観光など、すべてふいになってしまったがぜひ、もう一度訪れてみたいものと思っている。

また、白水館に隣接する薩摩伝 承館には幕末から明治維新にかけ ての貴重な資料や薩摩焼、薩摩切 子等の工芸品、骨董が多数所蔵さ れているので同窓諸兄におかれま しては、ぜひ足を運ばれることを お勧め致したい。

(翌日譚) 我々が宴会やっている その頃、台風は当初の予想より更 に遅れ、その中心は刻々と九州南 部に接近していた。そして、翌13 日午前8時半頃枕崎に上陸した。 飛行機は昼過ぎまでは欠航が決 まっていたが、まだ九州新幹線は 動いているかもしれないと早朝タ クシーで鹿児島に向い、出ていっ たグループもあった。そして今新 幹線に乗って動き出したという メールがはいり、取り敢えずは一 安心。その間19号は東寄りの進路 をとり、指宿のやや北を通った模 様であった。午前10時頃、宿に 残った我々の頭上には突然晴れ間 が現れた。台風の目だ。午前10時 半頃、北東の空に何となく丸い楕 円形の青空が見てとれた。波は相 変わらず岸壁に打ち付けて立木を 超える高さの水の壁をつくってい た。

こうしてみると最初から最後まで台風とおにごっこのクラス会であった。記憶に残るクラス会にな

るのは間違いないであろう。

(篠塚光久, 佐藤 裕 記)



#### 会 爽 翔

#### 昭和62年卒

#### 同期生の教授就任を祝う会

秋も深まった去る11月1日土曜 日. 夜7:00より昭和62年卒(92 期生) 爽翔会有志が, 幹事鈴木 浩之君の呼びかけにより, 東京の 新宿プリンスホテル25階の風雅に 集まった。今回は、同期の杉原 直樹先生の東京歯科大学衛生学講 座主任教授就任とやはり同期の 関根秀志先生の奥羽大学歯学部歯 科補綴学講座口腔インプラント学 教授就任を祝うための集まりで

あった。週末の土曜日ということ もあり、遠方に在住の同期生はな かなか参加することが難しい日時 であったにもかかわらず、53名が 集まった。二人の教授就任を祝 い、それぞれお互いの近況を確認 し, 卒業後長い年月が経過したの を実感しながら、2時間以上歓談 が続いた。来年も関西で同窓会を 催す予定があり、再会を誓っての 解散となった。 (田村 元 記)







### OB 会・グループ・サークルだより

### 東京歯科大学卓球部「創立100周年記念祝賀会」開催される!

平成26年8月30日(土), ホテルメトロポリタンエドモントに於いて「卓球部創立100周年記念祝賀会」が盛大に開催されました。北海道から台北まで OB・OG72名, 現役部員20名が出席,全員の記念写真撮影後に開会となりました。

OB 会代表伊藤 浩先生(S27 卒) 挨拶の後, ご来賓の学長井出 吉信先生より、100年の永きにわ たり脈々と続く卓球部は大学の誇 りですとご祝辞を頂き、井出先生 の所属された謡曲部の旧水道橋校 舎の部室が卓球部と同室であり何 かとご縁があったエピソードもご 紹介頂きました。続いて全日本歯 科医師卓球連盟会長・東京医科歯 科大学卓球部 OB 会会長安藤武雄 先生より, 当時, 医科歯科大学卓 球部は東歯卓球部が目標であった 事、打倒東歯に燃え練習に励んだ 事. どうしても勝つことの出来な かった先生方に本日久しぶりにお 会いできて大変嬉しいとご挨拶頂 きました。そして板垣正二先生 (S29卒)の乾杯のご発声で祝宴 が始まりました。

和やかな雰囲気となったところで部長の髙木多加志先生(S55 卒),前部長の山田 了先生(S47卒)のご挨拶があり、引き続き、色々な意味で名プレイヤーであった先生方のスピーチが始まりました。中村佳晃先生(S38卒)、橋本(田中)恵子先生(S45卒)、鶴澤文彦先生(S47卒)、島村(石井)百子先生(H20卒)、高梨薫敏先生(S43卒)、池田恒彦先



生(S42卒), 佐藤昭雄先生(S39卒), 佐藤英俊先生(S49卒)の 各先生には当時の思い出, 現況, 現役への熱い想いを語って頂きま した。

続いて幹事代表の黒須 誠先生(S42卒)より、これまで65周年、80周年、90周年記念の祝賀会に出席してきたが記念すべきこの100周年記念に始めて学長にご出席いただけた事がうれしいと喜びのご挨拶がありました。そして幹事の北村 新先生(S58卒)より記念資料による卓球部創成期の解説がありました。

同時期に過ごした学年単位での 座席だったこともあり各テーブル も盛り上がったところで、監督の 加藤信一先生(S58卒)から現役 部員の紹介があり、代表して主将



の島津幸平君(3年生)が挨拶し 現役部員による力強いエールが行 われました。そして臼井文規先生 (S55卒)指揮による校歌の大合 唱の後,谷 光明先生(S39卒) の閉会の挨拶でめでたくお開きと なりました。

我が東京歯科大学卓球部の歴史 の重みを感じ、100年目にめぐり 合えた喜び、そして卓球部に在籍 して本当によかったと出席した全 員が感じることのできたすばらし い祝賀会となりました。

今回試験のため残念ながら出席できなかった6年生の諸君,そしてOB,OGのみなさん,次回110周年記念祝賀会でお会いしましょう!

(昭和62年卒 北村 晃 記)



## すいどうばし

### 関東女性歯科医師の会

栃木県女性歯科医師の会 会長 坂入道子(昭和59年卒)

関東女性歯科医師の会は平成17 年に奥村亨子先生(昭45年卒)と 杉山紀子先生(昭54年卒)が発起 人となり関東地域の女性歯科医師 の親睦と情報交換を目的として発 足いたしました。それまでは、各 都県で独自に活動をしてきました が、現在では各県持ち回りで全体 会が開かれています。本年度は10 月19日に栃木県が当番県となり宇 都宮グランドホテルにて会員80名 の出席を得て行われました。懇親 会では来賓として日本歯科医師会 会長 大久保満男先生 同常務理事 倉治ななえ先生をお迎えして盛会 裏に終了することができました。 日頃より生活の医療ということを 提唱されている大久保会長から生 活者である女性が歯科医療の現場 でも活躍をしてほしいと女性歯科 医師へのエールを送っていただき ました。懇親会にて行われた栃木 県歯科医師会の会員のご子息(高 1) のピアノ演奏も好評でした。

全体会は、総会・講演会・懇親 会からなり、総会では関東女性歯 科医師の会の関東地域以外への拡 大についての協議が行われまし た。それぞれの都県によって発足 の経緯や所属・構成が違う現状で はすぐに大きく拡大するのは難し いのではないか、また関東女性歯 科医師の会の内部の充実を図った 方が良いのではという意見が多 かったようです。

講演会は、国立精神神経医療センター 功刀 浩先生に「うつ病と食生活・栄養」と題する講演をしていただきました。栃木県歯科医師会に後援をいただいているため男性の先生やスタッフの参加もあり140名程の参加がありました。

今回参加していただいた東京歯科大学の同窓生は80名中18名を数え、各地域でリーダーシップを発揮され、活躍されているようです。東京歯科大学の今年度の新入生は女性が半数を超えるなど益々女性歯科医師は増えていくこととなります。若い女性歯科医師が、臨床や研究に活躍できる環境整備も私たち臨床医の役割の一つと思



います。先達として本会も一つず つイノベーションし、更なる発展 をしていかなければと考えており ます

最後に関東女性歯科医師の会は 開かれた会ですので早急な地域拡 大はしませんが、オブザーバーと しての参加は大歓迎です。来年度 は平成27年10月3日に山梨県が当 番県で行われる予定ですので、他 の地域の先生におかれましても参 加ご希望の方はご一報ください。



# 庶 務 日 誌

11月		29日(土)	熊本県支部総会 小池常任理事出席
1) 理事会			学術講演会 講師・齋藤 淳教授
11月1日(土)	第6回理事会		(母校)
		30日(日)	愛知県支部総会 蛯谷常任理事出席
2) 委員会			
11月6日(木)	同窓会創立120周年記念事業実行委	4) 事業	
	員会祝賀会小委員会	11月30日(日)	新進会員のつどい
7日(金)	事業推進部社会保障制度研究委員会		
10日(月)	同窓会創立120周年記念事業実行委	5) 評議員会	
	員会祝賀会小委員会	11月2日(日)	平成26年度評議員会
11日(火)	新進会員のつどい準備会(予演会)		
12日(水)	広報部広報委員会	12月	
17日(月)	同窓会創立120周年記念事業実行委	1) 理事会	
	員会記念誌打合せ	12月17日(水)	第5回常任理事会
18日(火)	同窓会創立120周年記念事業実行委		
	員会委員長・副委員長打合せ会	2) 委員会	
25日(火)	事業推進部アカデミア生涯研修企画	12月5日(金)	涉外部涉外委員会
	会議	8日(月)	会務運営協議会
26日(水)	涉外部涉外委員会 (小委員会)	9日(火)	事業推進部社会保障制度研究委員会
26日(水)	総務・厚生部ゴルフ大会委員会	10日(水)	広報部広報委員会
		11日(木)	学術事業交流についての協議会
3) 出張		13日(土)	事業推進部卒後研修委員会, 医療教
11月8日(土)	九州地域支部連合会総会・支部長会		養委員会, 臨床セミナー委員会 第
	浮地副会長,髙橋専務理事,田部理		2回全体委員会
	事出席	16日(火)	事業推進部アカデミア生涯研修企画
8日(土)	全国歯科大学同窓・校友会懇話会		会議
	矢﨑会長, 宮地副会長, 髙野常任理	18日(木)	総務・厚生部総務厚生委員会
	事出席	22日(月)	同窓会創立120周年記念事業実行委
9日(日)	中国地域支部連合会支部長会		員会記念誌打合せ
	宮地副会長, 伊丹理事出席		
13日(木)	東京地域支部連合会保険講習会	3) 出張	
	矢﨑会長出席	12月4日(木)	大学幹部・父兄会役員との懇談会
15日(土)	東京地域支部連合会城西ブロック総		矢﨑会長出席
	会 矢﨑会長出席	6日(土)	東京地域支部連合会総会
24日(月・	祝)		矢﨑会長, 早速理事出席
	近畿地域支部連合会総会・支部長会	6日(土)	
	矢﨑会長, 髙橋専務理事, 戸村理事		学術講演会 講師・宮地建夫先生
	出席		(東京都開業)

- 6日(土) 島根県支部総会 財部副会長出席
- 6日(土) 愛媛県支部総会 福本常任理事出席 学術講演会 講師・齋藤 淳教授 (母校)
- 6日(土) 横須賀鎌倉支部総会

寺田常任理事出席

- 7日(日) 千葉県支部総会 矢﨑会長出席
- 7日(日) 栃木県支部総会 小池常任理事出席 学術講演会 講師・関谷和夫先生 (栃木県開業)
- 7日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会

- 浮地副会長出席
- 13日(土) 山梨県支部総会 矢崎会長出席 学術講演会 講師・川越元久先生 (神奈川県開業)
- 13日(土) 神奈川西湘支部学術講演会 講師・佐藤 亨教授(母校)
- 14日(日) 静岡県支部総会

高橋専務理事出席 学術講演会 講師・阿部伸一教授 (母校)

#### 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福を お祈り申し上げます。 (敬称略・届出順)

●推薦会	: 員	<u> </u>	木	彌力	上郎	(100歳)	滋賀県近江八幡市	26. 9. 8
●昭 29	卒	河	本	弘	$\equiv$	(83歳)	和歌山県和歌山市	26. 8.31
●昭 30	卒	関	$\Box$	輝	武	(84歳)	千葉県千葉市	26. 6.29
●昭 46	卒	栁	澤	孝	彰	(68歳)	東京都町田市	26. 8.28
●昭 35	卒	田	村	博	貞	(88歳)	東京都千代田区	26. 9.17
●昭 33	卒	大	沼	俊	哉	(80歳)	山形県山形市	26. 9.20
●昭 28	卒	高	橋	晃	久	(91歳)	北海道旭川市	26. 9.29
●昭 23	卒	大	石		彰	(87歳)	神奈川県三浦市	26. 10. 2
●昭 13	卒	伏	見		浩	(97歳)	東京都町田市	25. 1.29
●昭 37	卒	平	井	茂	重	(78歳)	北海道小樽市	26. 10. 2
●昭 19.9	卒	伊	藤		隆	(93歳)	愛知県名古屋市	26. 8.27
●昭 37	卒	梅	津	文	夫	(78歳)	宮城県仙台市	26. 9. 8
●昭 16	卒	宮	井	章	良	(96歳)	徳島県徳島市	26. 10. 9
●昭 61	卒	熊	澤	理息	息子	(53歳)	静岡県賀茂郡	26. 10. 16
●昭 54	卒	西	村	眞	治	(61歳)	京都府京都市	26. 10. 14
●昭 16.12	2 卒	成	田	実	乃	(94歳)	三重県津市	26. 10. 2
●昭 43	卒	永	田	勝	彦	(71歳)	東京都武蔵野市	26. 10. 22
●昭 16.12	2 卒	瀧		龍	人	(94歳)	東京都練馬区	26. 9.28
●昭 31	卒	伊	藤		剛	(82歳)	北海道虻田郡	26. 10. 25
●昭 27	卒	母	里		正	(86歳)	島根県平田市	26. 10. 29
●昭 24	卒	宮	田	俊	昭	(86歳)	千葉県市川市	26. 10. 13
●昭 25	卒	中	尾	俊	郎	(86歳)	東京都世田谷区	26. 11. 1
●昭 38	卒	松	村	啓	史	(77歳)	千葉県浦安市	26. 11. 4
●昭 45	卒	吉	崎	正	則	(68歳)	千葉県千葉市	26.11. 2
●昭 45	卒	宮	本	春	秋	(72歳)	石川県金沢市	26. 10. 29
●昭 33	卒	中	路	保	宏	(81歳)	埼玉県所沢市	26. 11. 1

●昭	25	卒	鈴	木		裕	(85歳)	神奈川県横浜市	26. 11. 7
●昭	42	卒	羽日	日野	金	衛	(74歳)	愛知県豊橋市	26. 11. 16
●昭	24	卒	蒲			滋	(89歳)	東京都世田谷区	26. 11. 11
●昭	44	卒	黒	田	泰	行	(69歳)	香川県観音寺市	26. 11. 21
●昭	29	卒	高	山	基上	七古	(84歳)	東京都大田区	26. 11. 19
●昭	30	卒	田	中	陽-	一郎	(83歳)	長崎県佐世保市	26. 11. 23
●昭	22	卒	鳥	居	達	也	(90歳)	静岡県浜松市	26. 12. 3

10月号会報 P 75に記載もれがありました。 逝去会員 医学校卒・古内 正先生 大8年卒・中井通雄先生 共に逝去時住所は茨城県でした。

追

# 高砂昌行君の一言

巑驥会(昭和30年卒) ■



昔. 巑驥会B の会が都内のホ テルで開かれた ことがあった。 宴も半ばの頃. 高砂昌行君が

ひょっこり顔を出した。「イヤー 珍しい人が来たね、卒業以来じゃ ないか」「どうしているの」「仕事 のほうは | …と幹事の矢継早のあ りきたりの質問に、彼は言葉少な に「まあまあ」「ボチボチ」など と取り留めもない返事をして. 会 話は一向に盛り上がらない。困っ た幹事が,「開業していて,今ど んな事が一番困る?」, すると, やおら彼は「困ると言えば自分が 納得できる診療がなかなか出来な いときかな!」と言い出した。「自 費患者だけやっているの」「い や、俺は、診療に自費・保険の患

者の差別は付けないよ」、「ところ で. 自分に納得出来なかった結果 だったときはどうするの」「その 時はね、患者に、私としては、自 分の思った様に仕上がっていない から、費用は、頂けません、と言 うよ」「保険の場合でも?」、「そ う」、「患者さんが、先生、私はこ れで十分です。どうかお納め下さ いと言ったら | 「それでも、絶対 受け取らないよ、これは自分の心 の矜持の問題だからね!

幹事「そんなことしてたら顎が 干上がっちゃわない」「うーん、 確かにその兆候はあるな」「でも ね、そんなときはね、自分の生活 のレベルを2~3段階下げればい いんだよ」「今まで何回もあった は本当に立派でした…』 合掌 よ、もう慣れちゃったフフフ…」 彼は、なんのてらいもなく、他人 事の様にさらりと言って、あとは

黙ってしまった。エー?…予期し ない驚きの彼の言葉に、私は一瞬 爽やかな風を感じたが、どうコメ ントしてよいのか言葉が見つから なかった。私も黙ってしまった。

それ以来, もう何十年も彼とは 会っていない。

平成26年の会報10月号の逝去会 員欄に彼の死亡記事をみつけた。 その時、一瞬彼の言葉を思い出し た、その言葉を反芻しながら、彼 は、その後、あのままの診療姿勢 を貫いていたのだろうか、いろい ろ思いめぐらしてみたが具体的な イメージは浮かばず、只々彼のご 冥福を祈るばかりであった。

左様なら『高砂昌行君!…貴方 (昭和30年卒・倉橋良彰 記)

### --- 哲ちゃん, その後, 向うで元気にしていますか? - シチャ会(昭和48年卒) ---



と私とは,教養 課程のBクラス で一緒になり, 専門課程にて前 半と後半に分か

れはしましたが卒業後また矯正学 教室に入局. 以来矯正を通して今 回お別れするまでずっと一緒の環 境で過ごしました。冗談で良く 我々はお互いの奥さんよりも長く 一緒にいるかもしれないと言って 笑ったことがあります。

彼は大学院を終了後 GP と矯正 とで開業され、多い時は成田市を 中心として4件のオフィスを持っ ていました。最初の10年は GP の 勉強に励み、彼の流暢な英語力の もと当時スウェーデンのリンデ先 生に師事し、ペリオの習得に励ま れました。その後、大学院にて研 究した機能的な諸問題に対してよ り深い興味を持ち、イエテボリ大 学のパンチェルツ先生により再評 価されたハープストアプライアン スを日本に紹介しています。し かし、やはり一番の功績は、彼

菊池 哲先生 の半生を捧げた睡眠時無呼吸症 (OSAS) に対する取り組みでし た。彼の歯科におけるこの研究は 日本のみならず世界の菊池を作っ たと言っても過言ではありませ ん。彼はいつも「OSAS について 言えば永田、予防できるのは医科 でも一般歯科でもなく矯正のみだ よね と言って、矯正と OSAS の問題をよく論じたものでした。

> そんな彼に私が病状を初めて聞 いたのは, 昨秋, 家族全員で東京 の喫茶店でお茶をしている時で. そこに私が「元気か?」と言う電 話をした時でした。彼の反応は 永田の電話はいつも「元気か?」 から始まると言い, 一瞬間をおい て. 今ガンのセカンドオピニオン を受けにある先生のところへ行く 前であるとの話であり、しばらく 様子がわかるまで仲間には言わな いでくれとのことでした。しか し、こんな重い話を聞かされ、私 一人で持っているのは荷が重過ぎ るから共通の先輩である根津先生 (S44年卒・川崎市開業) には相 談させてもらうよと言って許しを

もらい、後で結果を聞かせて下さ いと電話を切りました。

以来、半年に及ぶ彼の病気に対 する姿勢は尊敬に値し, 感銘以外 の言葉は見当たりません。生きる 為の前向きな努力と, 死に対する 準備、この矛盾する2つの行為を ほぼ完璧に彼はこなしたと思いま す。亡くなる前に娘さんに「もう 疲れた、眠らせて。ありがとうし と言ったと聞きました。君も一生 懸命だったけど, 君の家族の献身 的なサポートは、それにも増して 美しいものがありました。君がそ れを一番よく知り、感謝していた のも知っています。本当に良い奥 様と子供たちを持ち、今後の菊池 家は何の心配もないと思います。 しかし、もし何かあれば微力なが ら力になることを約束します。

哲ちゃん. 少し短かったけど幸 せな人生だったね。そして、僕に くれた幾つものやさしさ、本当に ありがとう。 合堂

(昭和48年卒・永田賢司 記)



奥羽大学小児 歯科学の教授と して福島に行か れたのはいつ だったのだろう か。東京歯科大

学を1973年に卒業しともに東京医科歯科大学へ,彼は小児歯科私は矯正科へ。同窓が近くでお互いが苦しくとも楽しい医局生活を送りました。時が経ち彼は昭和大学へ,しばらくして私も同じく昭和大学へ,4階,5階と階は違えど充実した時代でした。彼の才能は

進化しすぐに助教授に昇進、彼の 弁舌鮮やかな講義は学生の人気の 的でした。そして若くして奥羽大 学の教授として栄転し、ここでも 学生の指導をかわれ学生部長を長 きに努めておりました。

突然,入院の連絡が入りましたがなかなか要領が得られず,やっと連絡がついたときには「すぐに治るから誰にも言わないでほしい」という彼の申し出に約束を守り通しました。数年後に再手術を必要とし東京の虎の門病院で久しぶりにお会いできました。体はし

んどそうでしたが口数は軽く,当時東北の震災で福井に移っている川崎君に電話しようかと提案し,彼も喜んで話すことができました。その頃に彼は定年を迎えました。

今年の4月にその力も尽きて亡くなられたと奥様から連絡が入り、本当に残念でなりません。彼のあの素晴らしい笑顔は忘れられません。

(昭和48年卒・加藤博重 記)

### - 遠藤孝平君へ -

── シチヤ会(昭和48年卒) ━



平成26年4月 12日,東京都高 円寺のセレモ ニーホールで 遠藤孝平君のお 別れ会が執り行

われ、東京都歯科医師会の髙橋哲夫会長はじめ友人の先生方、78期の友人たち、在籍した研究室の先輩、後輩、学生時代情熱を燃やした軟式テニス部の仲間たちなど多くの人たちが参集した。生前の彼の誰にでも好かれる人柄が偲ばれるほどだった。

\*\*\*\*

お前の訃報を聞いてから色々な

ことを思い出した。学生時代から 今までのこと,不思議と厭なこと 辛かったことは思い出さない。

昭和42年春、桜の咲く市川グランドのテニスコート、新入部員として初めて出会った。それ以来の付き合いだから長いけれどもあっという間だった様な気もする。テニス部では、先輩方にはいつも可愛がられていた。性格が良く付き合いも良かったからかな。

昭和45年夏、テニス部での思い 出は他にも色々あるが、一番は歯 学体で団体、個人とも優勝したこ とだ。お前の日頃の努力が実を結 んだ瞬間だった。 また、学生時代には気の合う仲間7人で毎日のように昼休み喫茶店でコーヒーを飲みながら話をした。本をよく読み、物知りのお前には皆がいつもビックリしていた。スキーに麻雀、国家試験勉強のこと、思い出したら限がない。楽しかったな。

昭和48年春,卒業して同じ研究室(補綴学第Ⅱ講座)に入局し,羽賀通夫教授,腰原好助教授の下で臨床,研究に勤しんだ。時にはそれらを忘れ,よく将棋もした。対戦成績はどうだったかな?多分,努力家のお前の方が良かったと思う。

昭和50年秋、お前が公安調査庁 の歯科診療室で開業してからは会 う機会も少なくなった。その数年 後, 私も東京を離れ田舎で開業し た為、会う機会もさらに少なく なったが、お互い保険の審査員を していたこともあり、時には役に 立つアドバイスをもらったりもし た。さらに東京都歯科医師会で活 躍している事も聞いていた。

以来、何か機会があるごとに旧 交を温めていたが、 特に変わった 様子も見られなかった。

平成23年春、突然お前が倒れた との知らせを聞き会いに行ったと きは、もう話もできなくなってい

た。寝たきりのお前を見て、学生 でもして. バカ話でもしておけば よかったと後悔した。

その数ヵ月後、お前は逝った。 早すぎた。痛恨の極み。

#### \*\*\*\*

医業の一部を生業としている私 には、生命は永遠のものではなく 限りあるものと解ってはいたが. 生命とは何たるかを深く考える事 はあまりなかった。彼がこのよう になって改めて生命. 寿命という ものについて考えさせられた。や り残したことはないのか?十分生 きたのか?

有限の命を与えられながら、自 時代の気の合う仲間と一緒に旅行 分が生きているのか死んでいるの か. 認識していない時間を無為に 過ごしてきた自分を再認識させら れた。やり残した事が多くとも. 時はやり終えるまでは待ってはく れない。幾らあがいても永遠にこ の世には留まれない。これを機会 に改心しよう!

> こんな気持ちにさせてくれた 遠藤孝平君に合掌!

#### (昭和48年卒

軟式テニス部パートナー 荒野 実 記)

### - 鈴木雅信君逝く -

━━ シチヤ会(昭和48年卒) ━



君から衝撃的 な電話を受けた のは平成25年1 月のことでし た。前年秋に胃 癌が見つかり

放っておくと余命3ヵ月と宣告さ れ、気持の整理がつき電話してき たんだと思う、淡々と平静に話し 私の方がすごいショックを受けま した。9月の卒後40周年シチヤ会 まで生きて皆に会いたいと言って いた。その後も抗癌剤治療を受け ながら仕事も続け元気に生活して いるようでした。7月には診療が つらくなって止めた訳ではなく,

小規模企業共済金の絡みで廃院に した。念願叶いシチヤ会に出席し 普段と変らない元気な姿を見せて くれた。その後奥さんとイタリア 旅行を楽しみ、11月に千葉県シチ ヤ会を開いた時にも元気に出席 し、いつもの趣味のマジックを披 露し皆を楽しませてくれました。 次回桜の咲く頃に開催を決めて別 れた。今年3月に体調下し聖路加 ホスピスに入院、3月27日菊池君 の訃報を知り大分堪えたようだ. 4月1日鈴木康生君. 5日に遠藤 君の訃報が続き電話の声も弱く苦 しそうでした。4月11日5時20分 仲間の後を追うように亡くなられ ました。

鈴木歯科医院の初代は敬止郎先 生(大正5年卒)が鴨川に開業さ れ. 父上の胖先生(昭和16年卒) 彼が3代目です。 奥さんのみち子 さんとは病院実習中に知合い卒後 すぐに結婚し、長男の雅亨君(平 成11年卒) は江戸川区で、次男の 椎名 亮君(平成14年卒)は銚子 で立派な歯科医師として活躍され ているので心残りは無と思うが、 孫がかわいいと言っていた。どう かみち子さん, 雅信君の分まで長 生きしてお孫さんの成長を見守っ て下さい。

(昭和48年卒・木村洋一 記)

### --- 西村君. 会いに行けなくてごめん! ---- 弥生会(昭和54年卒) -



「西村君, 逝 去」の知らせ。 思わず「嘘」と 言ってしまっ た。奥様に電話 した処、「今年

3月から体調崩し、4月に食道癌 が見つかり数回の入院退院を繰返 し、10月も予定入院加療であった が. 病床での突然の大動脈破裂で 10月14日に亡くなった」とのこと。

彼とは下宿が近く、 互いに行き 来していた。料理が上手で玄人は だしだった。ローリング・ストー ンズの曲を、ギターを弾きながら よく歌っていた。アコースティッ クギターの「ジャカジャーン」も 心地よく響いていた。英語も堪能 で流暢に訳していた。英語の歌詞 で覚えたようだ。キャンディーズ の大ファンでもあり解散コンサー トに行っていた。彼は京都の北白 川の田村正和と言われる程の有名 なお洒落で、 髪もこまめにパーマ をかけ、流行には余念なかった。 足を組み, 右肘を左手で支え, 右 手の指を顎に添え椅子に座る。正 直違和感もあったが付合いが深ま るにつれ、それが彼の普通だと理 解した。学部1年の夏京都を訪れ た際、黒ずくめの服装で京都駅ま で迎えに来てくれ、昼は哲学の道 を歩き東山界隈を散策し、夜は嵐 山で幻想的な鵜飼を見た。卒業後 彼は京都大学医学部附属病院口腔 外科に入局. その折看護師の奥様 と知り合い結婚された。山科に居 を構え結婚式から6日後には開業 という過密さで新婚旅行も行けな かった。彼はパソコン、携帯電話

を持たなかった。西村らしいと 思っていた。結婚数年後、京都で 歯科医学会があった折、彼に美味 しい京懐石を友人4名でご馳走に なった。それが彼と会った最後と なった。その後毎年「今年こそ京 都へ行くよ来いよ」と年賀状のや り取り。

彼が逝ってしまった今、早く会 いに行けばよかったと後悔するば かり。西村君,本当に申し訳な い、ごめん。気さくで明るく チャーミングな奥様と君が人生を 共にされたことが、何よりの救い です。西村眞治君、大切なご家族 を見守りながら、どうぞ安らか 合堂 に!

(昭和54年卒・直野孝則 記)

### - 熊澤理恵子さんを悼む -

➡ 彗星会(昭和61年卒) 
➡



熊澤(旧姓 渡邊) 理恵子さ んが、平成26年 10月16日早朝, ご家族に見守ら れ、遠くに旅立

たれました。

あまりに早すぎる、辛い別れと なりました。

34年前の市川進学課程での出会 いから、あなたに、貴重な長い時 間を共有させてもらえたことを, 心から感謝しています。

での充実生活を送るあなたから. 病気を告げられたのは10年以上も 前のことでしたね。

あなたは, 気丈に病を克服し, 笑顔で再会して下さいました。

そして、まさかの再発。

あなたの闘病生活を想像するだ けで、胸が痛みます。

再会を待ち望む中、あなたから のメールに「自宅で緩和ケア」の 文字を見たときには、 茫然としま した。

あなたに会いたくて、ご自宅を 押し掛ける様に訪問しましたね。

再会の喜びも東の間、静かに 妻,母,歯科医師として,伊豆 ゆっくりと病状経過を話してくれ る.あなたの言葉を聞きながら. 溢れる涙を抑えることが出来ませ

んでした。

ほどなくして、ご主人から、あ なたの容体悪化の連絡を頂き, 駆 け付けたことが昨日の出来事の様 です。

ベッドの上のあなたの手を握る だけで、言葉が見付からなかった ことが悔やまれます。

あなたが、辛い身体を押して 「ありがとう」と言ってくれた姿 を,一生忘れません。

心から、ご冥福をお祈りいたし ます。

ありがとう, りえちゃん。 (昭和61年卒・三木ちえ子 記)

#### ◆投稿規定

※平成26年度より、偶数月発行から年間4回(2, 6, 10, 12月)の発行になりました。

(1) 原稿締め切り

原稿の締め切りは、発行前月の10日までとし、 原則として締め切り翌月発行の会報に掲載いた します。

(2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用 (4) 写真等の返却 はご遠慮下さい。ワープロ等電子機器使用の場 合は1行15字で設定して下さい。写真はピント のあったものを、大きいサイズ (2Lなど) で 集合写真のみでなく、スナップなども添えて下 さい。

- (3) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま 掲載いたします。ただし、紙面の都合により加 筆削除等お願いすることがありますので, ご了 承下さい。なお、掲載については委員会にご一 任いただきます。

写真等は、原則として返却いたしませんが、特 に貴重な写真の場合は、その旨書き添えて下さ れば返却いたします。写真は同窓会ホームペー ジにも掲載されることがあります。

(5) 投稿字数

投稿欄	内容	文字数,備考
追悼	故人の追悼文	600字程度でお願いしています。
すいどうばし いなげ	随想, 詩, 短歌, 時評など	1編1,700字程度(1ページ)。投稿者本人にしか解らない思い入れや、取り止めのない随筆はご遠慮いただき、出来るだけ大学や同窓会に縁(ゆかり)あるものが望ましい。
支部のうごき クラス会だより		1ページ1,700字程度(1ページ以内でお願いします) 写真が入る場合下記を参考に文字数を減らしてください。 全員の集合写真は720字に相当,会場風景や大勢のスナップ写真は 360字相当,数人のスナップ写真は120字相当で掲載します。 尚,同窓会ホームページよりひな型をダウンロードできますのでご 利用下さい。

#### 電子メールでの投稿は同窓会ホームページ

http://tdc-alumni.jp/organization/dousoukai/kouhoubu/をご覧下さい。

#### 投稿送付書 郵送で投稿の方は下記送付書に内容を記載し、同封をお願いします。

お名前 (漢字)		所属支部	支部						
卒業年数 (どれか1つ)	(昭和・平成・西暦) _	(昭和・平成・西暦) 年卒 /							
住所 (自宅・勤務先)	〒								
電話番号 (自宅・連絡先)		FAX 番号							
投稿先 □に <b>√</b> 印チェック	□ふる		□支部のうごき うばし □いなげ グループ・サークル						
貼付写真枚数	枚								
その他ご希望	(例 写真の順番・重要	度など)							

◆へんしゅうこうき ★今号の「ふるさと自慢」の写真もとてもいいですね。

カラーで掲載できるようになって久しいですが、せっかく綺麗な風景や美味しそうなご当地料理の写真を送っていただいても白黒写真で掲載していた時はとても 残念な気持ちで一杯でした。

うん、やっぱりのどかな昭和の佇まいには猫が似会うな!

★東歯大学生の夏期海外研修事業 (エレクティブスタディ) の記事を読ませていた だきました。

今の学生はこんなこともやっているのかと感心したのは自分だけではなかろう。 遊びに行く海外旅行ならまだしも、アメリカの歯科大学に研修に行くなんて学生 時代の自分には思いもよらなかった。

学生時代にある教授が「君は英語が得意かね?英語の論文を自分でスラスラ読めるようにならなきゃダメだよ。」と言われた事を思い出した。

あれから30年も経つけど「さいとしーいんぐ」から脱せず情けない!

★前号から「準会員のページ」が出来たことに気づきましたか?

このページは学生の時から同窓会の活動などについて理解を深めて戴こうという ことで企画されています。

現在はクラブ紹介を現役学生代表が執筆していますので今はこんなクラブがあるのか?というのも出るかもしれません。

現役学生は自分や同級生が現在所属しているクラブ記事が載っていれば同窓会会報にも目を通し、自ずと同窓会に親しみを持って卒業していってくれるはず?と期待しています。 (福井雅之 記)

広報部広報委員会

委員長副委員長

委 員

臼田 雅之 福井 山口 雅史 成博 古澤 奥野 圭子 佐々木葉子 皆川 雅彦 渡邊 字一 島田 哲雄 西村 横田 東生

広報部担当理事 小池 修

平成26年12月20日 印刷 平成26年12月25日 発行 東京歯科大学同窓会会報 第398号

同窓会ホームページアドレス http://www.tdc-alumni.jp 
 発行人
 小
 池
 修

 編集人
 臼
 田
 準

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18 電 話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264 – 4859

印刷所 一 世 印 刷 株 式 会 社 〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22 電 話 (03) 3952-5651 (代)

#### 平成26年度 評議員会

(報告)

平成26年11月2日(日) 於 如水会館 2階 スターホール

#### 平成26年度東京歯科大学同窓会評議員会 (午前10時00分~午後3時30分)

開会の辞
 点呼
 会長挨拶
 来資挨拶
 議長. 副議長選出

1. 議事録署名人

 1. 黙
 祷

 1. 報
 告

(1) 平成26年度 会務報告

(2) 平成26年度 会計現況報告 (財産の廃棄処 分を含む)

1. 東京歯科大学の現況報告

(1) 東京歯科大学の現況

議事
 第1号議案 名誉会員の推薦

1. 名誉会員推戴式

1. 叙勲. 褒章受章者顕彰式

1. 議 事 (続き)

第2号議案 平成25年度 経常部収支決算 第3号議案 平成25年度 特別会計収支決算 (同窓会基金, 血脇記念基金, 共済 基金, 名簿積立金, 退職積立金, 同

窓会創立120周年記念事業積立金)

第4号議案 平成25年度 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金収支決算 第5号議案 平成25年度 時局対策費積立金会

計収支決算

第6号議案 平成25年度 財産目録

(監 査 報 告)

第7号議案 平成27年度 事業計画

第8号議案 平成27年度 入会金および会費

第9号議案 平成27年度 経常部収支予算

第10号議案 平成27年度 共済負担金

第11号議案 平成27年度 特別会計収支予算

(高山·血脇記念同窓会基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金, 同窓会創立120周年記念事業積立金)

第12号議案 平成27年度 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金収支予算

第13号議案 平成27年度 時局対策費積立金会

計収支予算

第14号議案 選挙管理委員・予備選挙管理委員 の選出

1. 協 議

(1) 評議員選出の経過措置および評議員会のあり方について

(2) その他

1. 閉 会 の 辞

#### 平成26年度東京歯科大学同窓会会務報告

(自 平成25年9月1日) 至 平成26年8月31日)

1. 現在会員数	9, 121名		(母校)
1. <b>况任</b> 云貝奴 内	9, 1214	9日(月)	広報部広報委員会
名誉会員	30名	9日(月)	事業推進部学術委員会(企画)
共済負担金免除会員		10日(火)	事業推進部学術委員会(運営委員会)
高齢会員	433名	11日(水)	事業推進部学術委員会(研修委員会)
不明会員	433石 732名	11日(水) 12日(木)	司窓会主催全国ゴルフ大会
イ 明 云 貝 2. <b>会員の移動</b>	732石		
	100 &	12日(木)	日本歯科医師会創立百十周年を祝う
新 入 会 員	133名 (本年度卒業生 123名)		会、日本歯科医師会・日本歯科医師連盟役員就任披露パーティー
	(本年度卒業生 123名) 他 10名)		
14. 十 人 目		14日(1.)	宮地副会長出席
逝去会員	134名	14日(土)	第4回理事会
退会会員	3名	17日(火)	同窓会・会務運営協議会
3. 会 議	11=	19日(木)	会員管理システム検討委員会
定時総会	1回	21日(土)	北陸地域支部連合会総会・支部長会
評議員会	1回		(石川県支部担当)
学年代表者会	1回		矢崎会長, 寺田·加藤理事出席
新進会員のつどい			学術講演会 講師・一戸達也教授
東歯関係日歯役員・代	7101	0.4 🖂 ( .1.)	(母校)
会長と同窓会役員懇談		24日(火)	同窓会創立120周年記念事業準備委
理事会	8回	0.4 🖂 ( .1.)	員会 ************************************
常任理事会	4回	24日(火)	総務関係打合せ会
監 査 会	1回	25日(水)	京橋支部学術講演会 講師・山本
各種委員会	144回	22 H ( L)	仁教授(母校)
卒後研修セミナー	12回	26日(木)	事業推進部学術委員会(運営委員会)
連絡会・打合せ等	31回	27日(金)	事業推進部(保険委員会 全国社会
	(101名)	(-)	保険指導者懇談会・懇親会)
5. 支 部 数 108支		29日(日)	TDC 卒後研修セミナー2013 卒研
6. 地域支部連合会数 1			セミナーNo.3実習セミナー1
	也域,関東地域,東京地域,		「ゼロから学ぶセファロトレーシン
	战, 北陸地域, 近畿地域,		グと症例分析」3
中国地域,四国地域	<b>龙</b> ,九州地域	29日(日)	東海地域支部連合会総会・支部長会
7. 会務報告			(愛知県支部担当)
平成25年			矢﨑会長、財部・太田理事出席
	支部連合会総会・支部長会		学術講演会 講師・安井信久先生
(千葉県支		/ >	(愛知県弁護士会会長)
	, 佐瀬副会長, 髙橋専務理	30日(月)	
	・杉山理事出席		事業推進部学術委員会(研究部)
	部学術委員会(研究部)	4日(金)	涉外部涉外委員会
	部(企画会議)	4日(金)	アカデミア構想準備委員会
	交流についての協議会	5日(土)	信越地域支部連合会総会(東信支部
	部保険委員会		担当)
	部学術委員会(運営委員会)		矢﨑会長, 髙橋専務理事, 阿部理事
	域支部連合会総会・支部長		出席
	文支部担当)		学術講演会 講師・千葉光行先生
	会長、臼井・佐藤理事出席		(前市川市長)
学術講演	i会 講師·水口 清教授	7日(月)	評議員会会場について大学事務との

打合せ

- 7日(月) 事業推進部(企画会議)
- 9日(水) 事業推進部学術委員会(研修委員会)
- 10日(木) 広報部広報委員会
- 10日(木) 下谷支部学術講演会 講師·井上 孝教授(母校)
- 12日(土) 第5回理事会
- 13日(日) TDC 卒後研修セミナー2013 卒研セミナーNo.4臨床セミナー 「歯科疾患!! どこから手をつける?」〜病態の理解とタイプ別臨床診断・治療計画〜
- 15日(火) 事業推進部学術委員会(研究委員会 B)
- 15日(火) 事業推進部学術委員会(インプラントセミナー2014プログラム委員会)
- 15日(火) 城東・深川支部合同学術講演会(深 川支部担当) 講師・片倉 朗教授(母校)
- 19日(土) 九州地域支部連合会総会・支部長会 (鹿児島県支部担当)

矢﨑会長, 蛯谷・田部理事出席

- 22日(火) 同窓会・会務運営協議会
- 22日(火) 事業推進部学術委員会(企画)
- 23日(水) 学術事業交流についての協議会
- 23日(水) 東京地域支部連合会江東六地区役員 連絡協議会 小池理事出席 学術講演会 講師・小池 修先生 (東京都開業)
- 26日(土) 全国歯科大学同窓・校友会懇話会 矢﨑会長, 宮地副会長, 臼井理事出席
- 26日(土) 東歯祭, 第45回歯学体成績報告会
- 26日(土) 北多摩支部学術講演会 講師・矢島 安朝教授(母校)
- 27日(日) 東北地域支部連合会支部長会(山形 県支部担当)

高橋専務理事, 高橋理事出席

- 27日(日) 関東地域支部連合会支部長会(千葉 県支部担当) 臼井・杉山理事出席
- 28日(月) 事業推進部学術委員会(研究委員会 B)
- 28日(月) 総務関係打合せ会
- 29日(火) 事業推進部学術委員会(運営委員会)
- 31日(木) 同窓会創立120周年記念事業準備委員会
- 31日(木) 事業推進部学術委員会(インプラントセミナー2014プログラム委員会)
- 11月 1日(金) 会員管理システム検討委員会
  - 6日(水) 広報部広報委員会(12月号取材)
  - 8日(金) 事業推進部学術委員会(研究部)
  - 8日(金) アカデミア構想準備委員会

- 9日(土) 事業推進部学術委員会(運営委員会)
- 9日(土) 東京地域支部連合会城西ブロック講 演会・懇親会 矢﨑会長出席
- 10日(日) TDC 卒後研修セミナー2013 卒研 セミナーNo.5実習セミナー2 「CAD/CAM を極める」〜初めての オールセラミックス・支台歯形成の 基本から合着まで〜
- 11日(月) 同窓会・会務運営協議会
- 11日(月) 広報部広報委員会
- 13日(水) 事業推進部学術委員会(研修委員会)
- 13日(水) 東京地域支部連合会支部長会 矢崎会長, 早速理事出席
- 14日(木) 評議員会会場について大学事務との 打合せおよび会場設営
- 14日(木) TDC 卒後研修セミナー2013 卒研 セミナーNo.6イブニングセミナー2 「今日からはじめる こだわりのペ リオ」〜歯根膜の臨床観察と歯周治 療〜
- 16日(土) 第6回理事会
- 17日(日) 平成25年度評議員会・第119回定時 総会
- 19日(火) 事業推進部若手ネットワーク・大学 連携合同委員会
- 19日(火) 板橋支部学術講演会 講師・古澤 成博教授(母校)
- 21日(木) 東京地域支部連合会保険講習会 矢﨑会長出席
- 22日(金) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会
- 25日(月) 事業推進部(企画会議)
- 26日(火) 事業推進部学術委員会(企画)
- 27日(水) 総務·厚生部厚生委員会
- 27日(水) 事業推進部学術委員会(プログラム 委員会)
- 29日(金) 事業推進部保険委員会
- 12月 1日(日) 千葉県支部総会 佐瀬副会長出席 学術講演会 講師・一戸達也教授 (母校)
  - 1日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会 矢﨑会長出席
  - 1日(日) 栃木県支部総会 浮地副会長出席 学術講演会 講師・内山公男先生 (NHO 栃木医療センター歯科口腔外 科部長)
  - 2日(月) 総務関係打合せ会
  - 2日(月) 事業推進部学術委員会(研究部)
  - 3日(火) 広報部広報委員会
  - 5日(木) 父兄会役員・大学幹部との懇談会 矢﨑会長出席
  - 7日(土) 東京地域支部連合会総会

- 矢崎会長,佐瀬副会長,早速理事出席
- 7日(土) 愛媛県支部総会 臼井理事出席 学術講演会 講師・矢島安朝教授 (母校)
- 7日(土) 茨城県支部総会 高野理事出席 学術講演会 講師·坂本輝雄講師 (母校)
- 7日(土) 熊本県支部総会 小池理事出席 学術講演会 講師・細矢由美子先生 (長崎大学歯学部小児歯科准教授)
- 8日(日) 静岡県支部総会 矢﨑会長出席 学術講演会 講師・佐藤 亨教授 (母校)
- 8日(日) 愛知県支部総会 梅村副会長,財部理事出席 学術講演会 講師・酒井 優先生 (愛知県開業)
- 8日(日) 第109期同期会 宮地副会長出席
- 9日(月) 事業推進部学術委員会(プログラム 委員会)
- 10日(火) 事業推進部シンクタンク委員会
- 11日(水) 事業推進部学術委員会(研修委員会)
- 13日(金) 日本橋支部総会 早速理事出席
- 13日(金) 涉外部涉外委員会
- 13日(金) 事業推進部学術委員会(インプラントセミナー2014プログラム委員会)
- 14日(土) 山梨県支部総会 浮地副会長出席 学術講演会 講師・上田貴之准教授 (母校)
- 14日(土) 事業推進部学術委員会(全体委員会)
- 14日(土) 神奈川西湘支部学術講演会 講師・ 山根源之名誉教授(母校)
- 16日(月) 同窓会・会務運営協議会
- 17日(火) 事業推進部学術委員会(企画)
- 18日(水) 事業推進部若手ネットワーク委員会
- 19日(木) 学術事業交流についての協議会
- 21日(土) 第7回理事会
- 26日(木) 大学支部総会 宮地副会長出席
- 26日(木) 事業推進部学術委員会(プログラム 委員会)

#### 平成26年

- 1月 6日(月) 会務運営打合せ会
  - 7日(火) 千代田支部新年会 矢崎会長出席
  - 8日(水) 事業推進部卒後研修委員会(No.2ベーシックセミナー打合せ)
  - 10日(金) 広報部広報委員会
  - 16日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.1 臨床実技セミナー打合せ)
  - 16日(木) 浅草・下谷支部合同新年会

矢﨑会長出席

- 17日(金) 芝支部総会・新年懇親会
  - 矢崎会長出席
- 18日(土) 第1回理事会
- 18日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会

矢﨑会長出席

- 19日(日) 東京医科歯科大学歯科同窓会新年名 刺交換会
  - 宮地·浮地副会長, 髙橋専務理事, 臼井理事出席
- 20日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(研 究委員会B)
- 22日(水) 事業推進部アカデミア生涯研修企画会議
- 23日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.3 臨床セミナー打合せ)
- 24日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会(研 究委員会B)
- 25日(土) 杉並支部新年会 財部副会長出席
- 25日(土) 島根県支部総会 宮地副会長出席
- 26日(日) 島根県支部学術講演会 講師・外木 徳子先生(千葉県開業)
- 26日(日) 全国歯科大学同窓・校友会学術担当 者連絡会準備会
- 27日(月) 事業連携協議会
- 30日(木) 同窓会室移転について大学との打合 サ
- 30日(木) 事業推進部卒後研修委員会(No.2ベーシックセミナー打合せ)
- 2月 6日(木) 同窓会室移転に関する打合せ
  - 7日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2015プログラム委員会)
  - 9日(日) 岡山県支部総会 学術講演会 講師・山本 仁教授 (母校)
  - 11日(火) 埼玉県支部新年会 玉井副会長出席
  - 15日(土) 北多摩支部総会 財部副会長出席
  - 16日(日) 三重県支部総会 臼井理事出席 学術講演会 講師・上田貴之准教授 (母校)
  - 17日(月) 会務運営協議会
  - 18日(火) 事業推進部アカデミア生涯研修企画 会議
  - 20日(木) 東京地域支部連合会支部長会

矢﨑会長出席

- 21日(金) 事業推進部卒後研修委員会(No.2ベーシックセミナー打合せ)
- 22日(土) 第1回常任理事会
- 22日(土) 常置委員会·全体委員会
- 24日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.1 臨床実技セミナー打合せ)
- 27日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.3

臨床セミナー打合せ)

- 3月 1日(土) 全国歯科大学同窓会・校友会日歯連 盟参与会議 矢﨑会長出席
  - 2日(日) 滋賀県支部総会 学術講演会 講師・佐藤 亨教授 (母校)
  - 3日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2015プログラム委員会)
  - 6日(木) 学術事業交流についての協議会
  - 7日(金) 歯科衛生士専門学校卒業証書授与式 矢﨑会長出席
  - 8日(土) 青森県支部総会 玉井副会長出席 学術講演会 講師・杉崎正志先生 (東京慈恵会医科大学歯科学教室教 授)
  - 11日(火) 事業推進部卒後研修委員会
  - 12日(水) 広報部広報委員会
  - 13日(木) 東歯関係日歯役員・代議員, 都道府 県歯会長と同窓会役員との懇談会懇 親会
  - 14日(金) 新入会員オリエンテーション
  - 15日(土) 第119回東京歯科大学卒業証書・学 位記授与式 矢﨑会長出席 大学院修了式(会長賞授与)

矢﨑会長出席

第119期卒業生主催謝恩会

矢﨑会長出席

- 15日(土) 群馬県支部総会 学術講演会 講師・蛯谷剛文先生 (東京都開業)
- 17日(月) 水道橋病院臨床研修歯科医修了者へのオリエンテーション
- 19日(水) 千代田支部学術講演会 講師・矢島 安朝教授(母校)
- 20日(木) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 24日(月) 千葉病院臨床研修歯科医修了者への オリエンテーション
- 24日(月) 会務運営協議会
- 24日(月) 事業推進部卒後研修委員会(No.2ベーシックセミナー打合せ)
- 25日(火) 市川総合病院臨床研修歯科医修了者 へのオリエンテーション
- 25日(火) 事業推進部アカデミア生涯研修企画 会議
- 26日(水) 総務·厚生部総務厚生委員会
- 27日(木) 事業推進部新進会員のつどい準備会
- 28日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2014インプラントセミナー打合せ)
- 29日(土) 第2回理事会
- 31日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.1 臨床実技セミナー撮影会)

- 31日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.3 臨床セミナー打合せ)
- 4月 1日(火) 東京医科歯科大学歯科同窓会との学 術懇談会
  - 3日(木) 同窓会創立120周年記念事業実行委 目会
  - 3日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.1 臨床実技セミナー予演会)
  - 4日(金) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校入 学式 矢﨑会長出席
  - 4日(金) 学術事業交流についての協議会
  - 4日(金) 会計連絡会
  - 5日(土) 東京歯科大学入学式 矢崎会長出席
  - 5日(土) 事業推進部若手ネットワーク委員会 (全体委員会)
  - 7日(月) 東京歯科大学大学院入学式

矢﨑会長出席

- 7日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.5 臨床セミナー打合せ)
- 11日(金) 広報部広報委員会
- 11日(金) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会
- 12日(土) 山形県支部総会 髙橋専務理事出席 学術講演会 講師・山下秀一郎教授 (母校)
- 12日(土) 横浜西部支部総会 矢崎会長出席
- 14日(月) 会務運営協議会
- 14日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2015プログラム委員会)
- 18日(金) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 18日(金) 総務・厚生部総務厚生委員会
- 19日(土) 昭和大学歯学部同窓会設立三十周年 記念式典・祝賀会 矢崎会長出席
- 19日(土) 広島県支部総会 学術講演会 講師・一戸達也教授 (母校)
- 20日(日) TDC 卒後研修セミナー2014 開講式 TDC 卒後研修セミナー2014 卒研セミナーNo.1 臨床実技セミナー 「極めよう!! 外科小手術と顎顔面の解剖学」
- 21日(月) 井出学長との座談会
- 22日(火) 事業推進部アカデミア生涯研修企画 会議
- 23日(水) 第2回常任理事会
- 23日(水) 事業推進部卒後研修委員会(No.2ベーシックセミナー最終予演会)
- 25日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.3 臨床セミナー打合せ)
- 26日(土) 宮城県支部総会 矢﨑会長出席 学術講演会 講師・柴原孝彦教授 (母校)

- 28日(月) 事業推進部医療教養委員会
- 5月 1日(木) 同窓会創立120周年記念事業実行委 員会 式典·講演会小委員会
  - 1日(木) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会 祝賀会小委員会
  - 1日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2014インプラントセミナー打合せ)
  - 8日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.5 臨床セミナー打合せ)
  - 9日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会(No6 臨床実技セミナー打合せ)
  - 9日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2014インプラントセミナー打合せ)
  - 10日(土) 四国地域支部連合会総会・支部長会 (愛媛県支部担当) 矢﨑会長, 髙橋専務理事, 久保田理 事出席 学術講演会 講師・井上 孝教授 (母校)
  - 12日(月) 広報部広報委員会
  - 12日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(研 究委員会B)
  - 14日(水) 六歯科大学歯学部校友会同窓会懇談
  - 14日(水) 事業推進部卒後研修委員会(No.2ベーシックセミナーチューター打合せ)
  - 15日(木) 東歯同窓国会議員を支える会 打合せ
  - 16日(金) 事業推進部卒後研修委員会
  - 17日(土) 鳥取県支部総会 宮地副会長出席 学術講演会 講師・宮地建夫先生 (東京都開業)
  - 18日(日) TDC 卒後研修セミナー2014 卒研セミナーNo.2ベーシックセミナー「初診時に求められる診査・診断のスキル」
  - 19日(月) 会務運営協議会
  - 20日(火) 事業推進部臨床セミナー委員会(研 究委員会B)
  - 23日(金) 監査会
  - 24日(土) 第3回理事会
  - 26日(月) 総務·厚生部総務厚生委員会
  - 26日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.3 臨床セミナー打合せ)
  - 26日(月) 事業推進部医療教養委員会
  - 27日(火) 事業推進部アカデミア生涯研修企画 会議
  - 27日(火) 事業推進部新進会員のつどい準備会
  - 28日(水) 総務関係連絡会
  - 30日(金) 京橋支部学術講演会 講師・稲葉 孝夫先生(東京都開業)

- 31日(土) 福島県支部総会 矢﨑会長出席 学術講演会 講師・古澤成博教授 (母校)
- 6月 2日(月) 事業推進部卒後研修委員会
  - 3日(火) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会 祝賀会小委員会
  - 4日(水) 涉外部涉外委員会
  - 5日(木) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会 式典·講演会小委員会
  - 6日(金) アカデミア事業連絡会
  - 7日(土) 近畿地域支部連合会支部長会

臼井・戸村理事出席

- 9日(月) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 9日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.3 臨床セミナー最終予演会)
- 10日(火) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2015プログラム委員会)
- 11日(水) 広報部広報委員会
- 13日(金) 下谷支部学術講演会 講師·髙松 潔教授(母校)
- 14日(土) 九州地域支部連合会支部長会(宮崎県支部担当)

髙橋専務理事, 田部理事出席

14日(土)・15日(日) 全国歯科大学同窓・校友 会学術担当者連絡会

宮地副会長出席

- 16日(月) 会務運営協議会
- 17日(火) 事業推進部医療教養委員会
- 18日(水) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.4 臨床セミナー打合せ)
- 19日(木) 東歯関係日歯役員・代議員, 都道府 県歯会長と同窓会役員との懇談会懇 親会
- 21日(土) 東北地域支部連合会総会・支部長会 (秋田県支部担当)

矢崎会長, 臼井・椎木理事出席 学術講演会 講師・片倉 朗教授 (母校)

- 22日(日) 横浜西部支部学術講演会 講師・ 鈴木聡行先生(神奈川県開業)
- 22日(日) TDC 卒後研修セミナー2014 卒研 セミナーNo.3臨床セミナー 「診療の基本技術 |
- 23日(月) 事業推進部若手ネットワーク委員会
- 24日(火) 事業推進部アカデミア生涯研修企画 会議
- 25日(水) 第3回常任理事会
- 28日(土)・29日(日) TDC 卒後研修セミナー 2014 卒研セミナー特別企画 インプラントセミナー - 臨床から 基礎へ. 基礎から臨床へ-

- 「Evidence-Based-Clinical Practice for Implant」
- 30日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.6 臨床実技セミナー打合せ)
- 30日(月) 学年代表者会打合せ会
- 7月 1日(火) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.5 臨床セミナー打合せ)
  - 1日(火) 事業推進部新進会員のつどい準備会
  - 2日(水) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会
  - 2日(水) 丸の内支部総会 学術講演会 講師・西山典宏先生 (日本大学松戸歯学部生体材料学講 座教授)
  - 3日(木) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会
  - 4日(金) 事業推進部卒後研修委員会
  - 5日(土) 信越地域支部連合会総会・支部長会 (新潟県支部担当) 矢﨑会長, 髙橋専務理事, 阿部理事 出席 学術講演会 講師・蓮池 薫先生 (新潟産業大学経済学部准教授)
  - 5日(土) 新潟県支部総会 矢崎会長出席
  - 6日(日) 千葉県支部学術講演会 講師・中川 種昭先生(慶應義塾大学医学部歯科 口腔外科学教授)
  - 9日(水) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2015プログラム委員会小委員会)
  - 9日(水) 渋谷支部総会 矢﨑会長出席 学術講演会 講師・井出吉信学長 (母校)
  - 10日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.4 臨床セミナー最終予演会)
  - 11日(金) 広報部広報委員会
  - 13日(日) 学年代表者会
  - 13日(日) 群馬県支部総会 髙野理事出席
  - 13日(日) 埼玉県支部総会 小林理事出席 学術講演会 講師・上條英之教授 (母校)
  - 13日(日) 愛知県支部学術講演会 講師・櫻井 学先生(朝日大学歯学部総合医科学 講座麻酔学分野教授)
  - 14日(月) 会務運営協議会
  - 14日(月) 事業推進部新進会員のつどい準備会 小委員会
  - 14日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2015プログラム委員会)
  - 15日(火) 事業推進部社会保障制度研究委員会
  - 16日(水) 事業推進部医療教養委員会
  - 22日(火) 事業推進部アカデミア生涯研修企画 会議

- 23日(水) 第4回常任理事会
- 25日(金) 学校法人東京歯科大学新執行部と同窓会役員との懇談会
- 26日(土)・27日(日) TDC 卒後研修セミナー 2014 卒研セミナー特別企画 インプラントセミナー - 臨床から 基礎へ, 基礎から臨床へ -「Evidence-Based-Clinical Practice for Implant
- 27日(日) TDC 卒後研修セミナー2014 卒研 セミナーNo.4臨床セミナー 「どうして定期健診を受診してくれ ないの?」
- 29日(火) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会 祝賀会小委員会
- 29日(火) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.6 臨床実技セミナー打合せ)
- 30日(水) 総務・厚生部ゴルフ大会運営実行委 員会
- 30日(水) 練馬支部学術講演会 講師・齊藤 力教授(母校)
- 31日(木) 東京地域支部連合会東歯保険関係懇 談会 矢﨑会長出席
- 8月 1日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会(No.5 臨床セミナー打合せ)
  - 4日(月) アカデミア事業連絡会
  - 5日(火) 事業推進部卒後研修委員会
  - 8日(金) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会 式典·講演会小委員会
  - 11日(月) 予算検討会
  - 19日(火) 事業推進部医療教養委員会
  - 20日(水) 広報部広報委員会
  - 22日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会 (2015プログラム委員会)
  - 23日(土) 北海道地域支部連合会総会・支部長会 会 矢﨑会長, 髙橋専務理事, 佐藤理事 出席
  - 25日(月) 会務運営協議会
  - 26日(火) 事業推進部アカデミア生涯研修企画会議
  - 26日(火) 涉外部涉外委員会
  - 28日(木) 事業推進部新進会員のつどい準備会
  - 30日(土) 第4回理事会
  - 31日(日) 事業推進部卒後研修委員会, 医療教 養委員会, 臨床セミナー委員会第1 回全体委員会
  - 31日(日) 東京歯科大学元学長・名誉教授 石川達也先生大学葬

#### 平成25年9月1日より平成26年8月31日までに逝去された会員は次のとおりです。

(敬称略)

R																									(収介	J. H. J.
一	島		根	青	木	紘	_	千	葉	山	崎	博	道	世	田	谷	伊	奈	敏	生	岐	阜	加	藤	正	照
日	愛		知	伊	藤	和	明	静	岡	角	田	昭	_	栃		木	田	中		徹	中	野	坂	田	三	弥
	愛		知	前	畄	_	夫	練	馬	市	Ш	博	保	小		樽	吉	田	伸	幸	愛	媛	中	西	憲	正
	福		井	三	宅	淳	_	横浜	西部	相	庭	昇	_	静		岡	長	尾		盈	富	Щ	菅	田	博	子
	愛		知	駒	田		進	群	馬	永	井	秀	明	苫	小	牧	杉	村		仁	札	幌	船	本	達	世
Relation         Act         A	苫	小	牧	原	田	淳	也	神奈川	西湘	諸	星	裕	夫	福		島	萩	原	昭	男	北	多摩	栗	田	英	明
Table   Tab	神系	利用	南	水	П	立	夫	目	黒	小	畑	典	也	江	戸	Ш	篠	塚	水	竿	新	潟	野	沢		譲
	南		信	大	倉	史	郎	千	葉	青	木	光	夫	北		見	伊	藤	正	通	大	阪	大	内		充
	本		郷	皆	葉	壽	樹	江戸	î JII	甲	田	_	夫	武	蔵	野	佐々	木	智	美	北	多摩	松	葉	騰	博
	滝	野	Ш	菊	池		豊	静	岡	清		俊	和	愛		知	長名	部	史	朗	大	阪	種	田	ひき	き子
R	埼		王	並	木	三	郎	渋	谷	小馬	起川		博	静		岡	山	本	達	雄	静	岡	河	村	孝	眧
Table   Tab	城		東	勝	田	英	和	長	崎	古	Ш		勝	札		幌	巣	Щ		保	千	葉	大	木	貞	雄
要 知 新 田 義 昌 山 形 堺	岐		阜	小	Ш	敏	彦	愛	媛	渡	部	幸	男	묘		Ш	塩	津	栄	_	品	Щ	小	枝	泰	司
群 馬 鈴 木       粮 福 島 石 田       明 静 岡 片 山 公 平 茨 城 泉 川       勇 沒         茂 草 片 桐 敏 夫 練 馬 安 井 一 男 芝       藤 波 潔 千 葉 菊 池       哲 報 馬 安 井 哲 男 麹 町 遠 藤 孝 平 世田台 田 中 彰 北 多摩 島 田 弘 量 岡 山 渡 辺 信 平 神奈川西湘 進 藤 修 栃 木 築 瀬 中 本 郷 野 村 昌 志福 井 山 根 た ま 愛 知 高 岡 正 行 千 葉 鈴 木 雅 信 目 黒 貞 包 剛 男 愛 知 水 谷 裕 茨 城 金 川 一郎 千 葉 金 光 秀 明 横浜鶴見 小 泉 昌 平 法 谷 吉 川 郁 司 愛 媛 山 田 哲 美 京 橋 杉 山 健 埼 玉 佐年田 欣 一新 潟 山 田 達 雄 北 見 樋 口 潔 愛 知 河 合 幹 静 岡 田 中 康 夫 上 協 優 中 野 鮎 澤 武 齢 福 島 大 内 最 目 黒 桑 名 泰 彦 移 桃 幌 川 村 勇 札 幌 中 井 一 仁       古 内 正 日 中 井 通 雄 雄 雅 雅 彦 任 明 月 日 中 井 通 雄 様 馬 横 田 惇 四谷 上 石 川 達 也 新 潟 長 東 長 雄 小 樽 荒 木 雅 雅 福 局 音 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦 福 局 奇 井 松 田 昭 福 島 音 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦 福 向 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎 東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕 千 華 池 田 漠 小 石川 二階堂 銅 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久 新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博 北 多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄 澄 七 多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄 澄 世 田 谷 滝 沢 大 友 暢 子 和 歌 山 河 本 弘 三	埼		玉	若	松		亚目	埼	玉	関	П	恵	_	杉		並	貝	塚	雅	信		芝	佐	野		健
議       草       片       桐       敏       夫       森       馬       安       井       一       男       芝       藤       波       深       千       菜       瀬       也       豆       百       日	愛		知	新	田	義	昌	山	形	堺		み	ち	中		信	松	村	祐	治	Ш	崎	藤	原	_	彦
練 馬 安 井 哲 男 麹 町 遠 藤 孝 平 世田谷 田 中 彰 北 多摩 島 田 弘 量         岡 山 渡 辺 信 平 神宗川西湘 進 藤 修 栃 木 築 瀬 伸 本 郷 野 村 昌 志         福 井 山 根 た ま 愛 知 高 岡 正 行 千 葉 金 光 秀 明 横浜鶴見 小 泉 昌 平         没 知 水 谷 裕 茨 城 金 川 一 郎 千 葉 金 光 秀 明 横浜鶴見 小 泉 昌 平         渋 谷 吉 川 郁 司 愛 媛 山 田 哲 美 京 橋 杉 山 健 埼 玉 佐 田 欣 一         湯 山 田 達 雄 北 見 樋 口 潔 愛 知 河 合 幹 静 岡 田 中 康 夫         山 形 五 十 嵐 俊 葉 中 野 鮎 澤 武 齢 福 島 大 内 晟 目 黒 桑 名 泰 彦         札 幌 川 村 勇 札 幌 中 井 一 仁       古 内 正 中 井 通 雄         練 馬 横 田 惇 四谷 上 石 川 達 也 新 潟 長 東 長 雄 小 樽 荒 木 雅         福 月 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦         福 月 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦         福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎         平 葉 池 田 漠 小 石 川 三 曜堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久         新 潟 星 野 幸 一 北 信 小 早川 武 夫 世 田 谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博         北 多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 真 澄         世 田 谷 流 沢 稔 埼 玉 高 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和歌山 河 本 弘 三	群		馬	鈴	木		勲	福	島	石	田		明	静		岡	片	山	公	平	茨	城	泉	Ш		勇
個 山渡辺信平神宗川西湘進藤 修 栃 木 築瀬 伸 本 郷 野村昌志福井山根たま愛知高岡正行千葉鈴木雅信目黒真包剛男愛知水谷 裕 茨 城金川一郎千葉金光秀明横浜鶴見小泉昌平渋谷吉川郁司愛媛山田哲美京橋杉山 健 埼 玉 佐年田 欣一新潟山田達雄北見樋口 潔愛知河合幹 静岡田中康夫山 形五十嵐俊榮中野鮎澤武齢福島大內 晟目黒桑名泰彦札 幌川村 勇札 幌中井一仁 古內 正 中井通雄縣 馬横田 惇四谷牛込石川達也新潟長東長雄小 樽荒木 雅福井松田 昭福島菅波 要福島鈴木康生静岡內田道彦 福 井松田 昭福島菅波 要福島鈴木康生静岡內田道彦 福 尚橋本高明石川大森英世新宿鶴岡清一愛知大橋二郎東信今井眞理子栃木神山 登埼玉渡辺晋一郎静岡鈴木 裕千華池田 漠小石川 二階堂鋼輝三重貴島 亨三重落合和久新潟星野幸一北信小早川武夫世田谷河瀬隆隆富山内四田安守博北多摩上島正嗣愛知尾崎佳孝長崎糸山 修長崎山口 真澄	浅		草	片	桐	敏	夫	練	馬	安	井	_	男		芝		藤	波		潔	千	葉	菊	池		哲
福 井 山 根 た ま 愛 知 高 岡 正 行 千 葉 鈴 木 雅 信 目 黒 貞 包 剛 男         愛 知 水 谷 裕 茨 城 金 川 一 郎 千 葉 金 光 秀 明 横浜鶴見 小 泉 昌 平         渋 谷 吉 川 郁 司 愛 媛 山 田 哲 美 京 橋 杉 山 健 埼 玉 佐年田 欣 一         新 潟 山 田 達 雄 北 見 樋 口 潔 愛 知 河 合 幹 静 岡 田 中 康 夫         山 形 五 十 嵐 俊 榮 中 野 鮎 澤 武 齢 福 島 大 内 晟 目 黒 桑 名 泰 彦         札 幌 川 村 勇 札 幌 中 井 一 仁       古 内 正 中 井 通 雄         糠 馬 横 田 惇 四谷牛込 石 川 達 也 新 潟 長 束 長 雄 小 樽 荒 木 雅         福 井 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦         福 周 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎         東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕         千 葉 池 田 漠 小 石 川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久         新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博         北 多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 真 澄         世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 高 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和 歌 山 河 本 弘 三	練		馬	安	井	哲	男	麹	町	遠	藤	孝	平	世	田	谷	田	中		彰	北	多摩	島	田	弘	量
愛知水谷       裕 茨 城 金川 一郎 千 葉 金 光 秀 明 横浜鶴見 小泉 昌 平         渋 谷 吉川 郁 司 愛 媛 山田 哲美 京 橋 杉山 健 埼 玉 佐牟田 欣 一         新 ៀ 山田 達 雄 北 見 樋 口 潔 愛 知 河 合 幹 静 岡 田中 康 夫         山 形 五十嵐 俊 榮 中 野 鮎 澤 武 齢 福 鳥 大 内 晟 目 黒 桑 名 泰 彦         札 幌 川 村 勇 札 幌 中 井 一 仁 古 内 正 中 井 通 雄         糠 馬 横 田 惇 四谷+込 石 川 達 也 新 潟 長 東 長 雄 小 樽 荒 木 雅         福 井 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦         福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎         東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕         千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久         新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博         北多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄         世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 高 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和歌山 河 本 弘 三	岡		Ш	渡	辺	信	平	神奈川	西湘	進	藤		修	栃		木	築	瀬		伸	本	郷	野	村	昌	志
渋 谷 吉 川 郁 司 愛 媛 山 田 哲 美 京 橋 杉 山 健 埼 玉 佐牟田 欣 一新 潟 山 田 達 雄 北 見 樋 口 潔 愛 知 河 合 幹 静 岡 田 中 康 夫 山 形 五十嵐 俊 榮 中 野 鮎 澤 武 齢 福 島 大 内 晟 目 黒 桑 名 泰 彦 札 幌 川 村 勇 札 幌 中 井 一 仁 古 内 正 中 井 通 雄 標 馬 横 田 惇 四谷牛込 石 川 達 也 新 潟 長 東 長 雄 小 樽 荒 木 雅 福 井 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦 福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎 東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕 千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久 新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博 北多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄 世 田谷 滝 沢 稔 埼 玉 髙 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和歌山 河 本 弘 三	福		井	Щ	根	た	ま	愛	知	高	岡	正	行	千		葉	鈴	木	雅	信	目	黒	貞	包	剛	男
新 潟 山田達雄北 見 樋口 潔 愛 知 河合 幹 静 岡田中康夫         山 形 五十嵐 俊 榮 中 野 鮎 澤 武 齢 福 島 大 内 晟 目 黒 桑 名 泰 彦         札 幌 川 村 勇 札 幌 中 井 一 仁 古 内 正 中 井 通 雄         糠 馬 横 田 惇 四谷+込 石 川 達 也 新 潟 長 束 長 雄 小 樽 荒 木 雅         福 井 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦         福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎         東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋—郎 静 岡 鈴 木 裕         千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久         新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博         北多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄         世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 高 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和 歌 山 河 本 弘 三	愛		知	水	谷		裕	茨	城	金	Ш	_	郎	千		葉	金	光	秀	明	横涉	兵鶴見	小	泉	昌	平
山 形 五十嵐 俊 榮 中 野 鮎 澤 武 齢 福 鳥 大 内 晟 目 黒 桑 名 泰 彦         札 幌 川 村 勇 札 幌 中 井 一 仁       古 内 正       中 井 通 雄         糠 馬 横 田 惇 四谷+込 石 川 達 也 新 潟 長 束 長 雄 小 樽 荒 木 雅         福 井 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦         福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎         東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕         千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久         新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博         北 多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄         世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 高 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和歌山 河 本 弘 三	渋		谷	吉	Ш	郁	司	愛	媛	山	田	哲	美	京		橋	杉	山		健	埼	玉	佐幸	产田	欣	_
札 幌 川 村 勇 札 幌 中 井 一 仁       古 内 正       中 井 通 雄         練 馬 横 田 惇 四谷+込 石 川 達 也 新 潟 長 束 長 雄 小 樽 荒 木 雅         福 井 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦         福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎         東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕         千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久         新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博         北 多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄         世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 髙 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和歌山 河 本 弘 三	新		潟	Щ	田	達	雄	北	見	樋	П		潔	愛		知	河	合		幹	静	岡	田	中	康	夫
練 馬 横 田 惇 四谷牛込 石 川 達 也 新 潟 長 束 長 雄 小 樽 荒 木 雅       福 井 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦       福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎       東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕       千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久       新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博       北多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄       世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 髙 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和歌 山 河 本 弘 三	山		形	五一		俊	榮	中	野	鮎	澤	武	齢	福		島	大	内		晟	目	黒	桑	名	泰	彦
福 井 松 田 昭 福 島 菅 波 要 福 島 鈴 木 康 生 静 岡 内 田 道 彦 福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎 東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕 千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久 新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博 北多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 真 澄 世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 髙 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和 歌 山 河 本 弘 三	札		幌	Щ	村		勇	札	幌	中	井	_	仁				古	内		正			中	井	通	雄
福 岡 橋 本 高 明 石 川 大 森 英 世 新 宿 鶴 岡 清 一 愛 知 大 橋 二 郎 東 信 今 井 眞理子 栃 木 神 山 登 埼 玉 渡 辺 晋一郎 静 岡 鈴 木 裕 千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久 新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博 北多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄 世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 髙 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和 歌 山 河 本 弘 三	練		馬	横	田		惇	四谷	牛込	石	Ш	達	也	新		潟	長	束	長	雄	小	樽	荒	木		雅
東       信       今       井       眞理子       栃       木       神       山       登       埼       玉       渡       辺       晋一郎       静       岡       鈴       木       裕         千       葉       池       田       漠       小石川       二階堂       鋼       輝       三       重       喜       百       和       久         新       潟       星       野       幸       一       北       信       小早川       武       夫       世       田       谷       百       山       内       田       安       博         北       多       上       島       正       嗣       変       知       尾       崎       よ       山       い       日       京       市	福		井	松	田		昭	福	島	菅	波		要	福		島	鈴	木	康	生	静	岡	内	田	道	彦
千 葉 池 田 漠 小石川 二階堂 鋼 輝 三 重 貴 島 亨 三 重 落 合 和 久         新 潟 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博         北多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 眞 澄         世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 髙 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和歌山 河 本 弘 三	福		岡	橋	本	高	明	石	Ш	大	森	英	世	新		宿	鶴	岡	清	_	愛	知	大	橋	=	郎
新 湯 星 野 幸 一 北 信 小早川 武 夫 世田谷 河 瀬 隆 富 山 内 田 安 博         北多摩 上 島 正 嗣 愛 知 尾 崎 佳 孝 長 崎 糸 山 修 長 崎 山 口 真 澄         世田谷 滝 沢 稔 埼 玉 髙 砂 昌 行 目 黒 大 友 暢 子 和 歌 山 河 本 弘 三	東		信	今	井	真理	里子	栃	木	神	Щ		登	埼		玉	渡	辺	晋-	一郎	静	岡	鈴	木		裕
北多摩     上島正嗣愛知尾崎佳孝長崎糸山修長崎山口眞澄       世田谷滝沢 稔埼玉高砂昌行目黒大友暢子和歌山河本弘三	千		葉	池	田		漠	小石	i III	<u>_</u> p	皆堂	鋼	輝	三		重	貴	島		亨	三	重	落	合	和	久
世田谷滝沢 稔埼 玉 高砂昌行目 黒 大 友 暢 子 和 歌 山 河 本 弘 三	新		潟	星	野	幸	_	北	信	小馬	利川	武	夫	世	田	谷	河	瀬		隆	富	Щ	内	田	安	博
	北	多	摩	上	島	正	嗣	愛	知	尾	崎	佳	孝	長		崎	糸	Щ		修	長	崎	Щ	П	眞	澄
千 葉 関 口 輝 武 町 田 栁 澤 孝 彰	世	田	谷	滝	沢		稔	埼	玉	髙	砂	昌	行	目		黒	大	友	暢	子	和	歌山	河	本	弘	三
	千		葉	関	П	輝	武	町	田	栁	澤	孝	彰													

※必ずしも支部所属とは限りません。

※この間にご逝去が確認された方を含みます。

(届出順 以上 134名)

### 総務·厚生部報告

### (自 平成25年9月1日 至 平成26年8月31日)

1. 共済規程第6条第1項一号に基づき弔慰金を支給した逝去会員は次のとおりです。

(敬称略)

島	根	青	木	紘	_	千	葉	山	崎	博	道	世田	谷	伊	奈	敏	生	岐	阜	加	藤	正	照
愛	知	伊	藤	和	明	静	岡	角	田	昭	_	千	葉	山	﨑	可	夫	栃	木	田	中		徹
中	野	坂	田	三	弥	愛	知	前	岡	_	夫	練	馬	市	Ш	博	保	小	樽	吉	田	伸	幸
愛	媛	中	西	憲	正	福	井	三	宅	淳	_	横浜西	部	相	庭	昇	_	静	岡	長	尾		盈
富	山	菅	田	博	子	愛	知	駒	田		進	群	馬	永	井	秀	明	苫	小 牧	杉	村		仁
札	幌	船	本	達	世	苫	小 牧	原	田	淳	也	神奈川	西湘	諸	星	裕	夫	福	島	萩	原	昭	男
北多	摩	栗	田	英	明	目	黒	小	畑	典	也	江 戸	Ш	篠	塚	水	竿	新	潟	野	沢		譲
南	信	大	倉	史	郎	千	葉	青	木	光	夫	北	見	伊	藤	正	通	大	阪	大	内		充
本	郷	皆	葉	壽	樹	江	戸川	甲	田	_	夫	武蔵	野	佐人	木	智	美	北	多摩	松	葉	騰	博
滝 野	; JII	菊	池		豊	静	岡	清		俊	和	愛	知	長名	<b>シ部</b>	史	朗	大	阪	種	田	ひき	3子
埼	玉	並	木	三	郎	渋	谷	小馬	即		博	静	岡	Щ	本	達	雄	静	岡	河	村	孝	昭
長	崎	古	Ш		勝	札	幌	巣	Щ		保	千	葉	大	木	貞	雄	岐	阜	小	Ш	敏	彦
愛	媛	渡	部	幸	男	品	Щ	塩	津	栄	_	П	Ш	小	枝	泰	司	埼	玉	関	П	恵	_
杉	並	貝	塚	雅	信		芝	佐	野		健	愛	知	新	田	義	昌	山	形	堺		み	ち
中	信	松	村	祐	治	群	馬	鈴	木		勲	福	島	石	田		明	静	岡	片	Щ	公	平
茨	城	泉	Ш		勇	浅	草	片	桐	敏	夫	芝		藤	波		潔	千	葉	菊	池		哲
練	馬	安	井	哲	男	世	田谷	田	中		彰	北多	摩	島	田	弘	量	岡	Щ	渡	辺	信	平
神奈川	西湘	進	藤		修	栃	木	築	瀬		伸	本	郷	野	村	昌	志	福	井	山	根	た	ま
愛	知	高	岡	正	行	千	葉	鈴	木	雅	信	目	黒	貞	包	剛	男	愛	知	水	谷		裕
茨	城	金	Ш	_	郎	千	葉	金	光	秀	明	渋	谷	吉	Ш	郁	司	愛	媛	山	田	哲	美
京	橋	杉	Щ		健	埼	玉	佐ź	产田	欣	_	新	潟	山	田	達	雄	静	岡	田	中	康	夫
山	形	五十	上嵐	俊	榮	中	野	鮎	澤	武	齢	福	島	大	内		晟	目	黒	桑	名	泰	彦
札	幌	Л	村		勇	札	幌	中	井	_	仁	練	馬	横	田		惇	四名	〉牛込	石	Ш	達	也
新	潟	長	束	長	雄	小	樽	荒	木		雅	福	井	松	田		昭	福	島	菅	波		要
静	岡	内	田	道	彦	福	岡	橋	本	高	明	石	Ш	大	森	英	世	新	宿	鶴	岡	清	_
愛	知	大	橋	_	郎	東	信	今	井	眞王	里子	栃	木	神	Щ		登	埼	玉	渡	辺	亚—	一郎
静	岡	鈴	木		裕	千	葉	池	田		漠	小 石	Ш	<u></u> ß	皆堂	鋼	輝	Ξ	重	貴	島		亨
三	重	落	合	和	久	新	潟	星	野	幸	_	北	信	小与	利用	武	夫	世	田谷	河	瀬		隆
富	Щ	内	田	安	博	北	多摩	上	島	正	嗣	愛	知	尾	崎	佳	孝	長	崎	糸	Щ		修
長	崎	Щ	П	眞	澄	世	田谷	滝	沢		稔	埼	玉	髙	砂	昌	行	目	黒	大	友	暢	子
和歌	: Ш	河	本	弘	三	千	葉	関	П	輝	武	町	田	栁	澤	孝	彰						

※必ずしも支部所属とは限りません。

(届出順 以上 123名)

2. 風水害地震等罹災に対し、共済規程第6条第1項三号に基づき罹災共済金(見舞金)を支給した会員は次のとおりです。

千葉県支部 道脇 健一 氏(昭和61年卒) 平成25年10月16日発生

### 第1号議案 名誉会員の推薦

本会会則第23条第2項並びに同施行細則第10条第1項一号に基づき次の会員を 本会名誉会員に推薦する。

東京歯科大学名誉教授 川 口 充 氏 東京歯科大学名誉教授 川 口 充 氏 東京歯科大学 薬理学講座 (平成26年3月31日退職) 平成26年4月1日 東京歯科大学名誉教授

東京歯科大学名誉教授 小 田 豊 氏 東京歯科大学 歯科理工学講座 (平成26年3月31日退職) 平成26年4月1日 東京歯科大学名誉教授

東京歯科大学名誉教授 松久保 隆 氏 東京歯科大学 衛生学講座 (平成26年3月31日退職) 平成26年4月1日 東京歯科大学名誉教授

東京歯科大学名誉教授 水 口 清 氏 東京歯科大学 法歯学講座 (平成26年3月31日退職) 平成26年4月1日 東京歯科大学名誉教授

### 第2号議案 平成25年度 経常部収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科	目	予算額	決算額	差額	比率	接	哥 要		
会費		100, 230, 000	92, 394, 000	7, 836, 000	92. 2	平成24年度分   平成23年度以前分	386人 397人	6, 948, 7, 008,	000円 000円 000円 000円
						平成25年度 新進会員 新入会員 平成24年度	18, 000 10, 000 20, 000 18, 000	円×	176人 65人 131人 386人
						昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭平平平平平平平平平平平平平平平平平平平平	1, 200 1, 700 3, 200 3, 500 6, 000 7, 000 8, 000 8, 000 10, 000 12, 000 12, 000 12, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 14, 000 18, 000	円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	0000000001111001222342222335555912182226733807 - 12222342222335555912182226733807
入会金		10, 000	5, 000	5, 000	50. 0	新卒者 推薦会員	5, 000	円× 円×	131人 1人
雑収入		1, 700, 000	2, 225, 436	△ 525, 436	130. 9				
収入		101, 940, 000	94, 624, 436	7, 315, 564	92. 8				
前年度網		15, 000, 000	18, 402, 249	△ 3, 402, 249	122. 7	三菱東京 UFJ 銀行 音 三菱東京 UFJ 銀行 音 三菱東京 UFJ 銀行 う ゆうちょ銀行	普通預金 普通預金 定期預金 通常貯金	3, 435 4, 000	, 606円 , 075円 , 000円 , 568円
合	計	116, 940, 000	113, 026, 685	3, 913, 315	96. 7				

支出の部

科目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
事務費	38, 320, 000 円	円 35, 505, 879	2, 814, 121	92. 7	
給与費	23, 550, 000	22, 248, 489	1, 301, 511	94. 5	
福利厚生費	920, 000	960, 860	△ 40, 860	104. 4	
地代家賃	4, 230, 000	4, 230, 000	0	100.0	
通信費	1, 940, 000	2, 024, 294	△ 84, 294	104. 3	
印刷費	1, 460, 000	1, 018, 472	441, 528	69.8	
備品購入費	600, 000	0	600, 000	0.0	
消耗品費	580, 000	278, 130	301, 870	48. 0	
集金手数料	3, 970, 000	3, 823, 100	146, 900	96. 3	
保守管理委託費	830, 000	770, 706	59, 294	92. 9	
雑費	240, 000	151, 828	88, 172	63. 3	
事業費	64, 280, 000	59, 836, 024	4, 443, 976	93. 1	
旅費交通費	25, 740, 000	25, 082, 500	657, 500	97.4	
総務・厚生関係費	3, 410, 000	2, 764, 046	645, 954	81. 1	
涉外関係費	2, 090, 000	1, 138, 075	951, 925	54. 5	
広報関係費	13, 980, 000	15, 567, 213	△ 1, 587, 213	111.4	カラーページ増
事業推進関係費	5, 030, 000	3, 878, 116	1, 151, 884	77. 1	
会合費	1, 000, 000	304, 763	695, 237	30. 5	
連合会·支部関係費	3, 900, 000	3, 570, 000	330, 000	91.5	
交際費	5, 400, 000	3, 713, 935	1, 686, 065	68.8	
慶弔費	2, 130, 000	1, 873, 500	256, 500	88.0	
雑費	1, 600, 000	1, 943, 876	△ 343, 876	121.5	
会議費	2, 700, 000	1, 908, 168	791, 832	70. 7	
役員会費	70, 000	0	70, 000	0.0	
評議員会費・総会費	1, 700, 000	1, 628, 553	71, 447	95.8	平成25年11月17日開催
学年代表者会費	600, 000	17, 346	582, 654	2.9	平成25年7月7日開催
雑費	330, 000	262, 269	67, 731	79. 5	
特別会計繰入金	4, 610, 000	4, 605, 000	5, 000	99. 9	
同窓会基金	10,000	5, 000	5, 000	50. 0	
血脇記念基金	100, 000	100, 000	0	100. 0	
名簿積立金	2, 000, 000	2, 000, 000	0	100.0	
退職積立金	1, 500, 000	1, 500, 000	0	100. 0	
同窓会創立120周年 記念事業積立金	1, 000, 000	1, 000, 000	0	100.0	
予備費	7, 030, 000	0	7, 030, 000	0.0	
支出計	116, 940, 000	101, 855, 071	15, 084, 929	87. 1	
次年度繰越金	0	11, 171, 614	△11, 171, 614		三菱東京 UFJ 銀行 普通預金       11,013,836P         三菱東京 UFJ 銀行 普通預金       99,090P         三菱東京 UFJ 銀行 定期預金       0P         ゆうちょ銀行       通常貯金         58,688P
合 計	116, 940, 000	113, 026, 685	3, 913, 315	96. 7	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

### 第3号議案 平成25年度 同窓会基金収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

#### 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘要
繰入金 雑収入	10, 000 30, 000	5, 000 5, 716	5, 000 24, 284	50. 0 19. 1	経常部より繰入 預金利息
収入計	40, 000	10, 716	29, 284	26. 8	
前年度繰越金	29, 920, 000	29, 260, 166	659, 834	97.8	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 4,963,744円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 12,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 146,422円 みずほ信託銀行 定期預金 12,150,000円
合 計	29, 960, 000	29, 270, 882	689, 118	97. 7	

#### 支出の部

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘 要
	円	円	円	%	
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	29, 960, 000	29, 270, 882	689, 118	97. 7	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 4,971,893円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 12,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 148,989円 みずほ信託銀行 定期預金 12,150,000円
合 計	29, 960, 000	29, 270, 882	689, 118	97. 7	

### 平成25年度 血脇記念基金収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

#### 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差 額	対比	摘 要
繰入金 雑収入	100, 000 10, 000	100, 000 975	円 0 9, 025	100. 0 9. 8	経常部より繰入 預金利息
収入計	110, 000	100, 975	9, 025	91. 8	
前年度繰越金	5, 190, 000	5, 135, 950	54, 050	99. 0	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 1,135,950円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 4,000,000円
合 計	5, 300, 000	5, 236, 925	63, 075	98. 8	

科 目	予算額	決算額	差 額	対比	摘 要
	円	円	円	%	
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	5, 300, 000	5, 236, 925	63, 075	98. 8	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 1,236,925円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 4,000,000円
合 計	5, 300, 000	5, 236, 925	63, 075	98. 8	

### 平成25年度 共済基金収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

#### 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
共済負担金	19, 100, 000	円 17, 355, 000	1, 745, 000	90. 9	平成25年度分 4,760人 14,673,000円 平成24年度分 416人 1,248,000円 平成23年度以前分 406人 1,434,000円 5,582人 17,355,000円 平成25年度分 3,000円×4,629人 新入会員 6,000円×131人 平成24年度分 3,000円×416人 昭和40~42年度 800円× 0人 昭和43~48年度 800円× 0人 昭和49~51年度 1,500円× 0人 昭和52~53年度 2,000円× 0人 昭和52~53年度 2,000円× 0人 昭和52~53年度 4,000円× 1人 昭和56~63年度 4,000円× 8人 平成1~20年度 平成1~20年度 4,000円× 208人 平成21~23年度 3,000円× 189人
雑収入	100, 000	17, 423	82, 577	17. 4	合計   406人     預金利息
収入計	19, 200, 000	17, 372, 423	1, 827, 577	90. 5	
前年度繰越金	83, 510, 000	83, 996, 642	△ 486, 642	100.6	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金5,308,949円三菱東京 UFJ 銀行 定期預金75,000,000円みずほ信託銀行普通預金237,693円みずほ信託銀行定期預金3,450,000円
合 計	102, 710, 000	101, 369, 065	1, 340, 935	98. 7	

ZHOW					
科 目	予算額	決算額	差額	比率	摘 要
共済金	18, 250, 000	15, 610, 000	2, 640, 000	85. 5	弔慰共済金 11,300,000円 (@100,000×113件) 罹災共済金 110,000円 (@50,000×1件, @30,000×2件)
					80歳祝金       4, 200, 000円 (@50, 000×84件)         100歳祝金       0円 (@50, 000×0件)
事務費	240, 000	133, 725	106, 275	55. 7	弔慰金, 祝金送料 他
予備費	6, 000, 000	0	6, 000, 000	0.0	
給付準備金	78, 220, 000	0	78, 220, 000	0.0	
支出計	102, 710, 000	15, 743, 725	86, 966, 275	15. 3	
次年度繰越金	0	85, 625, 340	△85, 625, 340		三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 6,936,880円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 75,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 238,460円 みずほ信託銀行 定期預金 3,450,000円
合 計	102, 710, 000	101, 369, 065	1, 340, 935	98. 7	

### 平成25年度 名簿積立金収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

#### 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 2, 000, 000	2, 000, 000	円 0	100. 0	経常部より繰入
雑収入	10, 000	843	9, 157	8. 4	預金利息
収入計	2, 010, 000	2, 000, 843	9, 157	99. 5	
前年度繰越金	6, 030, 000	5, 990, 622	39, 378	99. 3	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 5,990,622円
合 計	8, 040, 000	7, 991, 465	48, 535	99. 4	

#### 支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要	
	円	円	円	%		
支出計	0	0	0			
次年度繰越金	8, 040, 000	7, 991, 465	48, 535	99. 4	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金	7, 991, 465円
合 計	8, 040, 000	7, 991, 465	48, 535	99. 4		

### 平成25年度 退職積立金収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

#### 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要	
繰入金	月 1, 500, 000	月 1, 500, 000	円	100. 0	経常部より繰入	
雑収入	1, 300, 000	1, 300, 000	8. 894	11. 1	預金利息	
収入計	1, 510, 000	1, 501, 106	8, 894	99. 4	[民业年] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1	
			-,		一类更支 HDI 细红 並 译茲人	7 CEO EZOIII
前年度繰越金	7, 700, 000	7, 659, 579	40, 421	99. 5	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金	7, 659, 579円
合 計	9, 210, 000	9, 160, 685	49, 315	99. 5		

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要	
	円	円	円	%		
支出計	0	0	0			
次年度繰越金	9, 210, 000	9, 160, 685	49, 315	99. 5	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金	9, 160, 685円
合 計	9, 210, 000	9, 160, 685	49, 315	99. 5		

### 平成25年度 同窓会創立120周年記念事業積立金収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

#### 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	月 1, 000, 000	月 1, 000, 000	円 0	100. 0	経常部より繰入
雑収入	0	99	△ 99		預金利息
収入計	1, 000, 000	1, 000, 099	△ 99	100.0	
前年度繰越金	0	0	0		
合 計	1, 000, 000	1, 000, 099	△ 99	100.0	

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要	
	円	円	円	%		
支出計	0	0	0			
次年度繰越金	1, 000, 000	1, 000, 099	△ 99	100. 0	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金	1,000,099円
合 計	1, 000, 000	1, 000, 099	△ 99	100.0		

### 第4号議案 平成25年度 卒後研修セミナー収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科目	予算額	決算額	差額	 比率	摘要
	円	円	円	%	
受講料	20, 312, 000	8, 418, 000	11, 894, 000	41. 4	ディスカッションセミナー 最初に診ること, ずっと診ること
					取物にあること, すりとあること   0円
					イブニングセミナー 今日からはじめる こだわりの補綴
					222,000円
					〔受講割引なし〕
					5,000×36人 180,000円 〔受講割引あり〕
					3,000×14人 42,000円
					実習セミナー   ゼロから学ぶセファロトレーシングと症例分析
					2, 150, 000円
					〔受講割引なし〕   150,000×10人 1,500,000円
					〔受講割引あり〕
					130,000×5人 650,000円 臨床セミナー
					歯科疾患!! どこから手をつける?
					336,000円 (受講割引なし)
					10,000×28人 280,000円
					〔受講割引あり〕 8,000×7人 56,000円
					実習セミナー
					CAD/CAM を極める   1,450,000円
					〔受講割引なし〕
					50,000×21人 1,050,000円 〔受講割引あり〕
					40,000×10人 400,000円
					イブニングセミナー 今日からはじめる こだわりのペリオ
					290,000円
					〔受講割引なし〕 5,000×46人 230,000円
					[受講割引あり] 230,000円
					3,000×20人 60,000円
					インプラントの極意 4 日間コース 3, 970, 000円
					〔受講割引なし〕
					250,000×10人 2,500,000円 〔受講割引あり〕
					210,000× 7人 1,470,000円
### ITT T	20.000	400	10 =1=	2 1	合計 8,418,000円
雑収入	20, 000	483	19, 517	2. 4	預金利息
繰入金収入	1, 200, 000	1, 200, 000	0	100. 0	卒後研修セミナー積立金会計より繰入
収入計	21, 532, 000	9, 618, 483	11, 913, 517	44. 7	
前年度繰越金	2, 500, 000	1, 904, 369	595, 631	76. 2	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 1,904,369円
合 計	24, 032, 000	11, 522, 852	12, 509, 148	47. 9	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
事務費	700, 000	<sub>円</sub> 507, 459	刊 192, 541	72. 5	
通信運搬費	550, 000	498, 852	51, 148	90. 7	
消耗品費	100, 000	7, 057	92, 943	7. 1	
雑費	50, 000	1,550	48, 450	3. 1	
事業費	19, 400, 000	7, 889, 911	11, 510, 089	40. 7	
講師謝礼費	5, 000, 000	2, 030, 000	2, 970, 000	40. 6	
講師旅費交通費	1, 400, 000	414, 000	986, 000	29.6	
資料作成費	1, 300, 000	750, 000	550, 000	57. 7	
役務費	1, 000, 000	455, 000	545, 000	45. 5	
実習器材費	5, 000, 000	2, 186, 503	2, 813, 497	43. 7	
設営費	2, 500, 000	466, 745	2, 033, 255	18.7	
印刷広報費	700, 000	543, 689	156, 311	77.7	
受講証関係費	200, 000	16, 574	183, 426	8. 3	
広告費	1, 400, 000	827, 400	572, 600	59. 1	
涉外費	700, 000	0	700, 000	0.0	
会場費	200, 000	200, 000	0	100.0	
公租公課	400, 000	417, 100	△ 17, 100	104. 3	
予備費	3, 532, 000	0	3, 532, 000	0.0	
支出計	24, 032, 000	8, 814, 470	15, 217, 530	36. 7	
次年度繰越金	0	2, 708, 382	△ 2, 708, 382		三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 2,708,382円
合 計	24, 032, 000	11, 522, 852	12, 509, 148	47. 9	

### 平成25年度 卒後研修セミナー積立金収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

#### 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要	
雑収入	四 20, 000	円 3, 649	円 16, 351	18. 2	預金利息	
収入計	20, 000	3, 649	16, 351	18. 2		
前年度繰越金	18, 300, 000	18, 552, 290	△ 252, 290	101. 4	みずほ信託銀行 普通預金 552, 29 みずほ信託銀行 定期預金 18,000,00	
合 計	18, 320, 000	18, 555, 939	△ 235, 939	101. 3		

#### 支出の部

科目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
	円	円	円	%	
通信費	0	840	△ 840		振込手数料
繰入金支出	1, 200, 000	1, 200, 000	0	100.0	卒後研修セミナー会計へ繰入
支出計	1, 200, 000	1, 200, 840	△ 840	100. 1	
次年度繰越金	17, 120, 000	17, 355, 099	△ 235, 099	101.4	みずほ信託銀行 普通預金 155,099円
					みずほ信託銀行 定期預金 17,200,000円
合 計	18, 320, 000	18, 555, 939	△ 235, 939	101. 3	

### 第5号議案 平成25年度 時局対策費積立金会計収支決算

自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

#### 収入の部

△印=予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘要
繰入金 雑収入	2, 000, 000 40, 000	2, 000, 000 4, 437	円 0 35, 563	100. 0 11. 1	経常部より繰入 預金利息
収入計	2, 040, 000	2, 004, 437	35, 563	98. 3	
前年度繰越金	37, 210, 000	23, 191, 627	14, 018, 373	62. 3	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 8, 191, 627円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 15, 000, 000円
合 計	39, 250, 000	25, 196, 064	14, 053, 936	64. 2	

科目	予算額	決算額	差額	比率	摘 要	
支部加入促進費 支部活動助成金 協力金	1, 000, 000 0	608, 318 1, 300, 000 5, 000, 000	391, 682 △ 1, 300, 000 △ 5, 000, 000	60. 8	新進会員のつどい 母校水道橋校舎移転協力金	
支出計次年度繰越金	1, 000, 000 38, 250, 000	6, 908, 318 18, 287, 746	△ 5, 908, 318  19, 962, 254	690. 8 47. 8	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金	3, 287, 746円
合 計	39, 250, 000	25, 196, 064	14, 053, 936	64. 2	三菱東京 UFJ 銀行 定期預金	15,000,000円

### 第6号議案

### 平成25年度 財産目録

平成25年12月31日

#### 1. 備 品

#### 機器備品

品 目		数量	購入年月	購入価格	備考
1	1 収納戸棚		Н 9.10	370, 650	
2	書類保管庫	3	H13. 4	370, 482	
3	プロジェクター	1	H14. 8	338, 100	Epson
4	4 ビデオカメラ		H19. 12	138, 906	
5	プロジェクター	1	H19. 12	279, 800	
6	パソコン	3	H20. 3	532, 000	acer
7	7 書類保管庫		H20. 9	115, 815	
8 パソコン		1	H21. 2	248, 000	A4W-IS
	計 8 品 目	14		2, 393, 753	

#### 消耗備品

	品目	数量	購入価格	備考
1	片袖机 他	39点	1, 238, 198	

#### 2. 普通預金, 定期預金, 通常預金

会 計 区 分	種類	預金残高	取 引 釗	見 行
(1) 経 常 部	普通預金	11, 013, 836	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
	"	99, 090	"	"
	定期預金	0	"	"
	通常預金	58, 688	神田三崎町郵便局	
計		11, 171, 614		
(2) 共 済 基 金	普通預金	6, 936, 880	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
	定期預金	75, 000, 000	"	"
	普通預金	238, 460	みずほ信託銀行	本 店
	定期預金	3, 450, 000	"	"
計		85, 625, 340		
(3) 同 窓 会 基 金	普通預金	4, 971, 893	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
	定期預金	12, 000, 000	"	"
	普通預金	148, 989	みずほ信託銀行	本 店
	定期預金	12, 150, 000	"	"
計		29, 270, 882		
(4) 血 脇 記 念 基 金	普通預金	1, 236, 925	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
	定期預金	4, 000, 000	"	"
計		5, 236, 925		
(5) 名 簿 積 立 金	普通預金	7, 991, 465	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
計		7, 991, 465		
(6) 退 職 積 立 金	普通預金	9, 160, 685	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
計		9, 160, 685		
(7) 同窓会創立120周年記念事業積立金	普通預金	1, 000, 099	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
計		1, 000, 099		
(8) 卒後研修セミナー	普通預金	2, 708, 382	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
計		2, 708, 382		
(9) 卒後研修セミナー	普通預金	155, 099	みずほ信託銀行	本 店
積 立 金	定期預金	17, 200, 000	"	"
計		17, 355, 099		
(10) 時局対策費積立金	普通預金	3, 287, 746	三菱東京UFJ銀行	神保町支店
	定期預金	15, 000, 000	"	"
計		18, 287, 746		
合 計		187, 808, 237		

### 監 査 報 告

平成25年度東京歯科大学同窓会業務運営状況及び経常部収支決算,特別会計収支決算(即ち,同窓会基金決算,血脇記念基金決算,共済基金決算,名簿積立金決算,退職積立金決算,同窓会創立120周年記念事業積立金決算),卒後研修セミナー収支決算,卒後研修セミナー積立金収支決算,時局対策費積立金会計収支決算,及び財産目録につき諸帳簿,証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

平成26年5月23日

常任監事 梅村長生印

監 事 春山良夫 印

監 事 矢島安朝 ⑩

### 第7号議案 平成27年度 事業計画

#### 総務·厚生部

- 1. 同窓会創立120周年記念事業を行う。
- 2. 支部未入会者対策を講じる。
- 3. 準会員・新進会員との連携を深める。
- 4. 諸会合の準備・調整並びに運営を行う。
- 5. 会員現況の把握並びに名簿の補充完備を図る。
- 6. 母校・父兄会・学生との連携を図る。
- 7. 同窓会改革をすすめ、そのための会則等の見直しを行う。
- 8. 支部・地域支部連合会、学生代表者との情報交換を促進する。
- 9. 母校水道橋移転事業に協力する。
- 10. 共済制度の健全なる運営を行う。
- 11. 会員厚生および親睦の充実を図る。
- 12. 同窓会員緊急時 代診制度の検討を行う。

#### 涉 外 部

- 1. 各歯科大学同窓・校友会との交流を図り、緊密なる友好を深める。
- 2. 会員の歯科医政関係者との緊密な連携を保ち医政の推進を図る。
- 3. 母校との連携のもとに国・公・私的機関等と協力し、人材の確保、育成に努める。
- 4. 渉外活動に関する情報交換を進め、全国レベルでの情報の共有と集約を図る。
- 5. 東歯同窓国会議員を支える会を介して、東歯同窓国会議員を支援する。

#### 広 報 部

- 1. 会報を発行する。
- 2. ホームページ・フェイスブックの維持管理を行う。

#### 事業推進部

- 1. 人材育成を目的とするアカデミア事業に全委員会が連携をとって取り組む。
- 2. 歯科医学的課題について学術セミナーなどを通した研修を企画する。
- 3. 歯科医療的課題について社会保障制度の研究,発表,リベラルアーツに関するセミナーや情報発信による研修を企画する。
- 4. 各支部同窓の診療所訪問や先輩との交流を促すネットワークシステムを推進する。
- 5. 地域支部連合会・支部における講演会や研修活動を支援する。
- 6. 各大学同窓会学術担当者や社会保障関係者と交流を深める。
- 7. 生涯研修制度や歯科保健医療制度の動きを分析し、現状の課題を解説し将来を考察するシンクタンク機能の推進を図る。
- 8. 最新の学術情報の収集および分析を行い、整理蓄積する。
- 9. 会員への情報提供システムを検討する。

### 第8号議案 平成27年度 入会金および会費

平成27年度 入会金 本学出身の会員 0円

推薦会員 5,000円

平成27年度 会費 現行通り 18,000円

新進会員(卒後5年以内) 10,000円

大学支部に所属する推薦会員 10,000円

### 第9号議案 平成27年度 経常部収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

収入の部

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
会費	98, 680, 000	95, 360, 000	3, 320, 000	96. 6	平成27年度分 4,420人 80,280,000円
					平成26年度分 520人 8,640,000円
					平成25年度以前分 360人 6,440,000円
					合計 5,300人 95,360,000円
入会金	10, 000	10,000	0	100.0	新卒者入会金 0円
					推薦会員入会金 5,000円× 2人
雑収入	1, 620, 000	1, 570, 000	50, 000	96. 9	会報広告料 他
繰入金収入		800, 000	△ 800,000		卒後研修セミナー積立金会計より繰入
収入計	100, 310, 000	97, 740, 000	2, 570, 000	97. 4	
前年度繰越金	10, 000, 000	8, 000, 000	2, 000, 000	80.0	
合 計	110, 310, 000	105, 740, 000	4, 570, 000	95. 9	

支出の部

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘要
	円	円	円	%	
事務費	34, 580, 000	35, 040, 000	△ 460,000	101. 3	
給与費	20, 350, 000	21, 700, 000	△ 1, 350, 000	106.6	
福利厚生費	960, 000	970, 000	△ 10,000	101.0	
地代家賃	4, 230, 000	4, 250, 000	△ 20,000	100.5	
通信費	1, 690, 000	1, 580, 000	110, 000	93. 5	
印刷費	1, 250, 000	1, 050, 000	200, 000	84.0	
備品購入費	480, 000	400, 000	80, 000	83. 3	
消耗品費	510, 000	370, 000	140, 000	72. 5	
集金手数料	4, 100, 000	3, 900, 000	200, 000	95. 1	
保守管理委託費	830, 000	650, 000	180, 000	78. 3	
維費	180, 000	170, 000	10, 000	94. 4	
事業費	56, 830, 000	59, 620, 000	△ 2, 790, 000	104. 9	
旅費交通費	23, 200, 000	21, 780, 000	1, 420, 000	93. 9	
総務・厚生関係費	1, 410, 000	3, 920, 000	△ 2, 510, 000	278. 0	準会員・新進会員連携関係費
涉外関係費	1, 690, 000	1, 210, 000	480, 000	71.6	
広報関係費	12, 240, 000	12, 740, 000	△ 500,000	104. 1	
事業推進関係費	4, 460, 000	5, 030, 000	△ 570,000	112.8	アカデミア関係費、若手連携関係費
会合費	1, 000, 000	500, 000	500, 000	50.0	
連合会・支部関係費	3, 950, 000	4, 380, 000	△ 430, 000	110. 9	
交際費	5, 250, 000	6, 300, 000	△ 1, 050, 000	120.0	
慶弔費	2, 130, 000	2, 190, 000	△ 60,000	102.8	
雑費	1, 500, 000	1, 570, 000	△ 70,000	104. 7	
会議費	2, 700, 000	2, 110, 000	590, 000	78. 1	
役員会費	70, 000	10, 000	60, 000	14. 3	
評議員会費	1, 900, 000	1, 700, 000	200, 000	89. 5	
学年代表者会費	400, 000	100, 000	300, 000	25. 0	
雑費	330, 000	300, 000	30, 000	90. 9	
特別会計繰入金	4, 110, 000	1, 110, 000	3, 000, 000	27. 0	
高山・血脇記念 同窓会基金	110, 000	110, 000	0	100. 0	
名簿積立金	4, 000, 000	1, 000, 000	3, 000, 000	25. 0	
支出計	98, 220, 000	97, 880, 000	340, 000	99. 7	
予備費	12, 090, 000	7, 860, 000	4, 230, 000	65. 0	
合 計	110, 310, 000	105, 740, 000	4, 570, 000	95. 9	

### 第10号議案 平成27年度 共済負担金

平成27年度 共済負担金現行通り

3,000円

### 第11号議案 平成27年度 高山・血脇記念同窓会基金収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

#### 収入の部

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要	
	円	円	円	%		
基金収入	34, 546, 116	0	34, 546, 116	0.0		
繰入金	110, 000	110, 000	0	100.0	入会金 経常部より繰入	10,000円 100,000円
雑収入	10,000	30, 000	△ 20,000	300.0	預金利息 他	
収入計	34, 666, 116	140, 000	34, 526, 116	0.4		
前年度繰越金	0	29, 676, 116	△29, 676, 116			
合 計	34, 666, 116	29, 816, 116	4, 850, 000	86. 0		

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金支出	5, 000, 000	4, 000, 000	1, 000, 000	80.0	同窓会創立120周年記念事業積立金へ繰入
支出計	5, 000, 000	4, 000, 000	1, 000, 000	80.0	
次年度繰越金	29, 666, 116	25, 816, 116	3, 850, 000	87. 0	
合 計	34, 666, 116	29, 816, 116	4, 850, 000	86. 0	

### 平成27年度 共済基金収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

#### 収入の部

#### △印=前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要	
	円	円	円	%		
共済負担金	18, 250, 000	18, 020, 000	230, 000	98. 7	平成27年度分 4,824人 15,2	216,000円
					平成26年度分 560人 1,6	80,000円
					平成25年度以前分 366人 1,1	30,000円
					合計 5,750人 18,0	26,000円
雑収入	100, 000	100, 000	0	100.0	預金利息 他	
収入計	18, 350, 000	18, 120, 000	230, 000	98. 7		
前年度繰越金	84, 920, 000	84, 500, 000	420, 000	99. 5		
合 計	103, 270, 000	102, 620, 000	650, 000	99. 4		

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	拍	商 要
	円	円	円	%		
共済金	18, 850, 000	14, 500, 000	4, 350, 000	76. 9	弔慰共済金	9, 250, 000円
						(@100,000×50件)
						(@50,000×85件)
					罹災共済金	300,000円
						(@100,000×3件)
					80歳祝金	4,900,000円
						(@50,000×98件)
					100歳祝金	50,000円
						(@50,000×1件)
事務費	240, 000	200, 000	40, 000	83. 3	弔慰金, 祝金送料	他
支出計	19, 090, 000	14, 700, 000	4, 390, 000	77. 0		
予備費	6, 000, 000	6, 000, 000	0	100.0		
給付準備金	78, 180, 000	81, 920, 000	△ 3, 740, 000	104. 8		
合 計	103, 270, 000	102, 620, 000	650, 000	99. 4		

### 平成27年度 名簿積立金収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

#### 収入の部

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	4, 000, 000	1, 000, 000	3, 000, 000	25. 0	経常部より繰入
雑収入	10, 000	0	10,000	0.0	預金利息 他
収入計	4, 010, 000	1, 000, 000	3, 010, 000	24. 9	
前年度繰越金	8, 000, 622	0	8, 000, 622	0.0	
合 計	12, 010, 622	1,000,000	11, 010, 622	8. 3	

#### 支出の部

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘要
	円	円	円	%	
名簿作成費	8, 000, 000	0	8, 000, 000	0.0	
通信費	4, 000, 000	0	4, 000, 000	0.0	
雑費	10, 622	0	10, 622	0.0	
支出計	12, 010, 622	0	12, 010, 622	0.0	
次年度繰越金	0	1, 000, 000	△ 1,000,000		
合 計	12, 010, 622	1, 000, 000	11, 010, 622	8. 3	

### 平成27年度 退職積立金収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

#### 収入の部

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
雑収入	10, 000	10, 000	0	100.0	預金利息 他
収入計	10, 000	10, 000	0	100.0	
前年度繰越金	9, 169, 579	9, 179, 579	△ 10,000	100. 1	
合 計	9, 179, 579	9, 189, 579	△ 10,000	100. 1	

科 目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	9, 179, 579	9, 189, 579	△ 10, 000	100. 1	
合 計	9, 179, 579	9, 189, 579	△ 10,000	100. 1	

### 平成27年度 同窓会創立120周年記念事業積立金収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

#### 収入の部

#### △印=前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	5, 000, 000	4, 000, 000	1, 000, 000	80.0	高山・血脇記念同窓会基金より繰入
雑収入	10, 000	10,000	0	100.0	預金利息 他
収入計	5, 010, 000	4, 010, 000	1, 000, 000	80.0	
前年度繰越金	1, 000, 000	6, 010, 000	△ 5, 010, 000	601. 0	
合 計	6, 010, 000	10, 020, 000	△ 4, 010, 000	166. 7	

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘要
	円	円	円	%	
記念式典等関係費		6, 000, 000	△ 6, 000, 000		
記念誌等関係費		4, 000, 000	△ 4,000,000		
雑費		20, 000	△ 20,000		
支出計	0	10, 020, 000	△10, 020, 000		
次年度繰越金	6, 010, 000	0	6, 010, 000	0.0	
合 計	6, 010, 000	10, 020, 000	△ 4, 010, 000	166. 7	

### 第12号議案 平成27年度 卒後研修セミナー収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

収入の部

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
受講料	13, 866, 000	8, 276, 000	5, 590, 000	59.7	セミナーNo.1
					今こそ見直そう!あなたの根管治療
					2, 640, 000円
					〔受講割引あり〕
					100,000×12人 1,200,000円
					〔受講割引なし〕
					120,000×12人 1,440,000円
					セミナーNo.2
					歯科衛生士に必要な口腔インプラント治療 の知識
					576,000円
					〔受講割引あり〕
					8,000×32人 256,000円
					〔受講割引なし〕
					10,000×32人 320,000円
					セミナーNo.3
					ティッシュ·マネージメントのファースト ステップ
					1,100,000円
					〔受講割引あり〕
					50,000×10人 500,000円
					〔受講割引なし〕
					60,000×10人 600,000円
					セミナーNo.4
					明日から取り組めるコーヌスクローネ
					2日間コース
					2, 160, 000円
					〔受講割引あり〕
					80,000×12人 960,000円
					〔受講割引なし〕
					100,000×12人 1,200,000円
					セミナーNo.5
					アライナーによる矯正治療の基礎と応用
					1,800,000円
					〔受講割引あり〕
					40,000×20人 800,000円
					〔受講割引なし〕
					50,000×20人 1,000,000円
					合計 8,276,000円
雑収入	20,000	20, 000	0	100.0	   預金利息 他
無収入   繰入金収入	1, 200, 000	1, 200, 000			頂金型点   他       卒後研修セミナー積立金会計より繰入
収入計	15, 086, 000	9, 496, 000	5, 590, 000	62. 9	十収明
前年度繰越金		1, 500, 000	5 500 000	100. 0	
合 計	16, 586, 000	10, 996, 000	5, 590, 000	66. 3	

支出の部

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
事務費	560, 000	540, 000	20, 000	96. 4	
通信運搬費	500, 000	500, 000	0	100.0	
消耗品費	50, 000	30, 000	20, 000	60.0	
雑費	10, 000	10, 000	0	100.0	
事業費	13, 000, 000	9, 400, 000	3, 600, 000	72. 3	
講師謝礼費	3, 000, 000	1, 500, 000	1, 500, 000	50. 0	講 師 1,300,000円 実習講師 200,000円
講師旅費交通費	1, 400, 000	1, 300, 000	100, 000	92. 9	講師旅費交通費,宿泊費,委員旅費交通費
資料作成費	800, 000	500, 000	300, 000	62. 5	実習用資料 150,000円 講演用資料 350,000円
役務費	1, 000, 000	650, 000	350, 000	65. 0	セミナー役務 運営役務 実習インストラクター 症例発表 150,000円 150,000円 50,000円
実習器材費	3, 300, 000	2, 800, 000	500, 000	84. 8	実習用器材 2,500,000円 講演用器材 300,000円
設営費	1, 600, 000	700, 000	900, 000	43. 8	スライド関連費 150,000円 運営資材費 100,000円 演者・委員昼食 150,000円 消耗品費 300,000円
印刷広報費	500, 000	800, 000	△ 300,000	160.0	プログラム印刷 他
受講証関係費	200, 000	50, 000	150, 000	25. 0	
広告費	900, 000	800, 000	100, 000	88. 9	雑誌広告 他
渉外費	100, 000	100, 000	0	100.0	講師打会せ費 他
会場費	200, 000	200, 000	0	100.0	
公租公課	400, 000	400, 000	0	100.0	
支出計	13, 960, 000	10, 340, 000	3, 620, 000	74. 1	
予備費	2, 626, 000	656, 000	1, 970, 000		
合 計	16, 586, 000	10, 996, 000	5, 590, 000	66. 3	

### 平成27年度 卒後研修セミナー積立金収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

#### 収入の部

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
雑収入	20, 000	20, 000	0	100.0	預金利息 他
収入計	20, 000	20, 000	0	100.0	
前年度繰越金	17, 372, 290	16, 175, 099	1, 197, 191	93. 1	
合 計	17, 392, 290	16, 195, 099	1, 197, 191	93. 1	

#### 支出の部

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
繰入金支出	円 1, 200, 000	円 2, 000, 000	⊢ △ 800, 000	% 166. 7	経常部へ繰入 を後研修セミナー会計へ繰入 1,200,000円
支出計	1, 200, 000	2, 000, 000	△ 800,000	166. 7	
次年度繰越金	16, 192, 290	14, 195, 099	1, 997, 191	87. 7	
合 計	17, 392, 290	16, 195, 099	1, 197, 191	93. 1	

### 第13号議案 平成27年度 時局対策費積立金会計収支予算

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

#### 収入の部

△印=前年度予算額に比較し増額の場合

科目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘要
	円	円	円	%	
繰入金	0	2, 000, 000	△ 2, 000, 000		経常部より繰入
雑収入	40, 000	10, 000	30, 000	25. 0	預金利息 他
収入計	40, 000	2, 010, 000	△ 1, 970, 000	5, 025. 0	
前年度繰越金	24, 231, 627	22, 236, 064	1, 995, 563	91.8	
合 計	24, 271, 627	24, 246, 064	25, 563	99. 9	

科 目	平成26年度予算額	平成27年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
支部加入促進費	3, 000, 000	3, 000, 000	0	100.0	
支出計	3, 000, 000	3, 000, 000	0	100.0	
次年度繰越金	21, 271, 627	21, 246, 064	25, 563	99. 9	
合 計	24, 271, 627	24, 246, 064	25, 563	99. 9	

### 第14号議案 選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出

### 協議題

- (1) 評議員選出の経過措置および評議員会のあり方について
- (2) その他